

第9期
丸亀市介護保険事業計画
策定のためのアンケート調査
結果報告書

令和5年8月
丸亀市

目次

I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査設計	1
3 報告書の見方	1
4 評価項目の判定について	1
II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2
1 回答者の属性	2
2 調査の結果	3
1 あなたのご家族や生活状況について	3
(1) 家族構成について	3
(2) 介護・介助の状況について	4
(3) 現在の経済状況	5
2 からだを動かすことについて	6
(1) 運動器の機能について	6
(2) 転倒について	7
(3) 閉じこもり傾向について	8
3 食えることについて	12
(1) BMI 算出	12
(2) 口腔機能について	12
(3) 孤食の状況について	13
4 毎日の生活について	14
(1) 認知機能について	14
(2) I ADL<手段的日常生活動作>について (老研式活動能力指標)	14
(3) 他の人に手助けしてほしいことについて	17
5 地域での活動について	19
(1) 社会参加の状況	19
(2) 地域づくりへの参加意向 (参加者)	28
(3) 地域づくりへの参加意向 (企画・運営)	29
6 たすけあいについて	30
(1) 心配事などの相談相手について	30
(2) 病気の際の世話人について	32
7 健康について	34
(1) 主観的健康感	34
(2) 主観的幸福感	34
(3) うつ傾向について	35
(4) 喫煙の習慣	36
(5) 現在治療中、後遺症のある病気について	37

8	認知症にかかる相談窓口の把握について.....	38
	(1) 認知症の把握について.....	38
	(2) 認知症に関する相談について.....	39
9	介護について.....	40
	(1) 介護が必要になった場合に希望する暮らし方について.....	40
	(2) 最期を迎える場所の希望.....	42
10	聞こえの問題について.....	45
	(1) 日常生活での聞こえの問題.....	45
11	評価項目別の判定結果.....	46
	(1) 運動器の機能低下.....	47
	(2) 転倒リスク.....	48
	(3) 閉じこもり傾向.....	49
	(4) 認知機能の低下.....	50
	(5) うつ傾向.....	51
	(6) IADL－手段的日常生活.....	52
Ⅲ	在宅介護実態調査結果.....	54
1	A票 調査対象者ご本人について.....	54
	(1) 回答者について.....	54
	(2) 調査対象者の属性.....	55
	(3) 家族や親族からの介護について.....	56
	(4) 介護のための離職の有無.....	60
	(5) 施設等への入所・入居検討状況.....	61
2	B票 主な介護者の方について.....	66
	(1) 主な介護者の勤務形態.....	66
	(2) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識.....	70
	(3) 主な介護者が不安に感じる介護.....	71

I 調査概要

1 調査目的

本調査は「第9期丸亀市介護保険事業計画（令和6年度から令和8年度）」の策定に向けて、高齢者の生活状況や心身の状況、支援のニーズなどについて把握し、基礎資料とすることを目的に、実施するものです。

2 調査設計

調査種別	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	在宅介護実態調査
(1) 調査対象	丸亀市内在住の65歳以上の 高齢者より無作為抽出	丸亀市内在住の要介護認定を 受けている65歳以上の方
(2) 実施期間	令和4年12月19日 ～令和5年1月31日	令和4年12月19日 ～令和5年4月28日
(3) 調査方法	郵送による配布・回収	聞き取りによる回収

(4) 配布・回収状況

調査種別	配布数	有効回収数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,000	2,109	70.3%
在宅介護実態調査	477	477	100.0%

3 報告書の見方

- (1) 基数となるべき実数は、(n=〇〇)と表示し、各比率はすべてを100%として百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのために、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- (2) 質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は調査数を上回ることがあります。
- (3) 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。
- (4) クロス集計等での件数（母数）の少ない集計結果についても、参考までに記載しています。

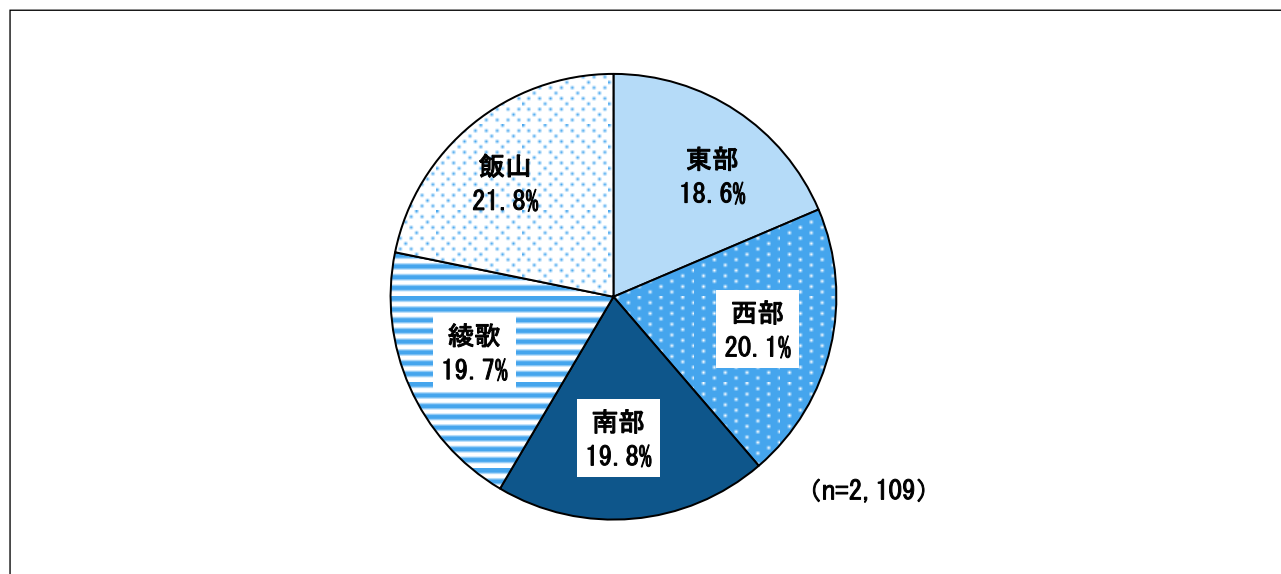
4 評価項目の判定について

評価項目別の判定結果については、国が配布した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」実施の手引き、及び老研式活動能力指標に基づき集計したものです。

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 回答者の属性

回答者の日常生活圏域をみると、「飯山」が 21.8%と最も高く、次いで「西部」(20.1%)、「南部」(19.8%)、「綾歌」(19.7%)、「東部」(18.6%) となっています。



2 調査の結果

1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成について

問1 (1) 家族構成をお教えてください

【全体の傾向】

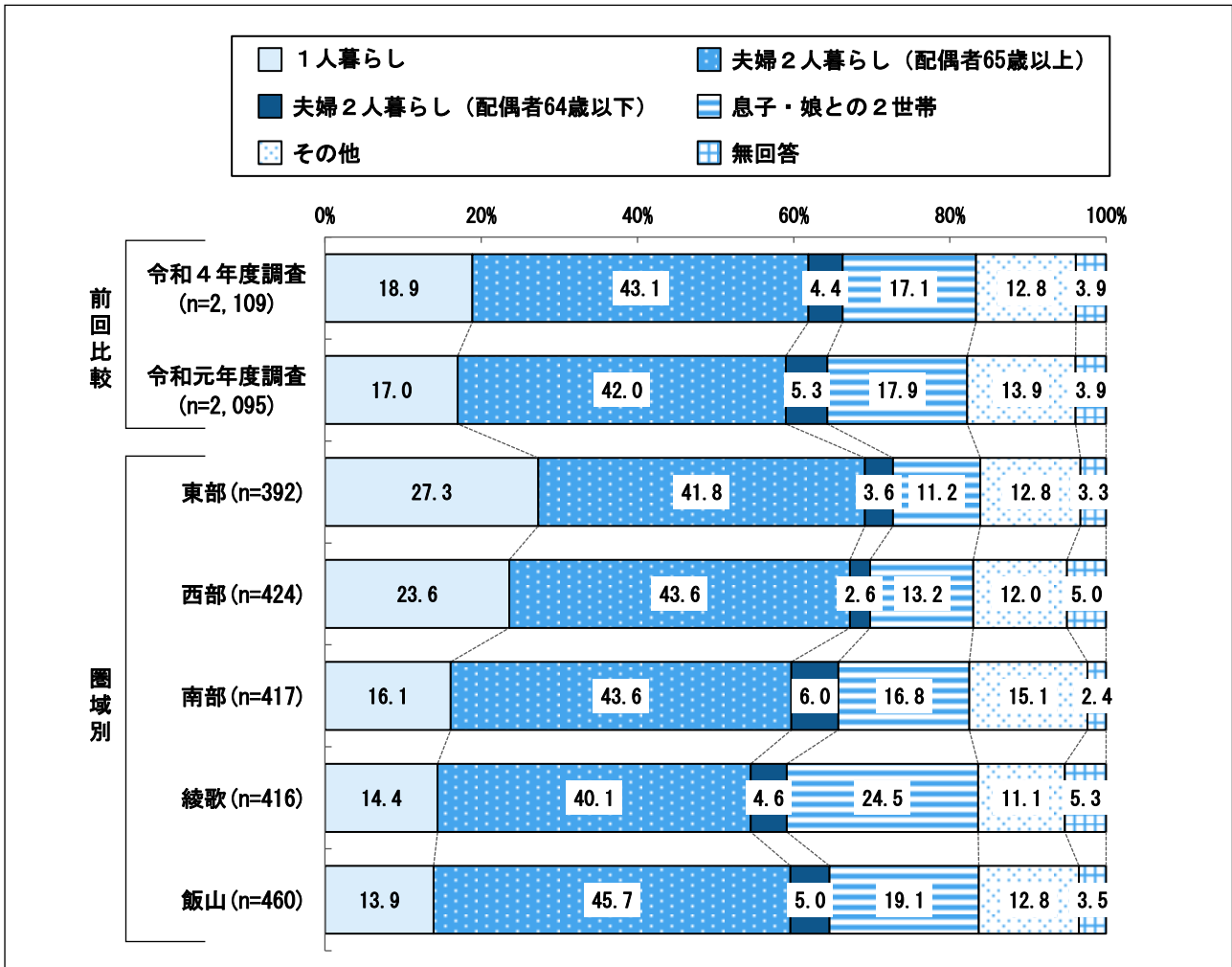
家族構成をみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が43.1%と最も高くなっており、次いで「1人暮らし」（18.9%）、「息子・娘との2世帯」（17.1%）となっています。

前回調査と比較すると、「1人暮らし」が1.9ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

圏域別にみると、東部、西部では「1人暮らし」が2割を超えています。また、綾歌では「息子・娘との2世帯」が2割を超えています。

家族構成について（全体、前回比較、圏域別）



(2) 介護・介助の状況について

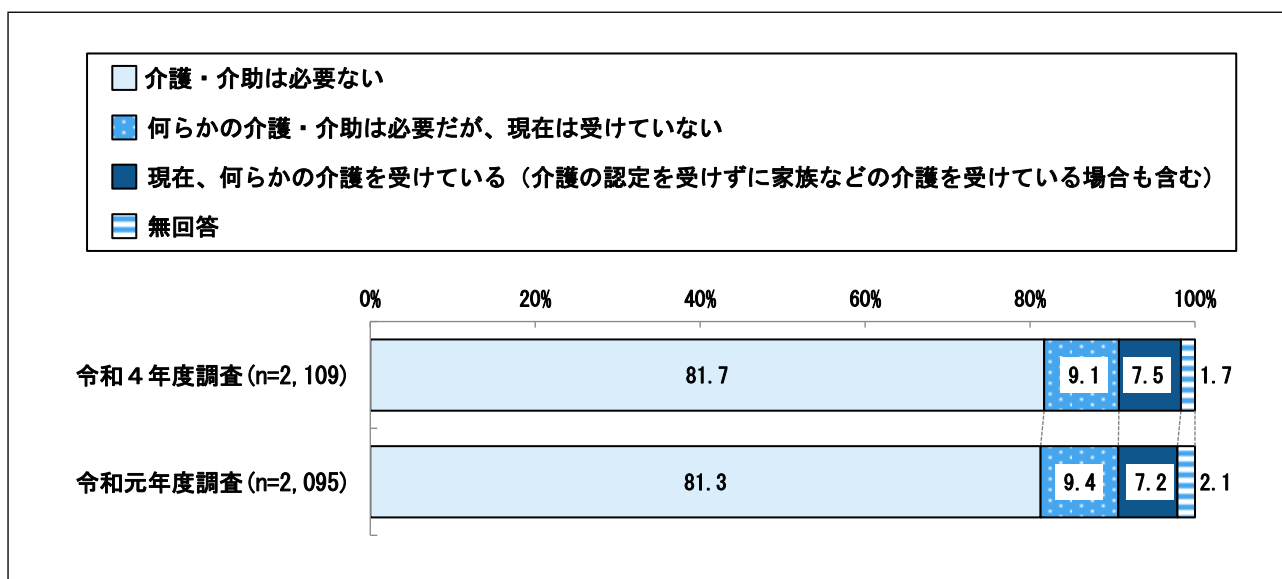
問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

【全体の傾向】

普段の生活における介護の必要性についてみると、81.7%が「介護・介助は必要ない」と回答しています。

前回調査と比較すると、概ね同様の結果となっています。

介護の必要性（全体、前回比較）



(3) 現在の経済状況

問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

【全体の傾向】

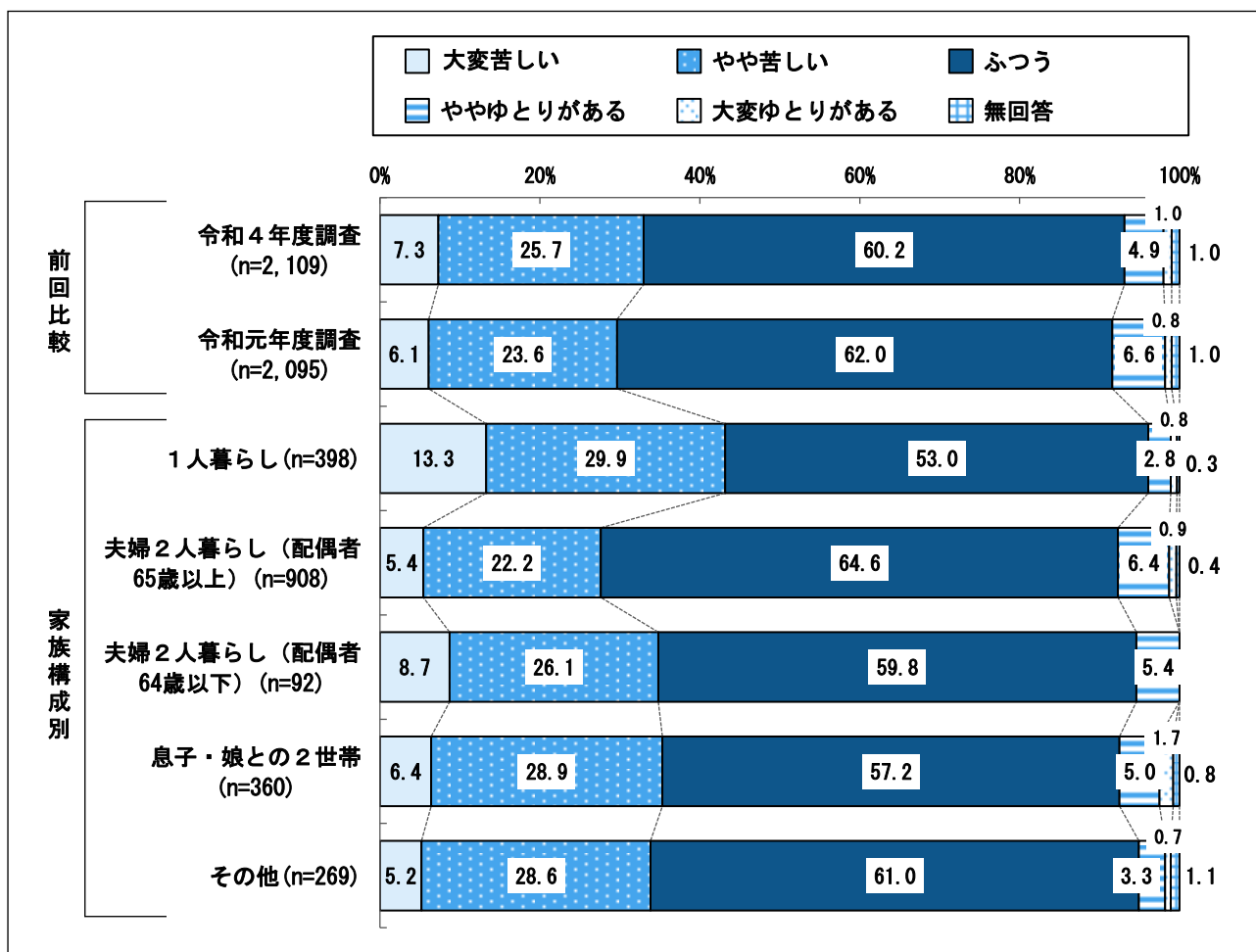
現在の暮らしの経済状況を見ると、「ふつう」が60.2%を占めています。一方、「大変苦しい」(7.3%)と「やや苦しい」(25.7%)を合計した『苦しい』は33.0%であるのに対し、「ややゆとりがある」(4.9%)と「大変ゆとりがある」(1.0%)を合わせた『ゆとりがある』は5.9%にとどまっています。

前回調査と比較すると、『苦しい』が3.3ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

家族構成別にみると、1人暮らしでは、「大変苦しい」「やや苦しい」の割合が他の家族構成よりも高くなっており、『苦しい』と回答した方が4割を超える結果となっています。

現在の経済状況について（全体、前回比較、家族構成別）



2 からだを動かすことについて

(1) 運動器の機能について

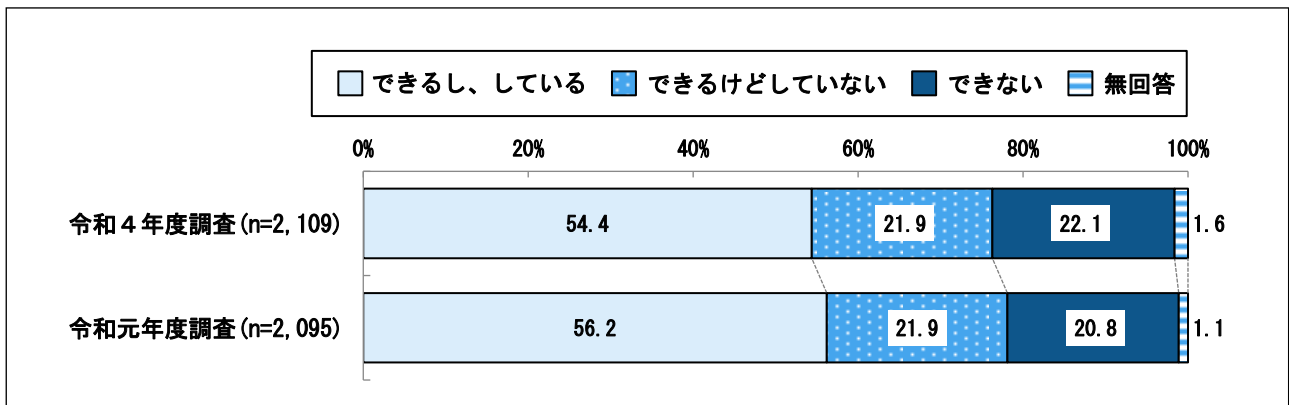
問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

【全体の傾向】

階段を手すり等を使用せずに昇れるかどうかについてみると、「できるし、している」が54.4%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「できるし、している」が1.8ポイント減少しています。

階段を手すり等を使用せずに昇れるか (全体、前回比較)



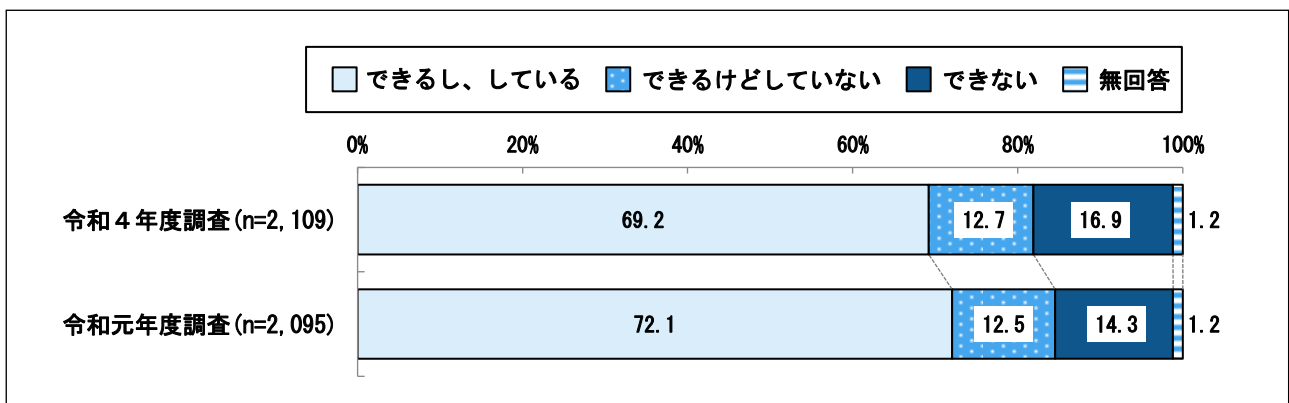
問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

【全体の傾向】

椅子から何もつかまらずに立ち上がれるかどうかについてみると、「できるし、している」が69.2%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「できるし、している」が2.9ポイント減少しています。

椅子に座った状態から立ち上がれるか (全体、前回比較)



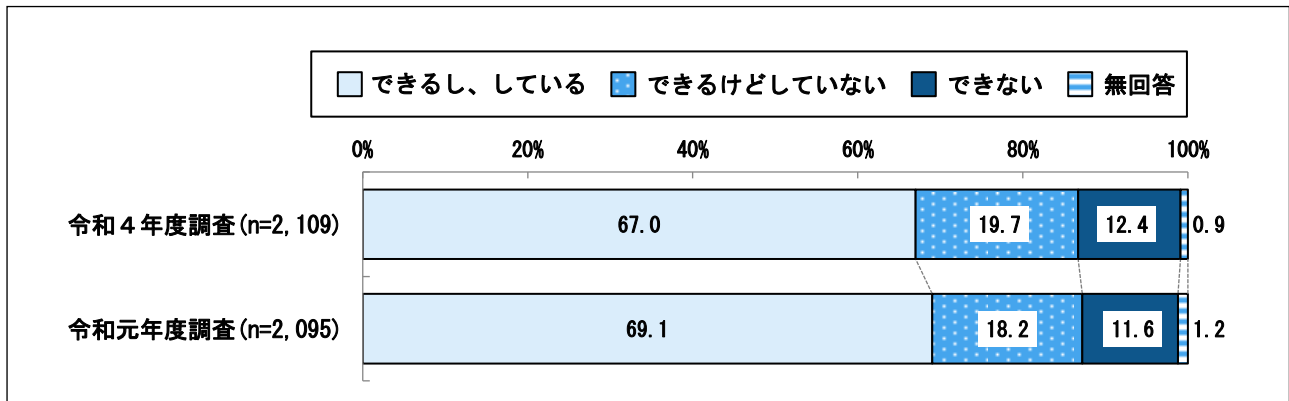
問2（3）15分くらい続けて歩いていますか

【全体の傾向】

15分くらい続けて歩いているかどうかについてみると、「できるし、している」が67.0%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「できるし、している」が2.1ポイント減少しています。

15分くらい続けて歩いているか（全体、前回比較）



（2）転倒について

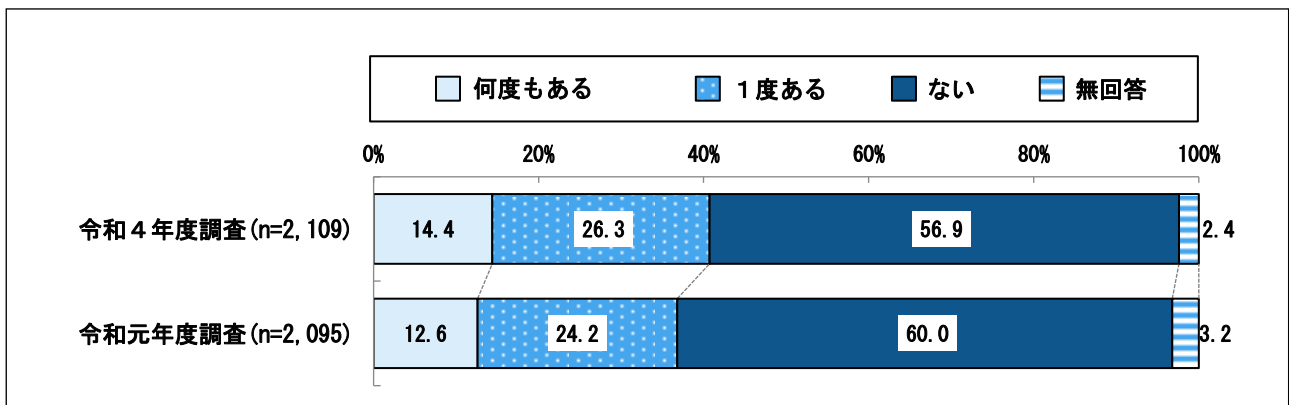
問2（4）過去1年間に転んだ経験がありますか

【全体の傾向】

過去1年間における転倒経験の有無についてみると、56.9%が「ない」と回答しています。一方、「何度もある」(14.4%)と「1度ある」(26.3%)を合計すると、40.7%が『転倒経験が1度以上ある』と回答しています。

前回調査と比較すると、『転倒経験が1度以上ある』が3.9ポイント増加しています。

転倒の経験（全体、前回比較）



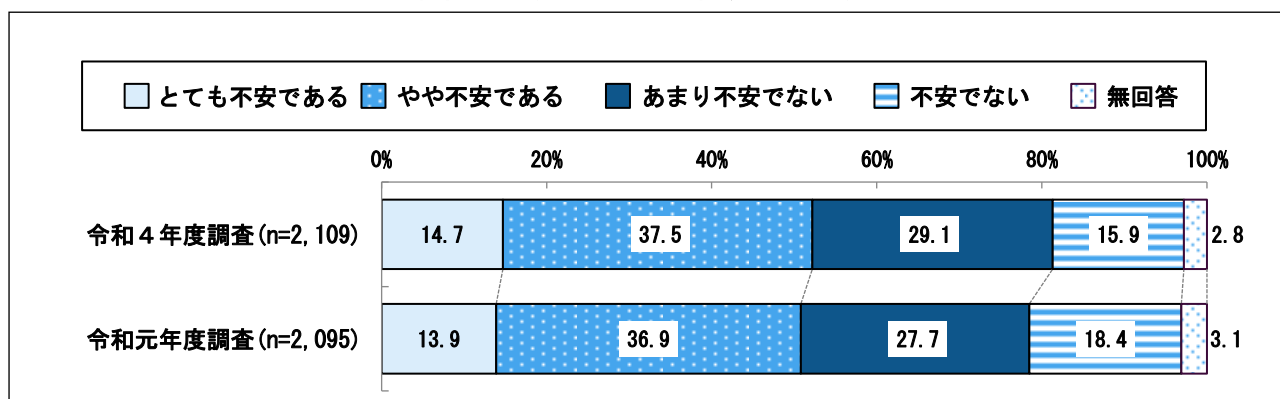
問2（5）転倒に対する不安は大きいですか

【全体の傾向】

転倒に対する不安についてみると、37.5%が「やや不安である」と回答しており、「とても不安である」（14.7%）を合計すると、52.2%が転倒への不安を抱えています。

前回調査と比較すると、「不安でない」が2.5ポイント減少しています。

転倒に対する不安（全体、前回比較）



（3）閉じこもり傾向について

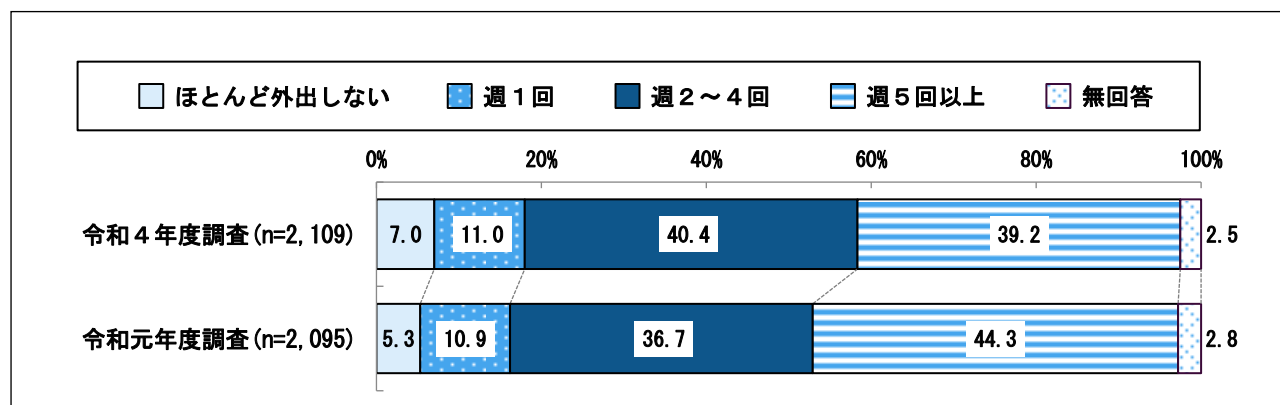
問2（6）週に1回以上は外出していますか

【全体の傾向】

1週間当たりの外出回数についてみると、「週2～4回」（40.4%）が最も高く、次いで「週5回以上」（39.2%）、「週1回」（11.0%）となっています。一方、「ほとんど外出しない」は7.0%となっています。

前回調査と比較すると、「週5回以上」が5.1ポイント減少しています。

1週間当たりの外出回数について（全体、前回比較）



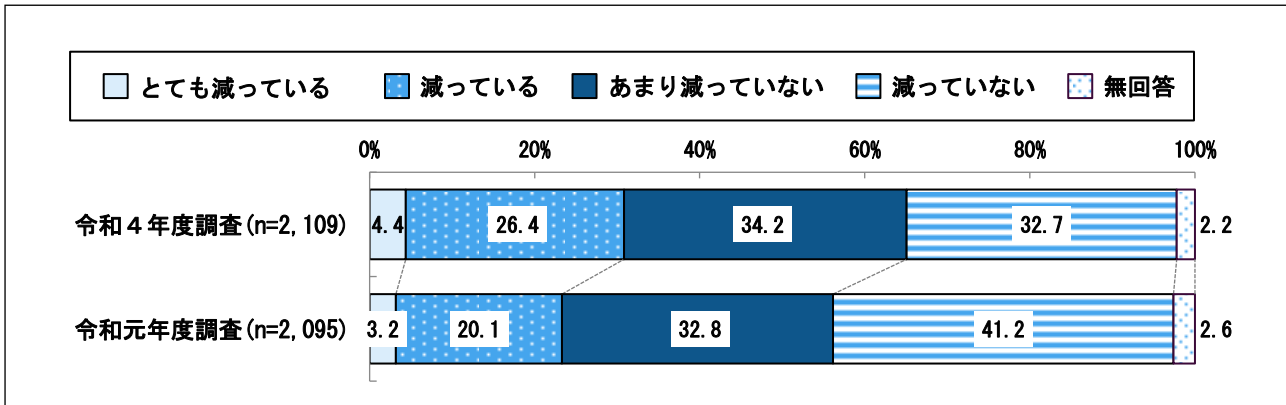
問2（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか

【全体の傾向】

昨年と比べて外出回数が減っているかどうかをみると、「あまり減っていない」（34.2%）が最も高くなっています。また、「とても減っている」と「減っている」を合計した『減っている』は30.8%となっています。

前回調査と比較すると、『減っている』が7.5ポイント増加しています。

昨年と比較した外出回数について（全体、前回比較）

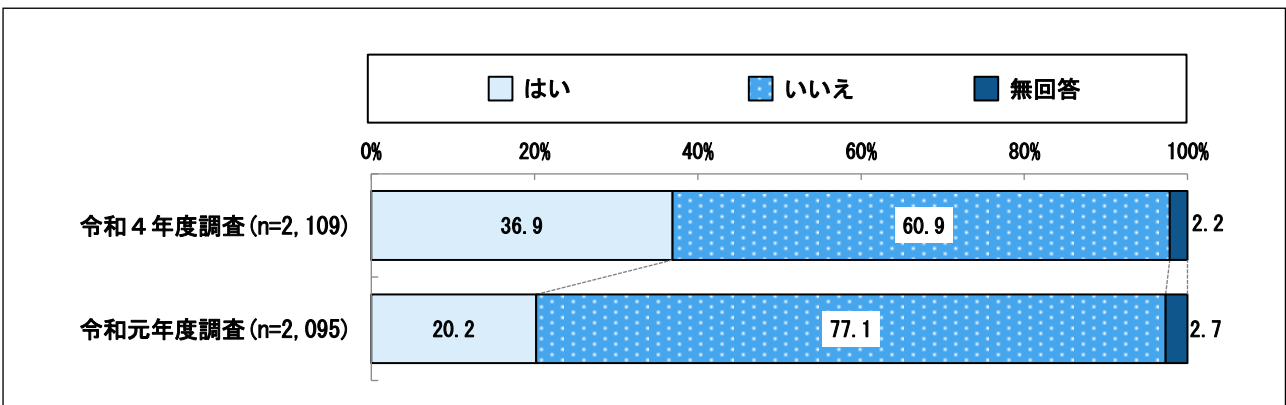


問2（8）外出を控えていますか

【全体の傾向】

外出を控えているかについてみると、「はい」が36.9%、「いいえ」が60.9%となっています。前回調査と比較すると、「はい」が16.7ポイント増加しています。

外出を控えているかについて（全体、前回比較）



【問2（8）で「はい」（外出を控えている）と回答した方のみ】

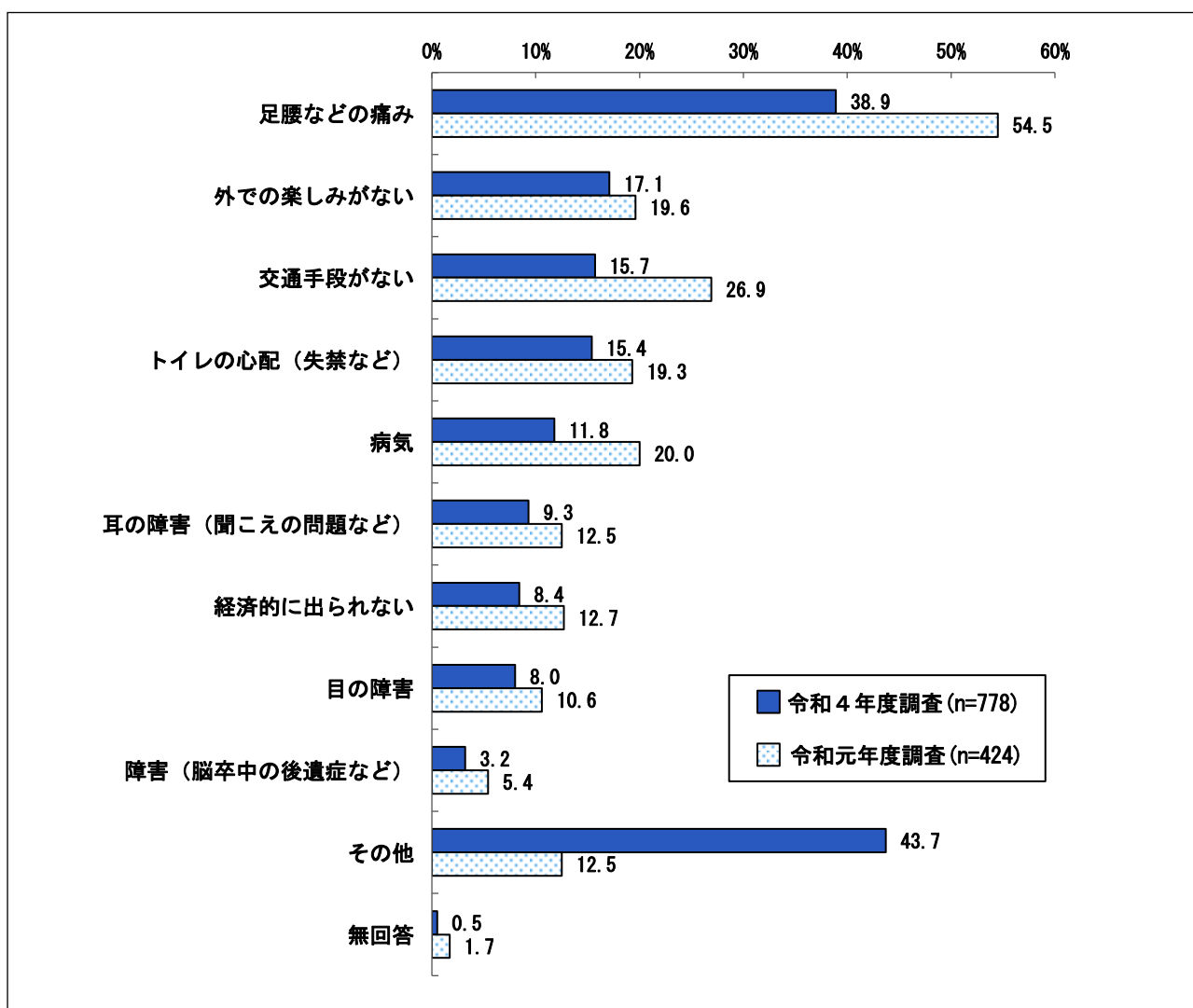
問2（8）①外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

【全体の傾向】

外出を控えていると回答した人の、控えている理由についてみると、「足腰などの痛み」が38.9%と最も多く、次いで「外での楽しみがない」（17.1%）、「交通手段がない」（15.7%）、「トイレの心配（失禁など）」（15.4%）、「病気」（11.8%）などとなっています。

前回調査と比較すると、いずれの理由も減少していますが、特に「足腰などの痛み」が15.6ポイントと最も減少しています。

外出を控えている理由（全体、前回比較／複数回答）



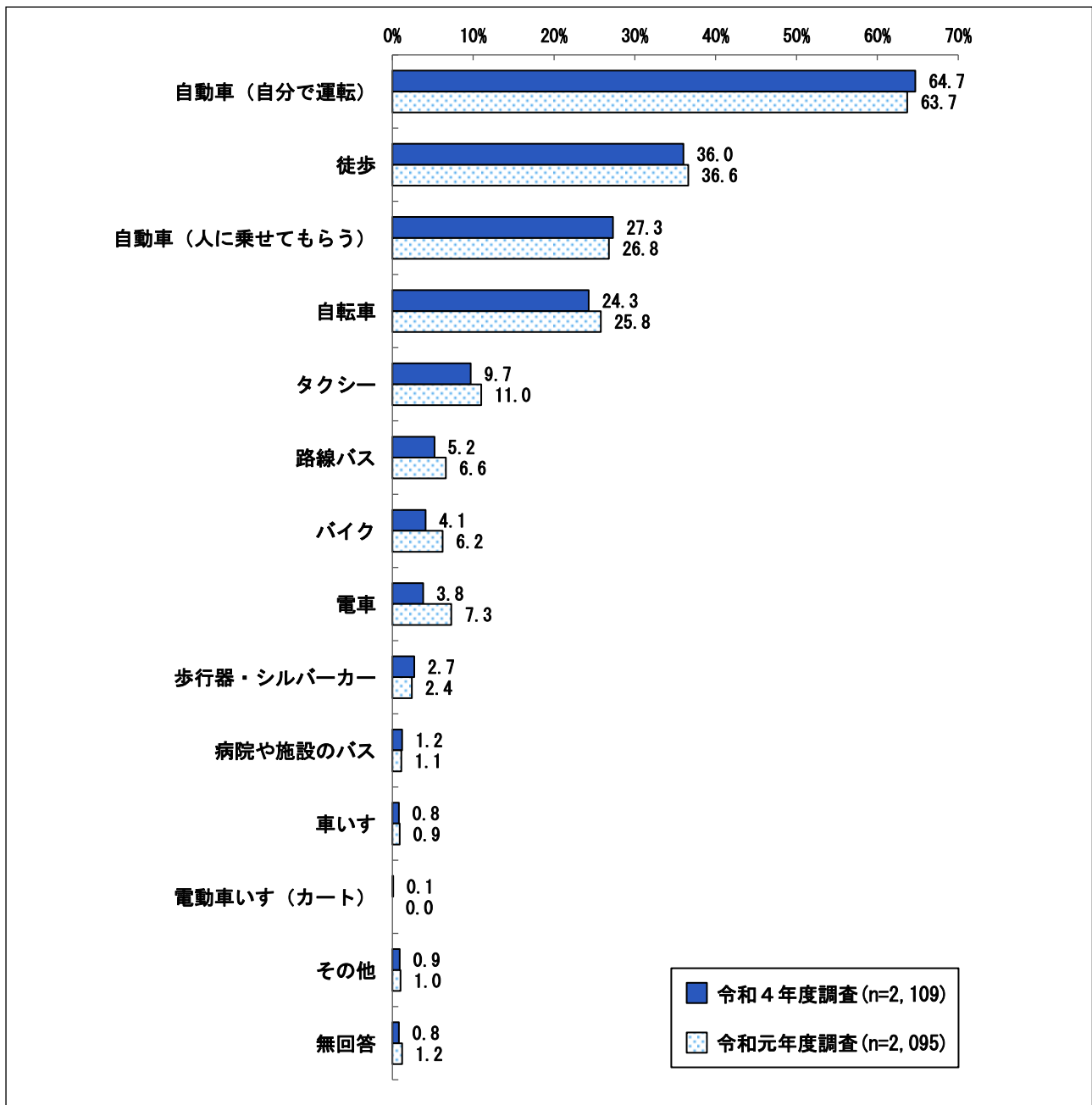
問2（9）外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

【全体の傾向】

外出する際の移動手段についてみると、「自動車（自分で運転）」が64.7%と最も多く、次いで、「徒歩」（36.0%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（27.3%）、「自転車」（24.3%）、「タクシー」（9.7%）などとなっています。

前回調査と比較すると、「電車」が3.5ポイント減少しています。

外出する際の移動手段（全体、前回比較／複数回答）



3 食べることについて

(1) BMI 算出

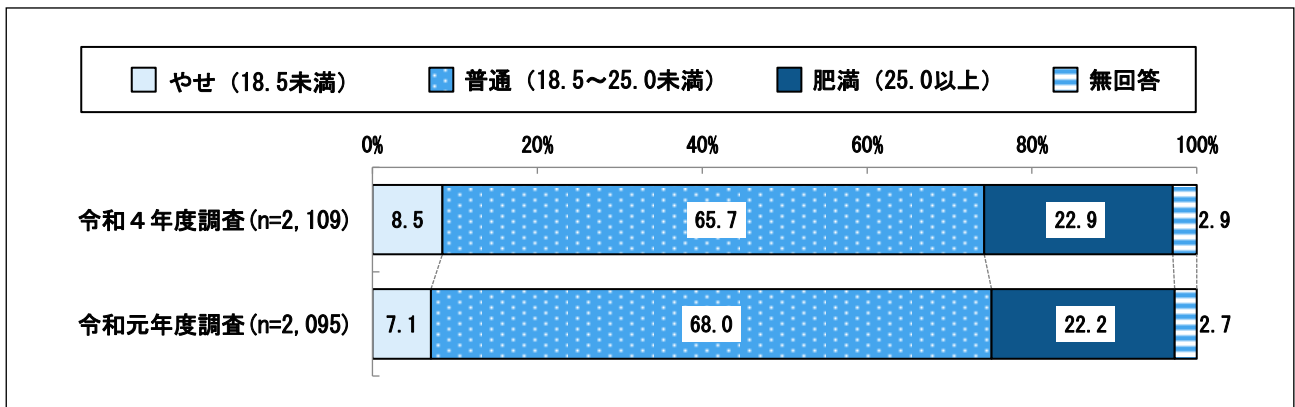
問3 (1) 身長・体重

【全体の傾向】

身長及び体重の記載から算出したBMI値については、「普通(18.5~25.0未満)」が65.7%となっています。一方、「やせ(18.5未満)」は8.5%、「肥満(25.0以上)」は22.9%となっています。

前回調査と比較すると、「普通(18.5~25.0未満)」が2.3ポイント減少しています。

BMI 値 (全体、前回比較)



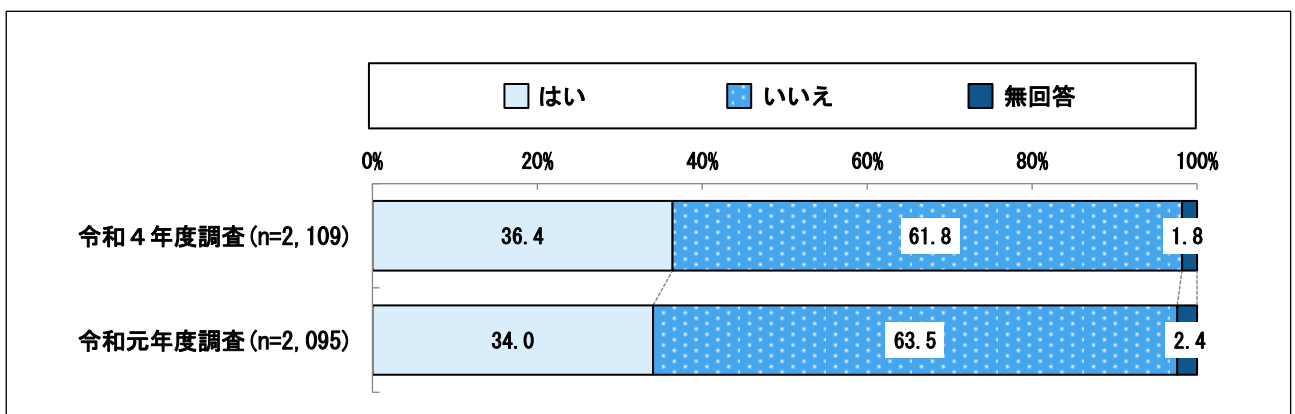
(2) 口腔機能について

問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

【全体の傾向】

半年前に比べて固いものが食べにくいかどうかをみると、「はい」が36.4%となっています。前回調査と比較すると、「はい」が2.4ポイント増加しています。

固いものが食べにくくなったか (全体、前回比較)



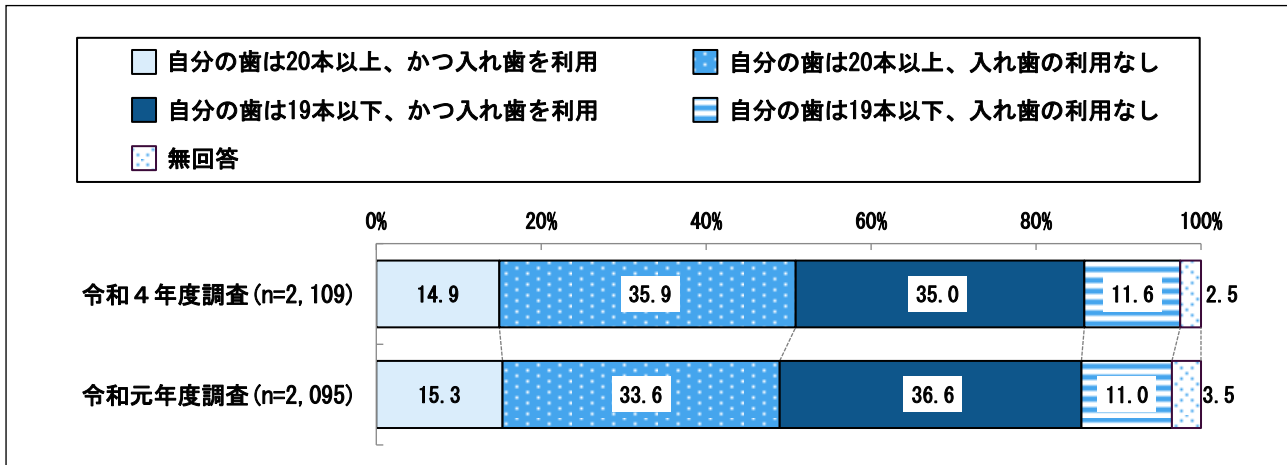
問3 (3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

【全体の傾向】

歯の本数と、入れ歯の利用状況を見ると、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が35.9%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が2.3ポイント増加しています。

歯の本数と入れ歯の利用状況（全体、前回比較）



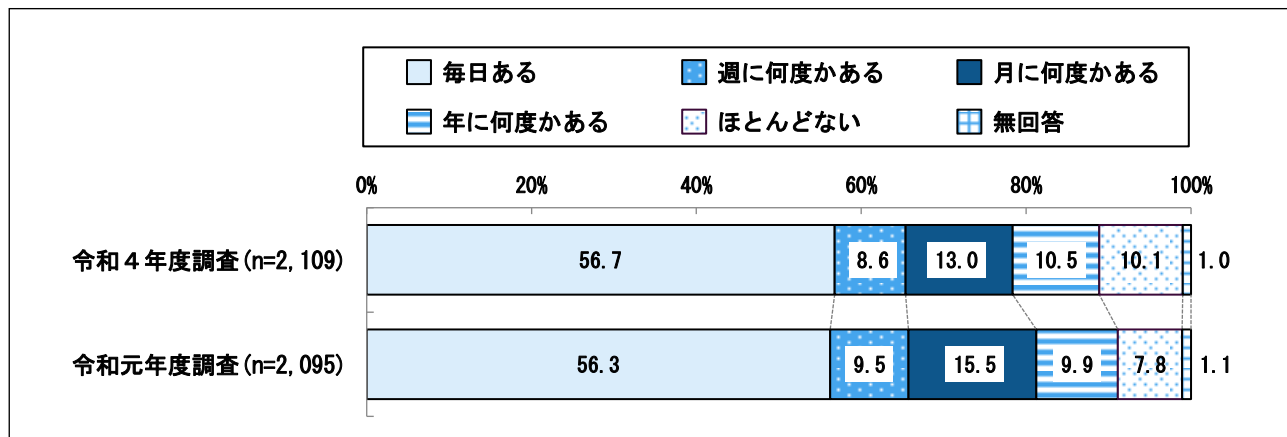
(3) 孤食の状況について

問3 (4) どなたかと食事をともにする機会がありますか

【全体の傾向】

誰かと食事をともにする機会の有無についてみると、「毎日ある」が56.7%と最も高く、次いで「月に何度かある」(13.0%)、「年に何度かある」(10.5%)、「週に何度かある」(8.6%)となっています。前回調査と比較すると、「月に何度かある」が2.5ポイント減少しています。

誰かと食事をともにする機会の有無について（全体、前回比較）



4 毎日の生活について

(1) 認知機能について

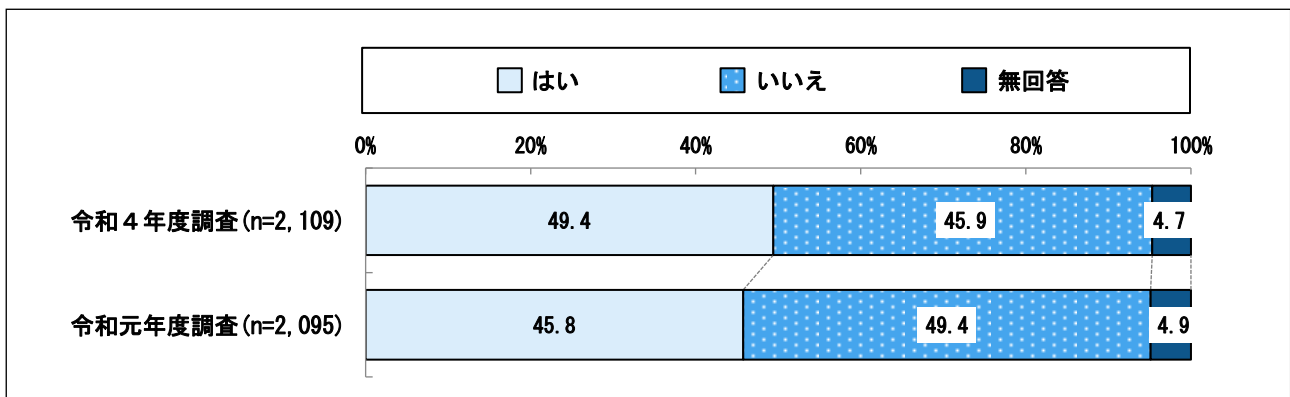
問4 (1) 物忘れが多いと感じますか

【全体の傾向】

物忘れが多いと感じるかどうかについてみると、「はい」が49.4%、「いいえ」が45.9%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が3.6ポイント増加しています。

物忘れが多いと感じるか（全体、前回比較）



(2) IADL<手段的日常生活動作>について（老研式活動能力指標）

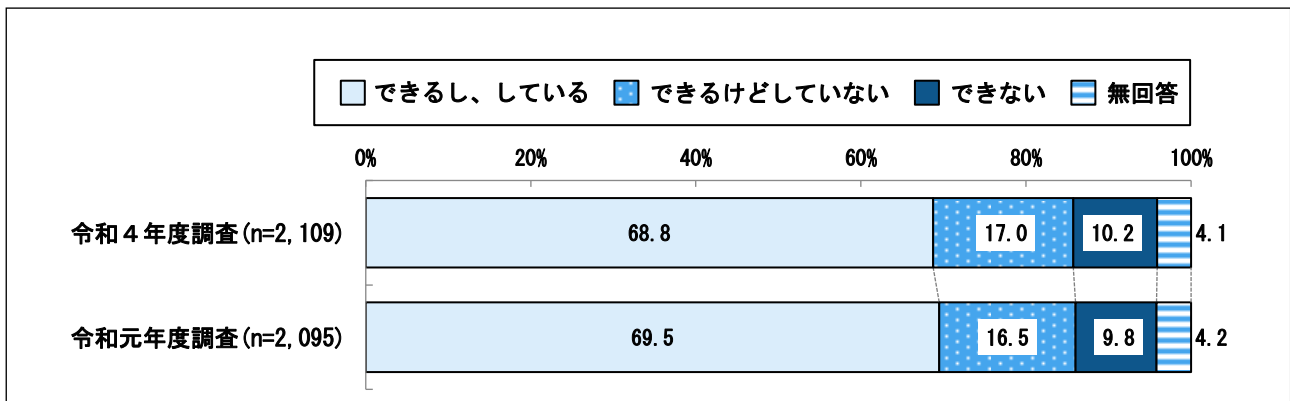
問4 (2) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

【全体の傾向】

バスや電車を使って1人で外出しているかどうかをみると、「できるし、している」が68.8%となっています。

前回調査と比較すると、概ね同様の結果となっています。

1人で外出をしているか（全体、前回比較）



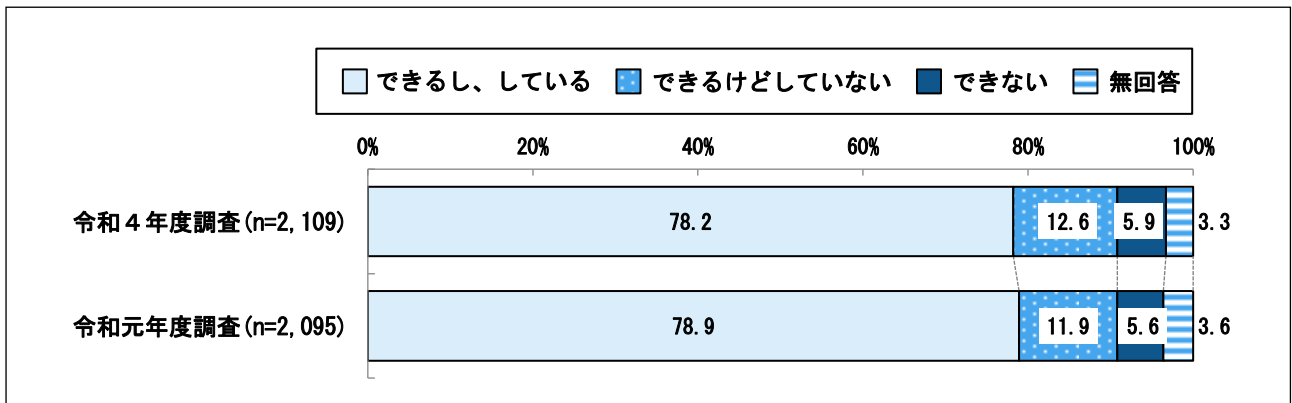
問4（3）自分で食品・日用品の買物をしていますか

【全体の傾向】

自分で食品や日用品の買物をしているかどうかをみると、「できるし、している」が78.2%となっています。一方、「できない」は5.9%と1割未満にとどまっています。

前回調査と比較すると、概ね同様の結果となっています。

自分で食品・日用品の買物をしているか（全体、前回比較）



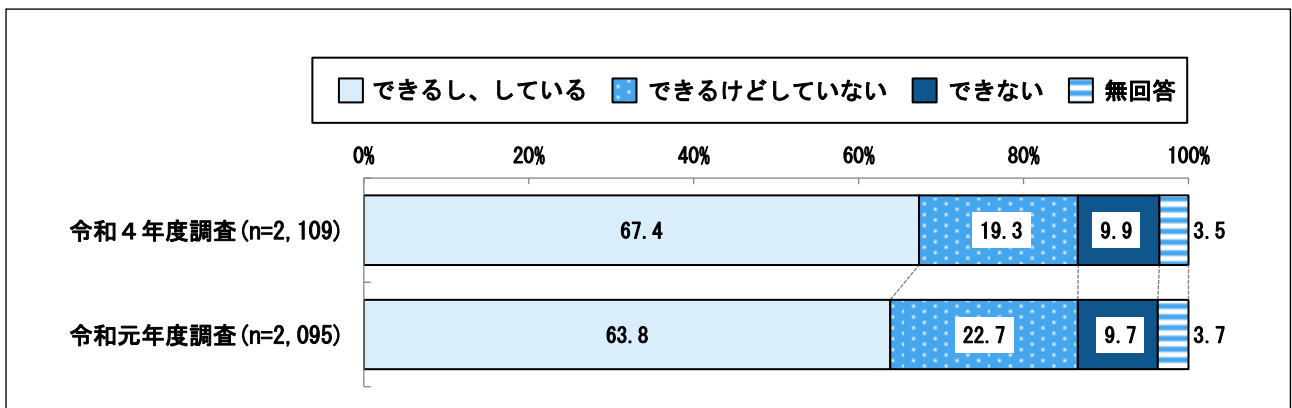
問4（4）自分で食事の用意をしていますか

【全体の傾向】

自分で食事の用意をしているかどうかをみると、「できるし、している」が67.4%となっています。一方、「できない」は9.9%と1割未満にとどまっています。

前回調査と比較すると、「できるし、している」が3.6ポイント増加しています。

自分で食事の用意をしているか（全体、前回比較）



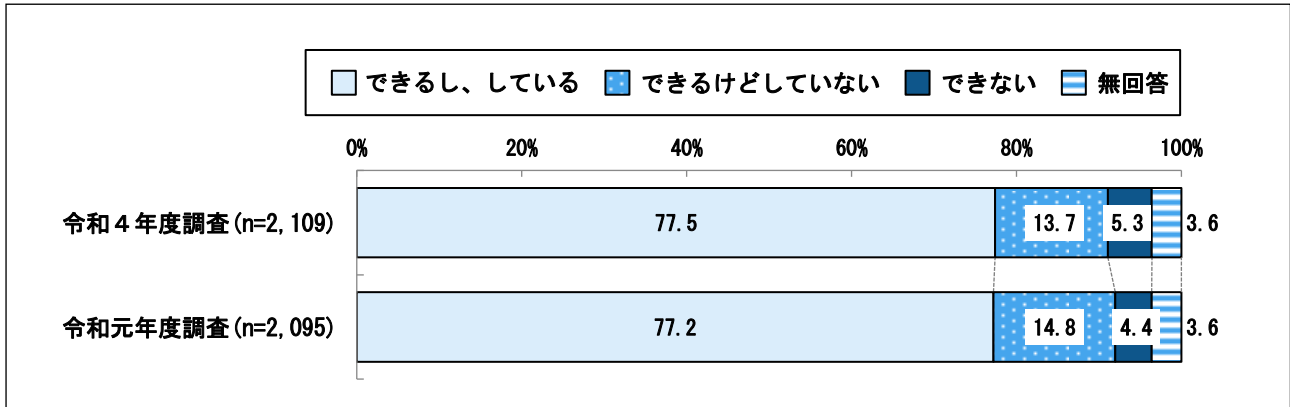
問4（5）自分で請求書の支払いをしていますか

【全体の傾向】

自分で請求書の支払いをしているかどうかをみると、「できるし、している」が77.5%となっています。一方、「できない」は5.3%と1割未満にとどまっています。

前回調査と比較すると、「できるけどしていない」が1.1ポイント減少しています。

自分で請求書の支払いをしているか（全体、前回比較）



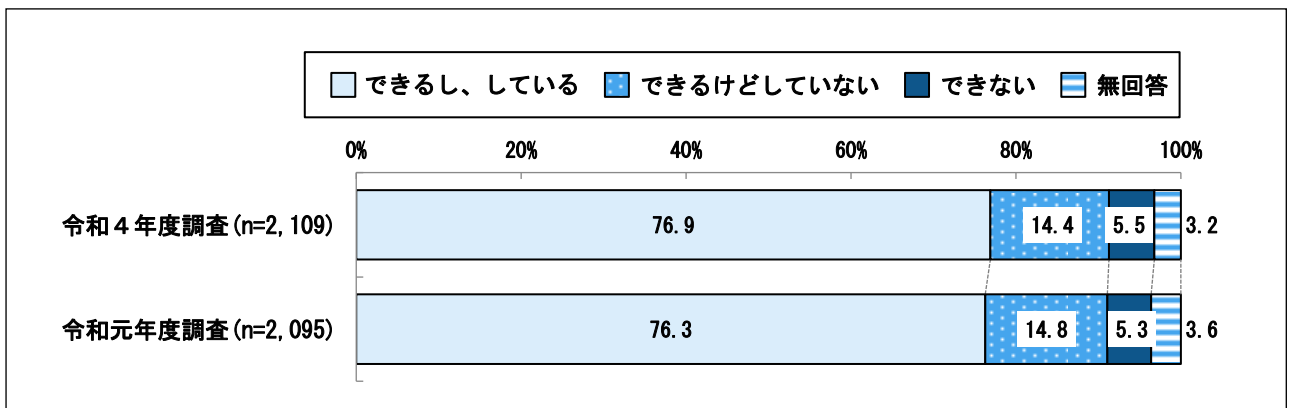
問4（6）自分で預貯金の出し入れをしていますか

【全体の傾向】

自分で預貯金の出し入れをしているかどうかをみると、「できるし、している」が76.9%となっています。一方、「できない」は5.5%と1割未満にとどまっています。

前回調査と比較すると、概ね同様の結果となっています。

自分で預貯金の出し入れをしているか（全体、前回比較）



(3) 他の人に手助けしてほしいことについて

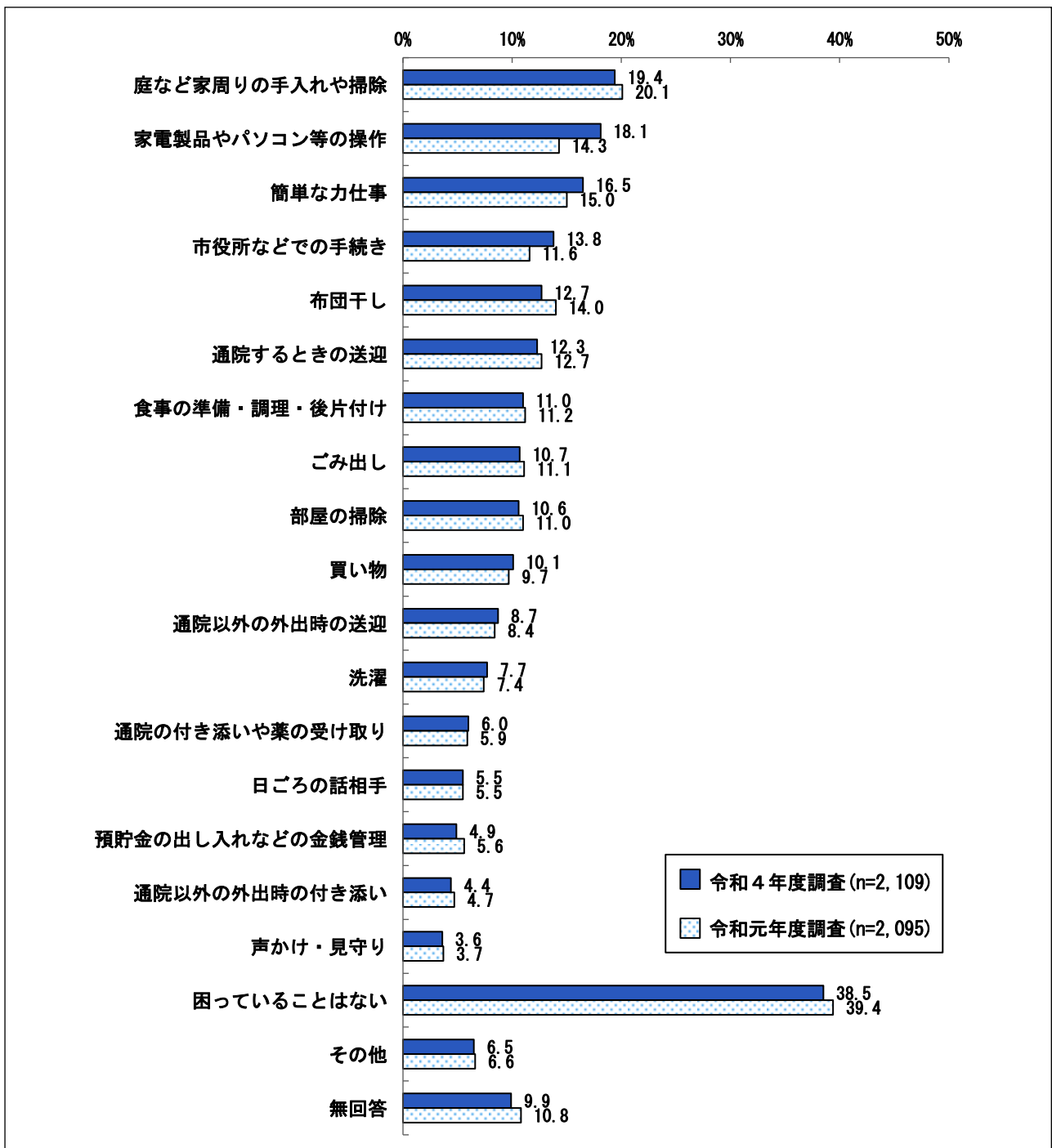
問4 (7) 毎日の生活の中で他の人に頼みたいこと、手助けしてほしいことはありますか(いくつでも)

【全体の傾向】

他の人に手助けしてほしいことについてみると、「庭など家周りの手入れや掃除」が19.4%と多く、次いで、「家電製品やパソコン等の操作」(18.1%)、「簡単な力仕事」(16.5%)、「市役所などでの手続き」(13.8%)、「布団干し」(12.7%)などとなっています。一方、「困っていることはない」は38.5%と最も多くなっています。

前回調査と比較すると、「家電製品やパソコン等の操作」が3.8ポイント増加しています。

他の人に手助けしてほしいこと(全体、前回比較/複数回答)



【属性別の傾向】

圏域別にみると、「家電製品やパソコン等の操作」「庭などの家周りの手入れや掃除」が上位を占めていますが、西部では第3位に「簡単な力仕事」が挙がっています。

家族構成別にみると、夫婦2人暮らしでは、「家電製品やパソコン等の操作」が第2位、1人暮らし、息子・娘との2世帯、その他の世帯では、「簡単な力仕事」が第3位に挙がっています。

図表 1 他の人に手助けしてほしいこと（全体、圏域別、家族構成別／複数回答）

< 上位3位/単位% >

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=2,109)		困っていることはない 38.5	庭など家周りの手入れや掃除 19.4	家電製品やパソコン等の操作 18.1
圏域別	東部 (n=392)	困っていることはない 40.1	家電製品やパソコン等の操作 19.9	庭など家周りの手入れや掃除 18.4
	西部 (n=424)	困っていることはない 37.7	庭など家周りの手入れや掃除 19.6	簡単な力仕事 17.9
	南部 (n=417)	困っていることはない 40.5	家電製品やパソコン等の操作 18.7	庭など家周りの手入れや掃除 18.2
	綾歌 (n=416)	困っていることはない 34.4	庭など家周りの手入れや掃除 20.4	家電製品やパソコン等の操作 20.0
	飯山 (n=460)	困っていることはない 39.6	庭など家周りの手入れや掃除 20.4	家電製品やパソコン等の操作 16.7
	1人暮らし (n=398)	困っていることはない 31.4	庭など家周りの手入れや掃除 25.1	簡単な力仕事 22.6
家族構成別	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=908)	困っていることはない 41.9	家電製品やパソコン等の操作 18.4	庭など家周りの手入れや掃除 16.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=92)	困っていることはない 43.5	家電製品やパソコンの操作 20.7	庭など家周りの手入れや掃除 16.3
	息子・娘との2世帯 (n=360)	困っていることはない 35.0	庭など家周りの手入れや掃除 22.2	簡単な力仕事 19.2
	その他 (n=269)	困っていることはない 41.3	庭など家周りの手入れや掃除 18.2	簡単な力仕事／家電製品や パソコン等の操作 15.6

5 地域での活動について

(1) 社会参加の状況

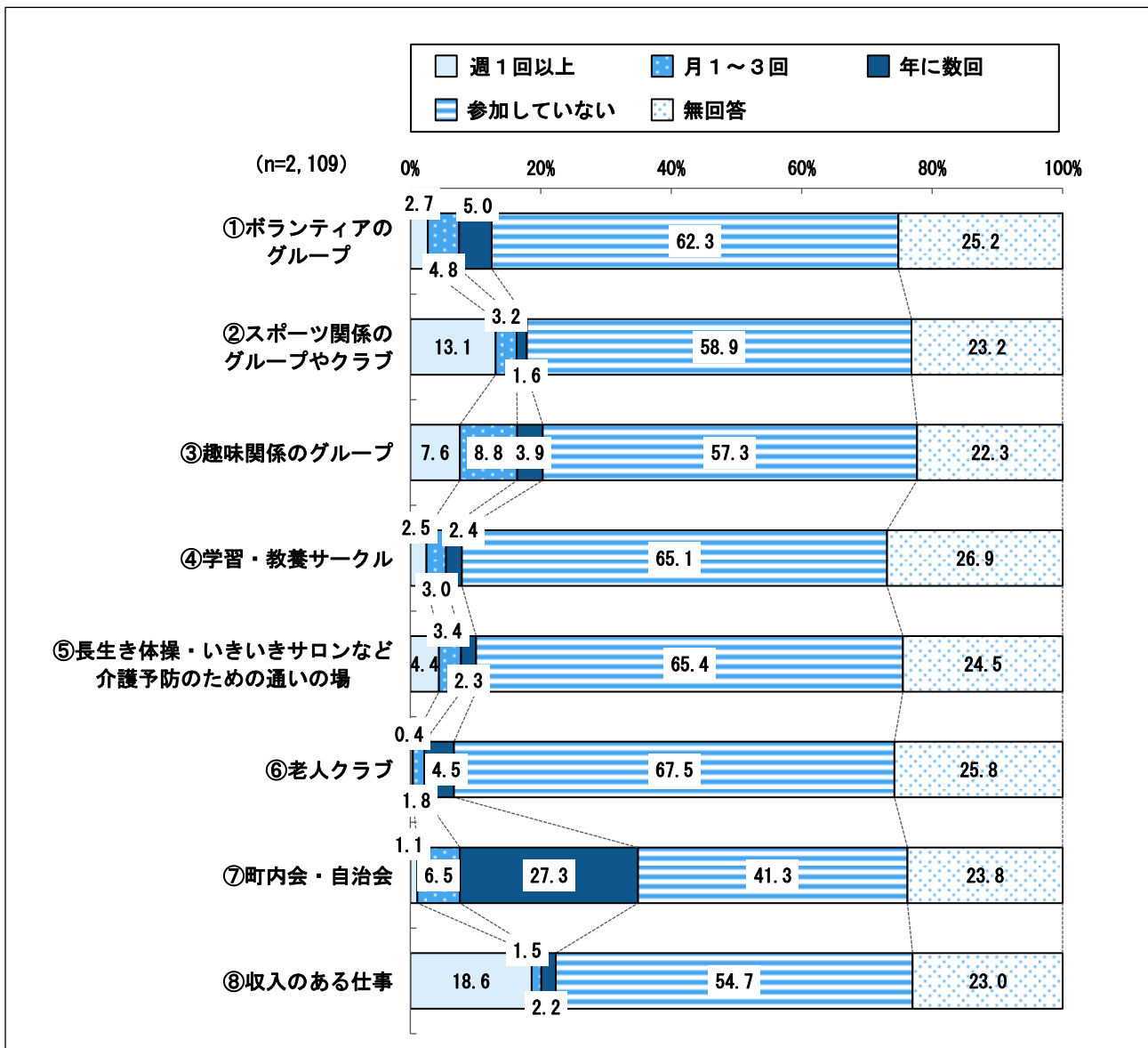
問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①-⑧それぞれに回答してください

【全体の傾向】(選択肢「週4回以上」「週2~3回」「週1回」を統合し「週1回以上」とし集計しています)

社会参加の頻度について、「週1回以上」参加している人の割合をみると、⑧収入のある仕事が18.6%で最も高く、次いで、②スポーツ関係のグループやクラブ(13.1%)、③趣味関係のグループ(7.6%)、⑤長生き体操、いきいきサロンなど介護予防のための通いの場(4.4%)、①ボランティアのグループ(2.7%)と続いています。

社会参加の状況 (全体)



【①ボランティアのグループ】

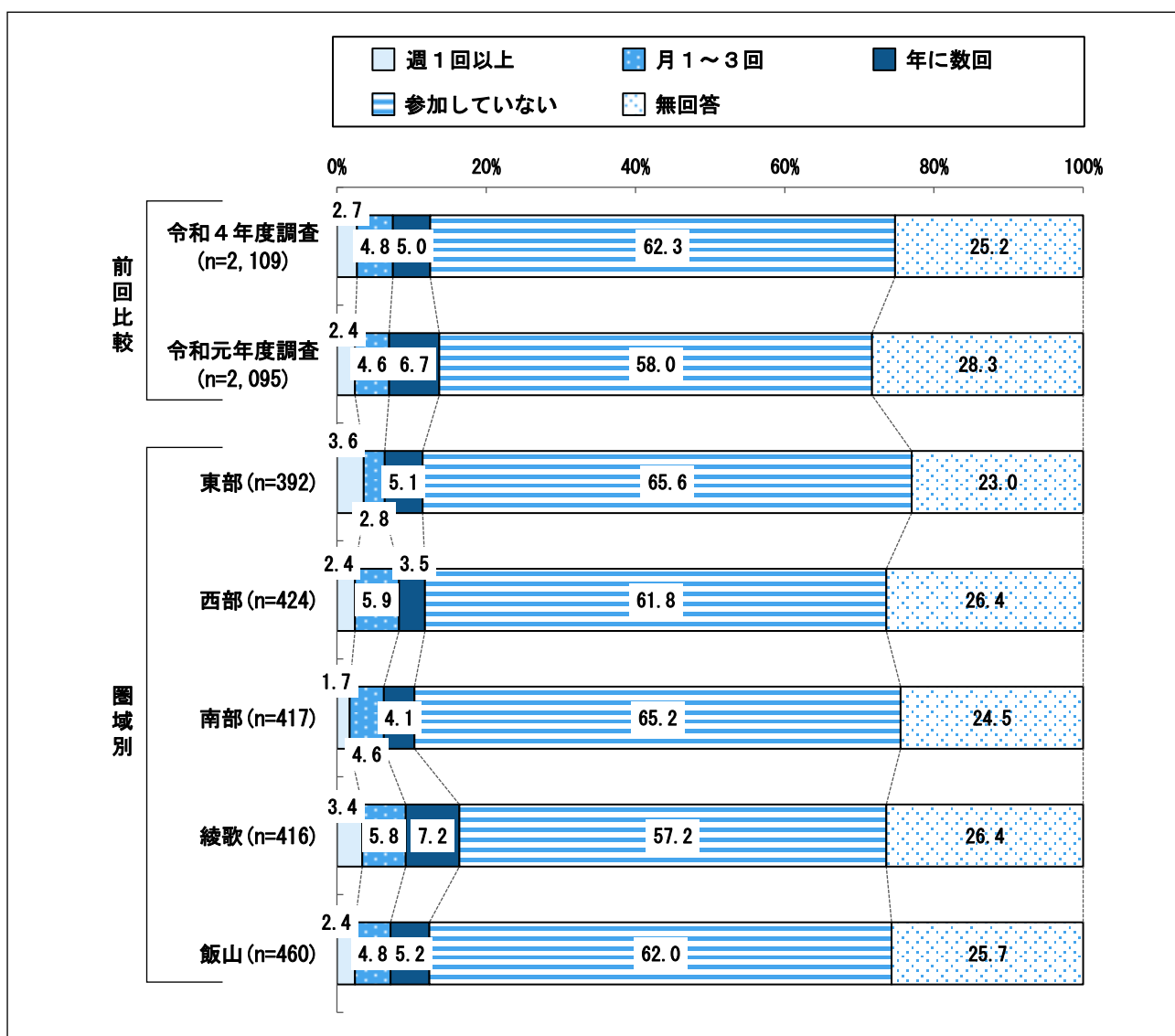
【前回比較と属性別の傾向】

①ボランティアのグループでは、「週1回以上」参加している人は2.7%となっています。また、「週1回以上」「月1～3回」「年に数回」を合わせた『参加率』をみると12.5%となっています。

前回調査と比較すると、『参加率』が1.2ポイント減少しています。

圏域別にみると、「週1回以上」が最も高いのは東部（3.6%）となっていますが、『参加率』で見ると最も高いのは綾歌（16.4%）となっています。

①ボランティアのグループ（全体、前回比較、圏域別）



【②スポーツ関係のグループやクラブ】

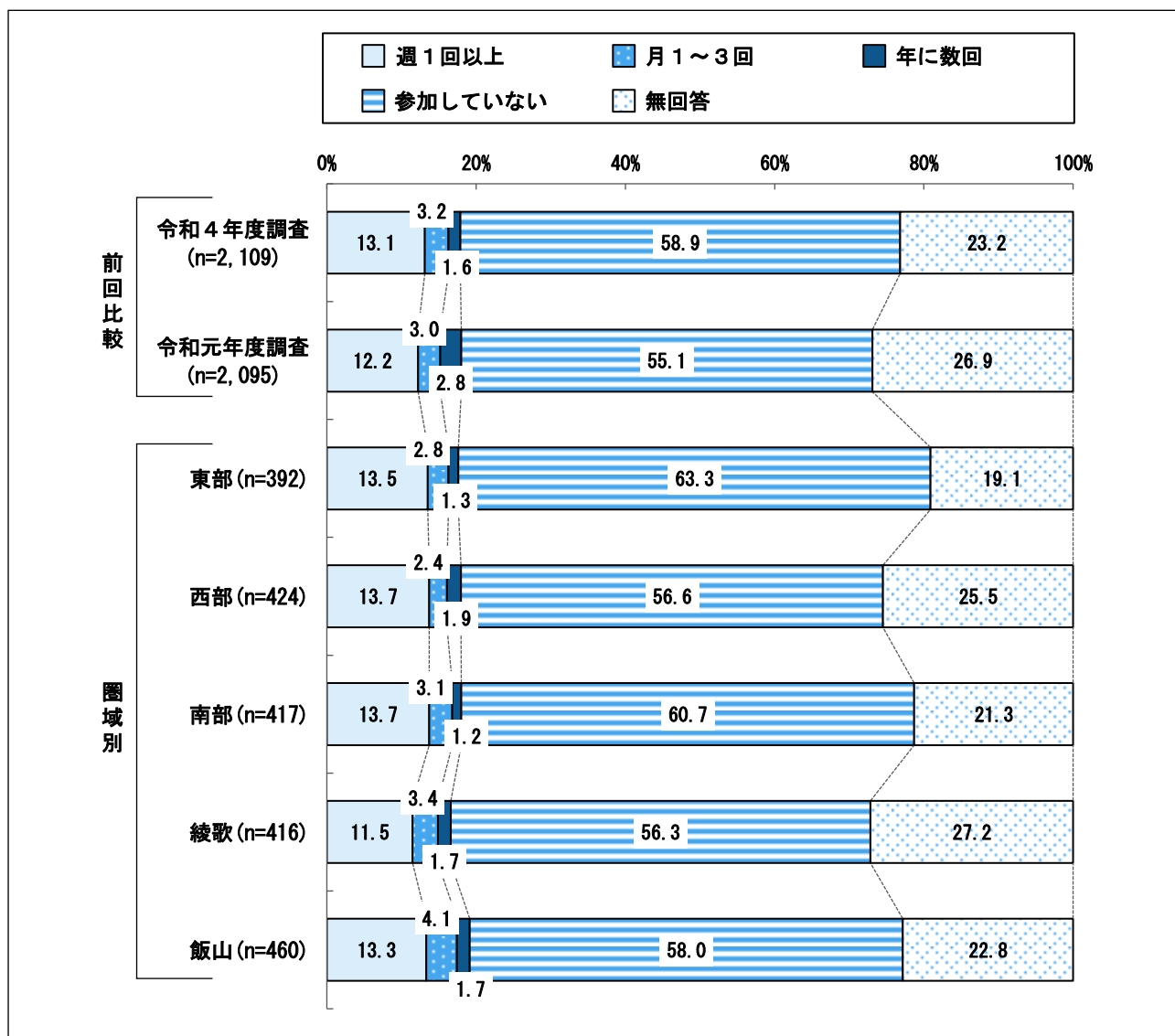
【前回比較と属性別の傾向】

②スポーツ関係のグループやクラブでは、「週1回以上」参加している人は13.1%となっています。また、「週1回以上」「月1～3回」「年に数回」を合わせた『参加率』をみると17.9%となっています。

前回調査と比較すると、『参加率』に大きな差はみられません。

圏域別にみると、「週1回以上」が最も高いのは西部、南部（ともに13.7%）となっていますが、『参加率』でみると、飯山（19.1%）が最も高くなっています。

②スポーツ関係のグループやクラブ（全体、前回比較、圏域別）



【③趣味関係のグループ】

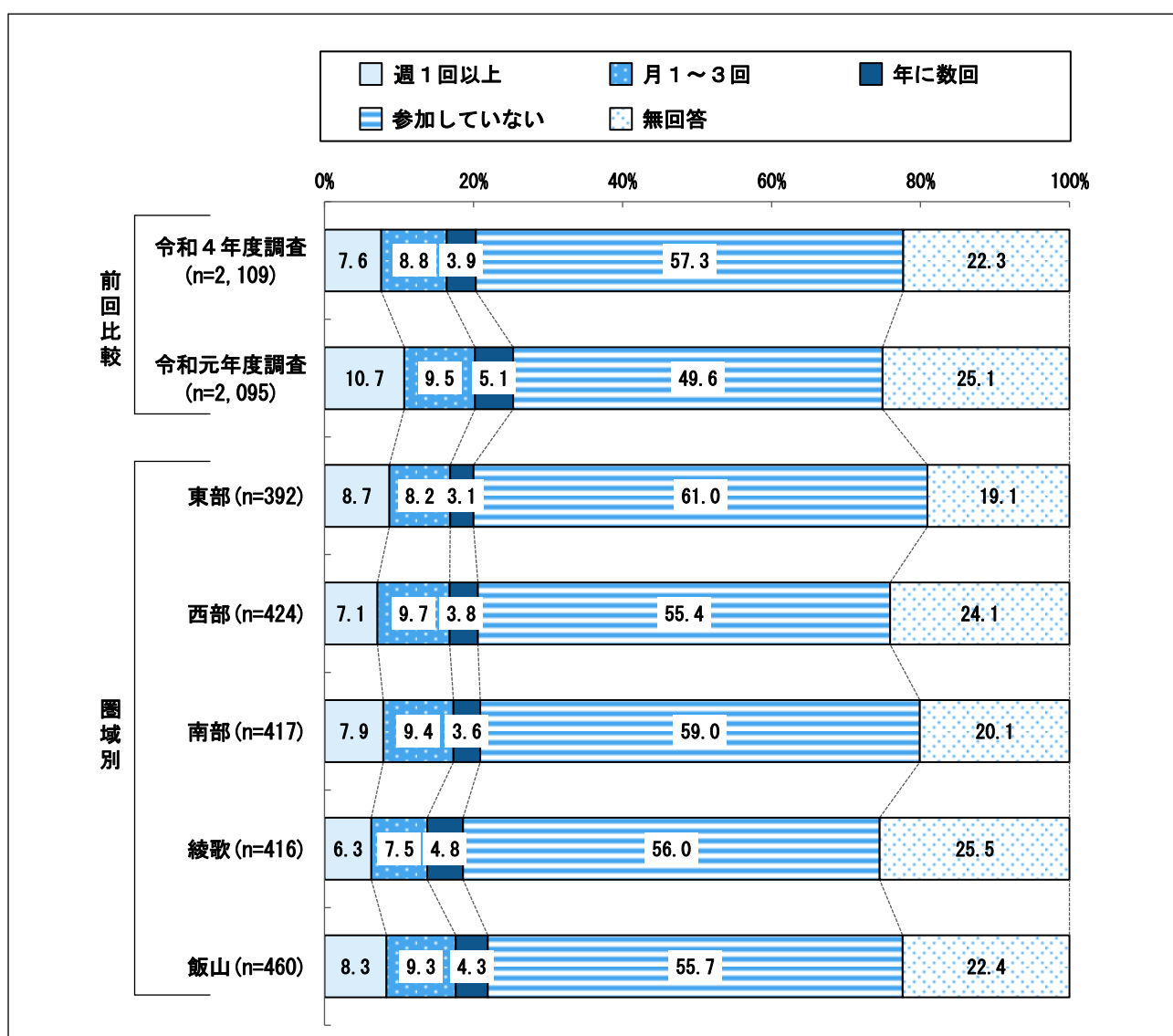
【前回比較と属性別の傾向】

③趣味関係のグループでは、「週1回以上」参加している人は7.6%となっています。また、「週1回以上」「月1～3回」「年に数回」を合わせた『参加率』をみると20.3%となっています。

前回調査と比較すると、『参加率』が5.0ポイント減少しています。

圏域別にみると、「週1回以上」が最も高いのは東部（8.7%）となっていますが、『参加率』で見ると最も高いのは飯山（21.9%）となっています。

③趣味関係のグループ（全体、前回比較、圏域別）



【④学習・教養サークル】

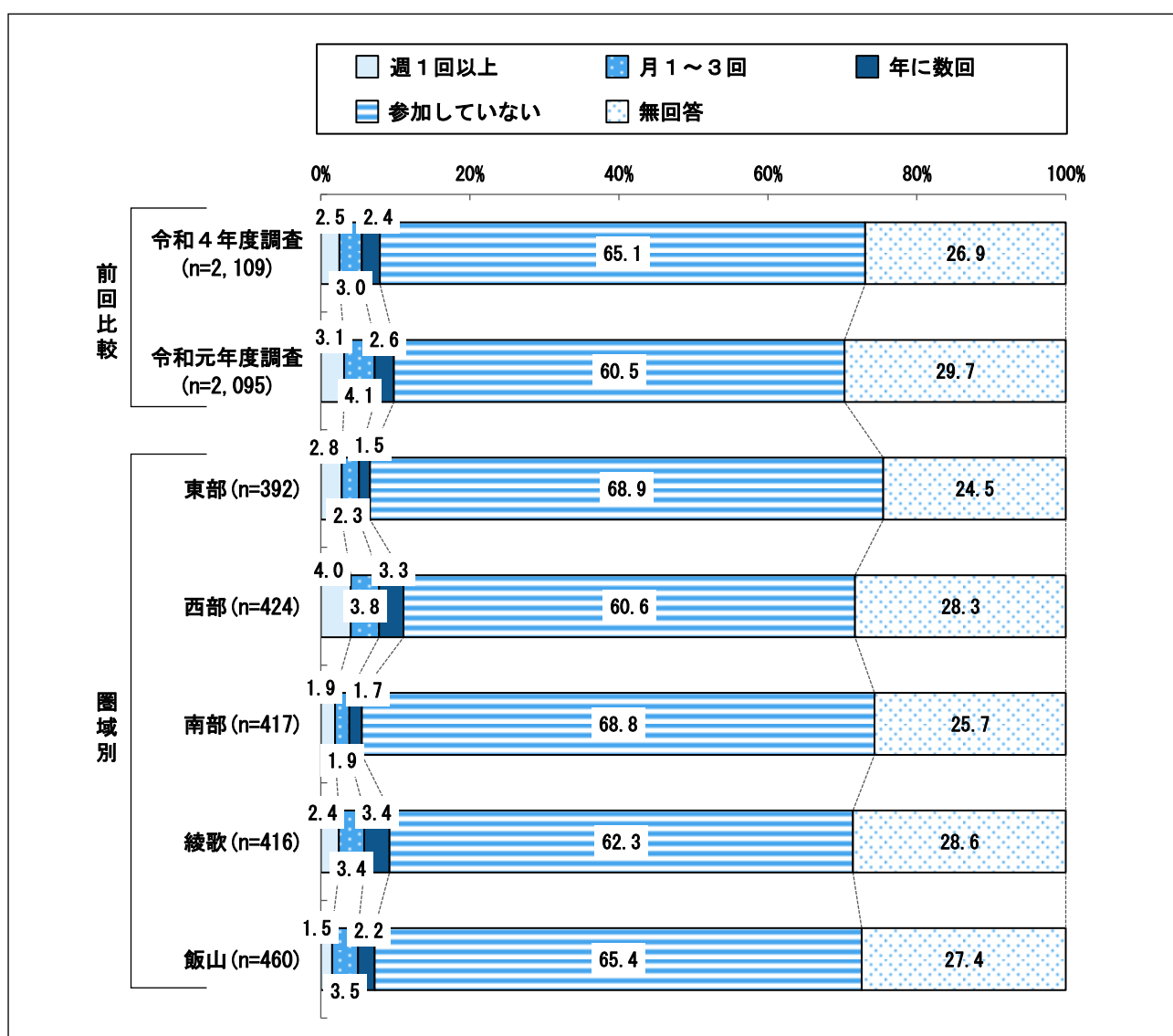
【前回比較と属性別の傾向】

④学習・教養サークルでは、「週1回以上」参加している人は2.5%となっています。また、「週1回以上」「月1～3回」「年に数回」を合わせた『参加率』をみると7.9%となっています。

前回調査と比較すると、『参加率』が1.9ポイント減少しています。

圏域別にみると、「週1回以上」が最も高いのは西部（4.0%）となっており、『参加率』でも最も高いのは西部（11.1%）となっています。

④学習・教養サークル（全体、前回比較、圏域別）



【⑤長生き体操・いきいきサロンなど介護予防のための通いの場】

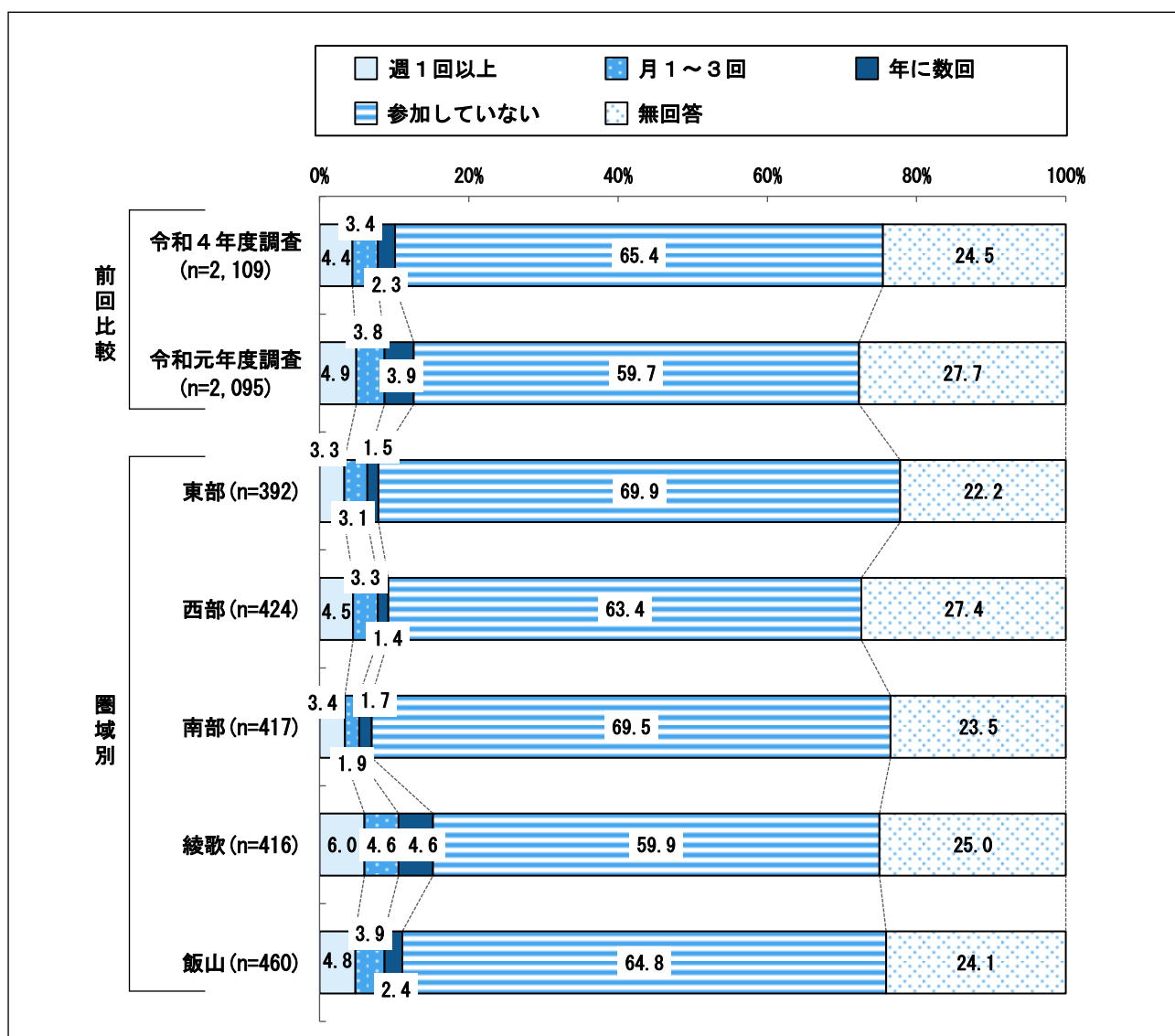
【前回比較と属性別の傾向】

⑤長生き体操・いきいきサロンなど介護予防のための通いの場では、「週1回以上」参加している人は4.4%となっています。また、「週1回以上」「月1～3回」「年に数回」を合わせた『参加率』をみると10.1%となっています。

前回調査と比較すると、『参加率』が2.5ポイント減少しています。

圏域別にみると、「週1回以上」が最も高いのは綾歌（6.0%）となっており、『参加率』でも最も高いのは綾歌（15.2%）となっています。

⑤長生き体操・いきいきサロンなど介護予防のための通いの場（全体、前回比較、圏域別）



【⑥老人クラブ】

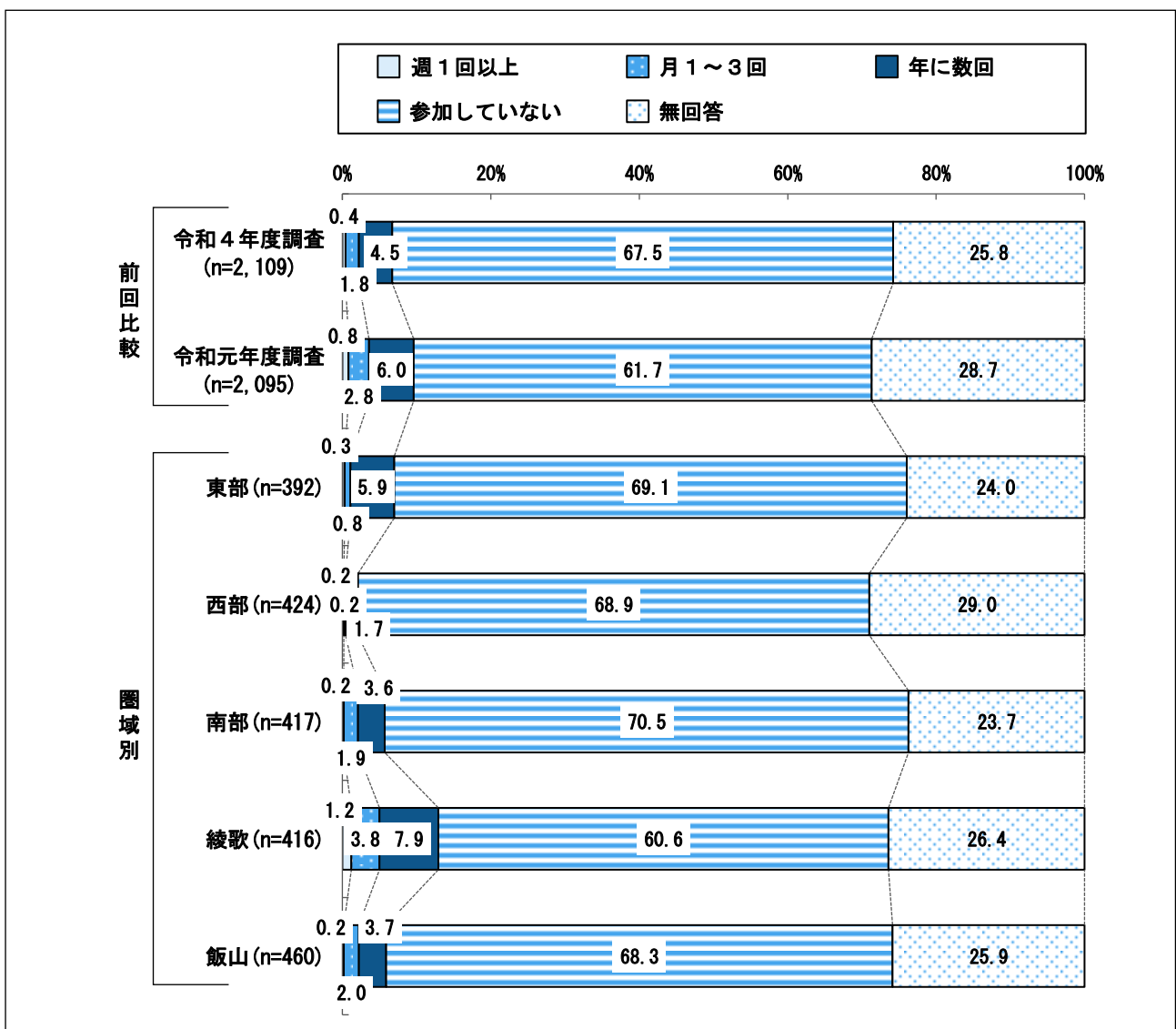
【前回比較と属性別の傾向】

⑥老人クラブでは、「週1回以上」参加している人は0.4%となっています。また、「週1回以上」「月1～3回」「年に数回」を合わせた『参加率』をみると6.7%となっています。

前回調査と比較すると、『参加率』が2.9ポイント減少しています。

圏域別にみると、「週1回以上」が最も高いのは綾歌（1.2%）となっており、『参加率』でも最も高いのは綾歌（12.9%）となっています。

⑥老人クラブ（全体、前回比較、圏域別）



【⑦町内会・自治会】

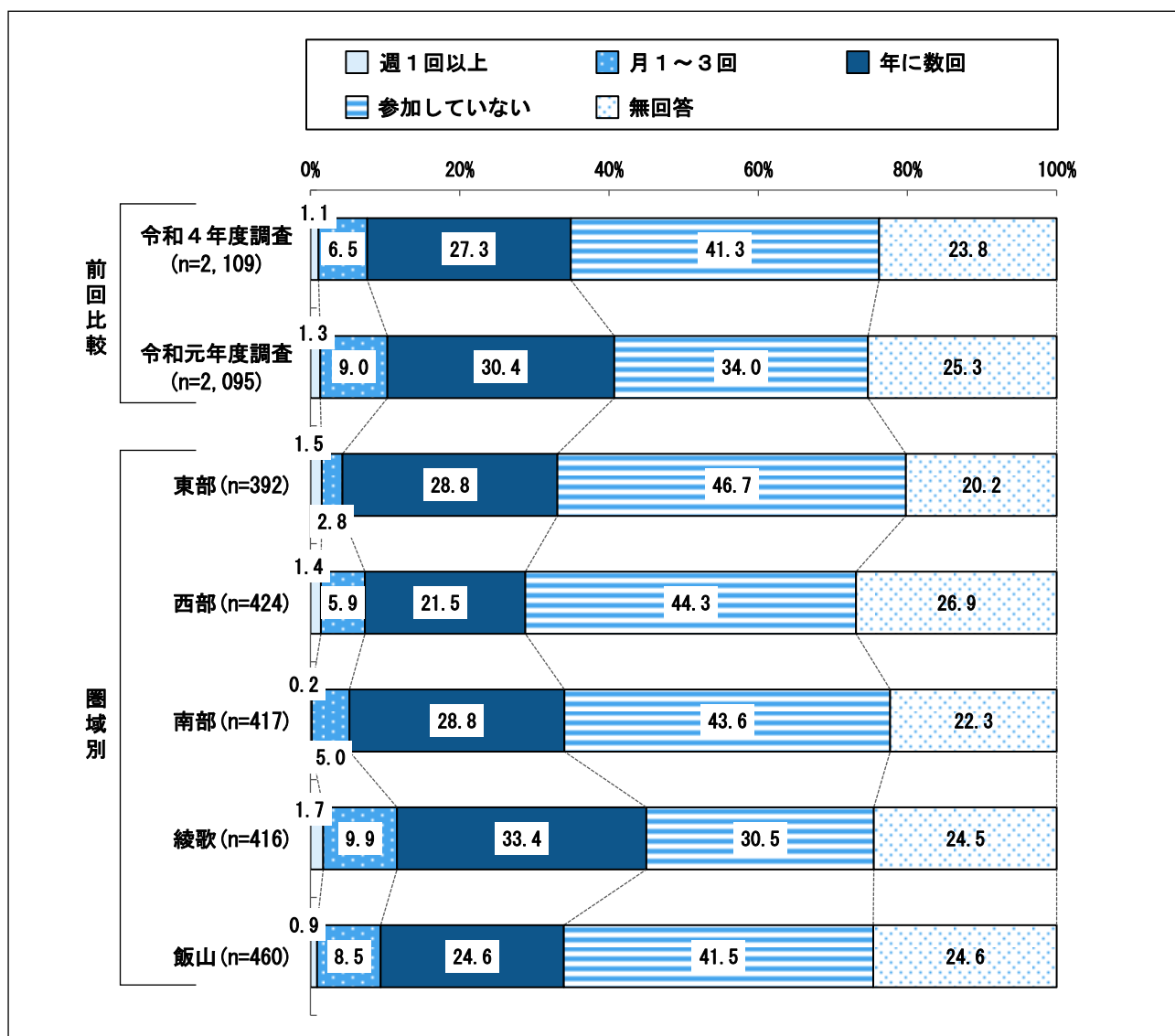
【前回比較と属性別の傾向】

⑦町内会・自治会では、「週1回以上」参加している人は1.1%となっています。また、「週1回以上」「月1～3回」「年に数回」を合わせた『参加率』をみると34.9%となっています。

前回調査と比較すると、『参加率』が5.8ポイント減少しています。

圏域別にみると、「週1回以上」が最も高いのは綾歌（1.7%）となっており、『参加率』でも最も高いのは綾歌（45.0%）となっています。

⑦町内会・自治会（全体、前回比較、圏域別）



【⑧収入のある仕事】

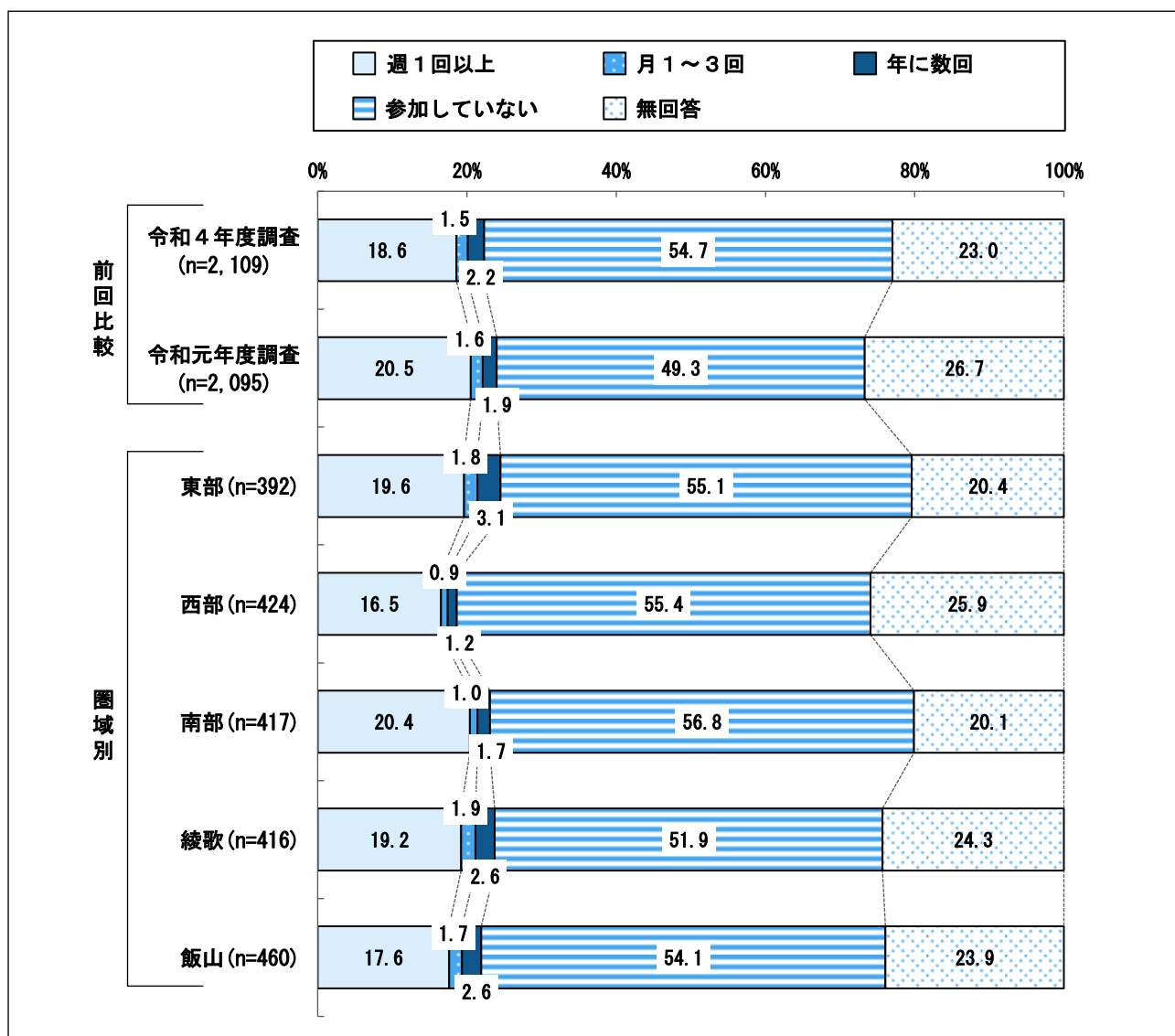
【前回比較と属性別の傾向】

⑧収入のある仕事では、「週1回以上」参加している人は18.6%となっています。また、「週1回以上」「月1～3回」「年に数回」を合わせた『参加率』をみると22.3%となっています。

前回調査と比較すると、『参加率』が1.7ポイント減少しています。

圏域別にみると、「週1回以上」が最も高いのは南部（20.4%）となっていますが、『参加率』で見ると、最も高いのは東部（24.5%）となっています。

⑧収入のある仕事（全体、前回比較、圏域別）



(2) 地域づくりへの参加意向（参加者）

問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

【全体の傾向】

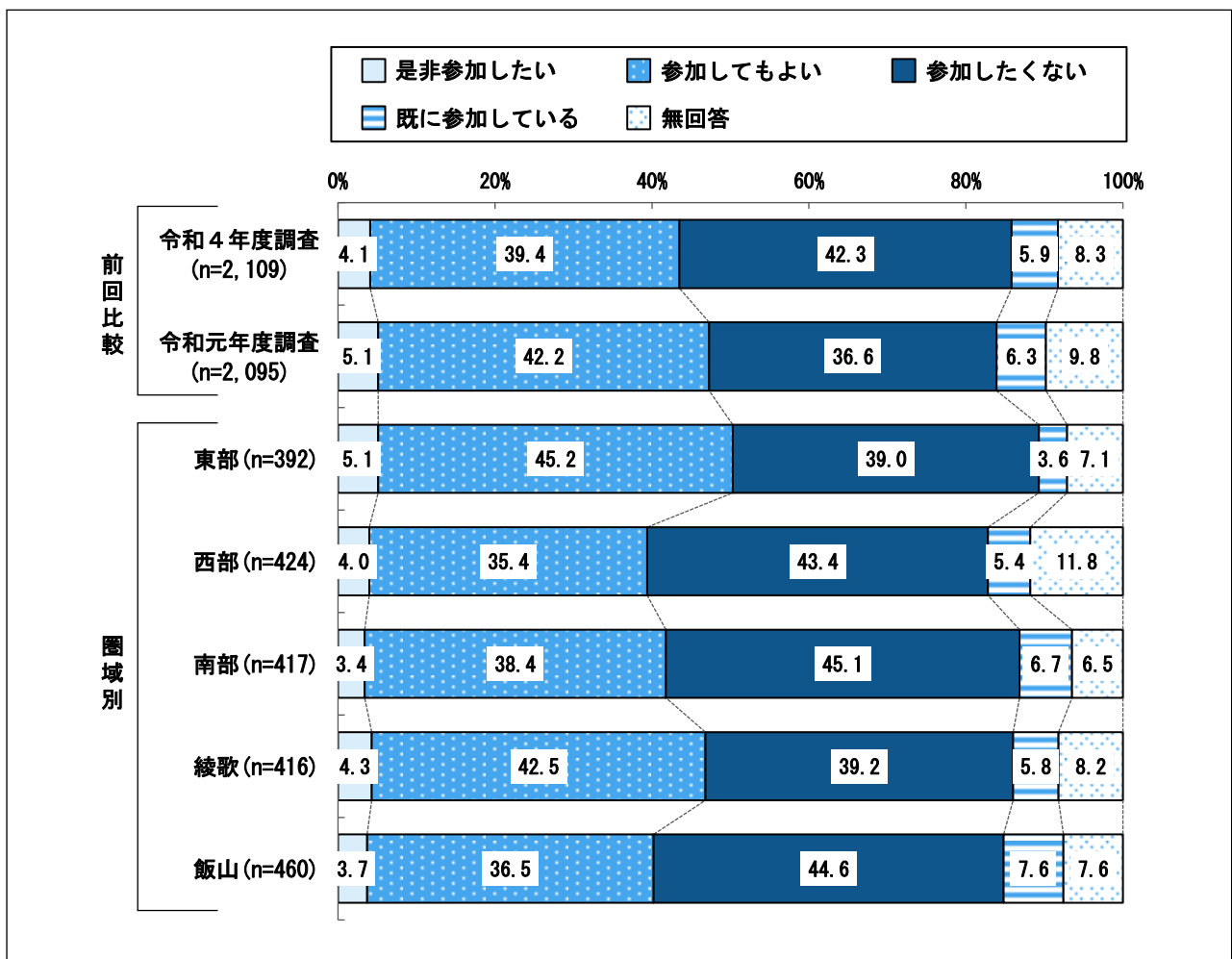
地域づくり活動に参加者として参加してみたいかどうかをみると、「参加したくない」が42.3%と最も高く、次いで「参加してもよい」(39.4%)、「既に参加している」(5.9%)と続いています。また、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加者として参加してもよい』は43.5%となっています。

前回調査と比較すると、「参加したくない」が5.7ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

圏域別にみると、『参加者として参加してもよい』は東部(50.3%)が最も高く、西部(39.4%)が最も低くなっています。

地域づくりへの参加意向（参加者）（全体、前回比較、圏域別）



(3) 地域づくりへの参加意向（企画・運営）

問5（3）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

【全体の傾向】

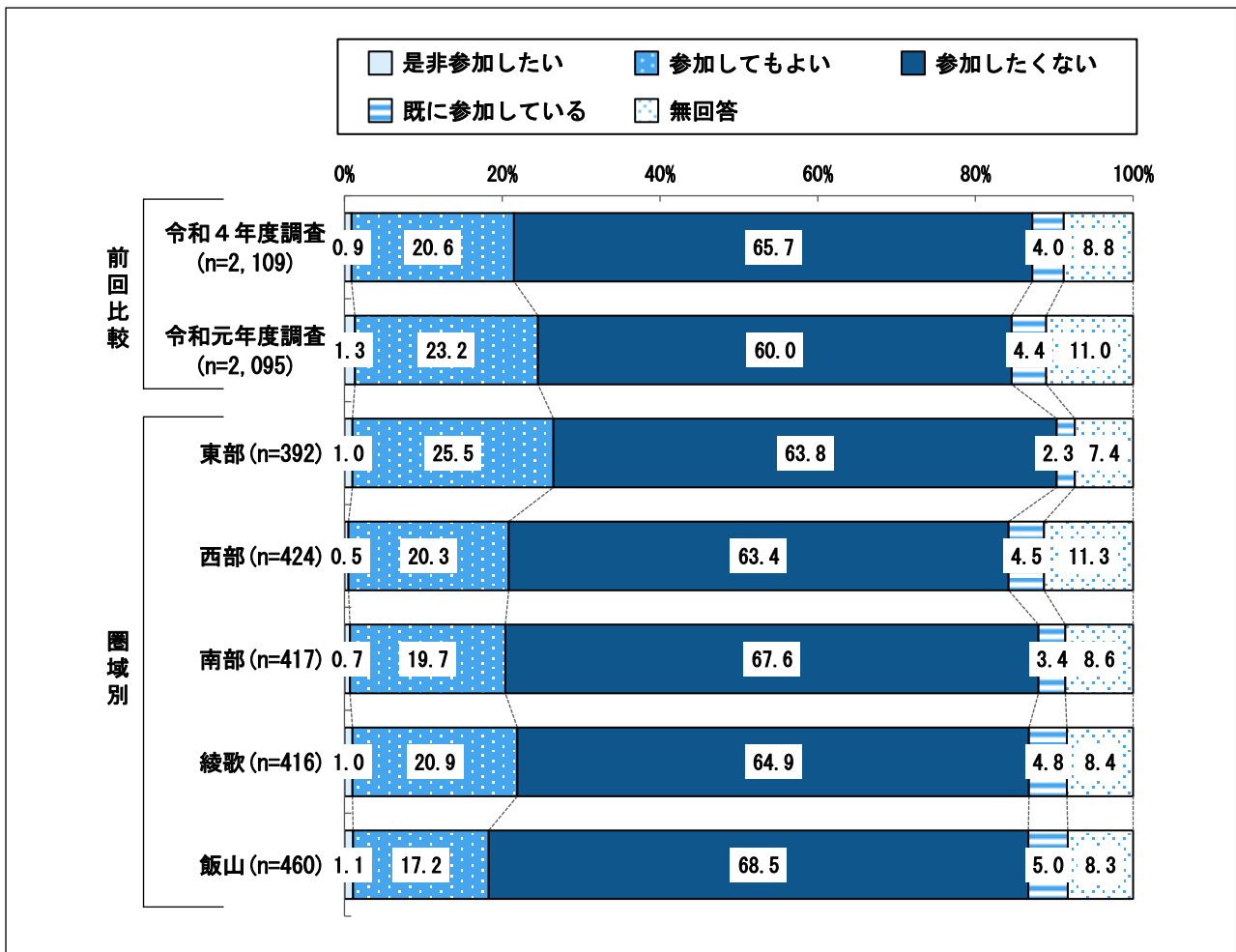
地域づくり活動に企画・運営として参加してみたいかどうかをみると、「参加したくない」が65.7%を占めています。一方、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『企画・運営として参加してもよい』は21.5%にとどまり、前問の『参加者として参加してもよい』（43.5%）に比べて22.0ポイント下回っています。

前回調査と比較すると、「参加したくない」が5.7ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

圏域別にみると、『企画・運営として参加してもよい』は、東部（26.5%）が最も高く、飯山（18.3%）が最も低くなっています。

地域づくりへの参加意向（企画・運営）（全体、前回比較、圏域別）



6 たすけあいについて

(1) 心配事などの相談相手について

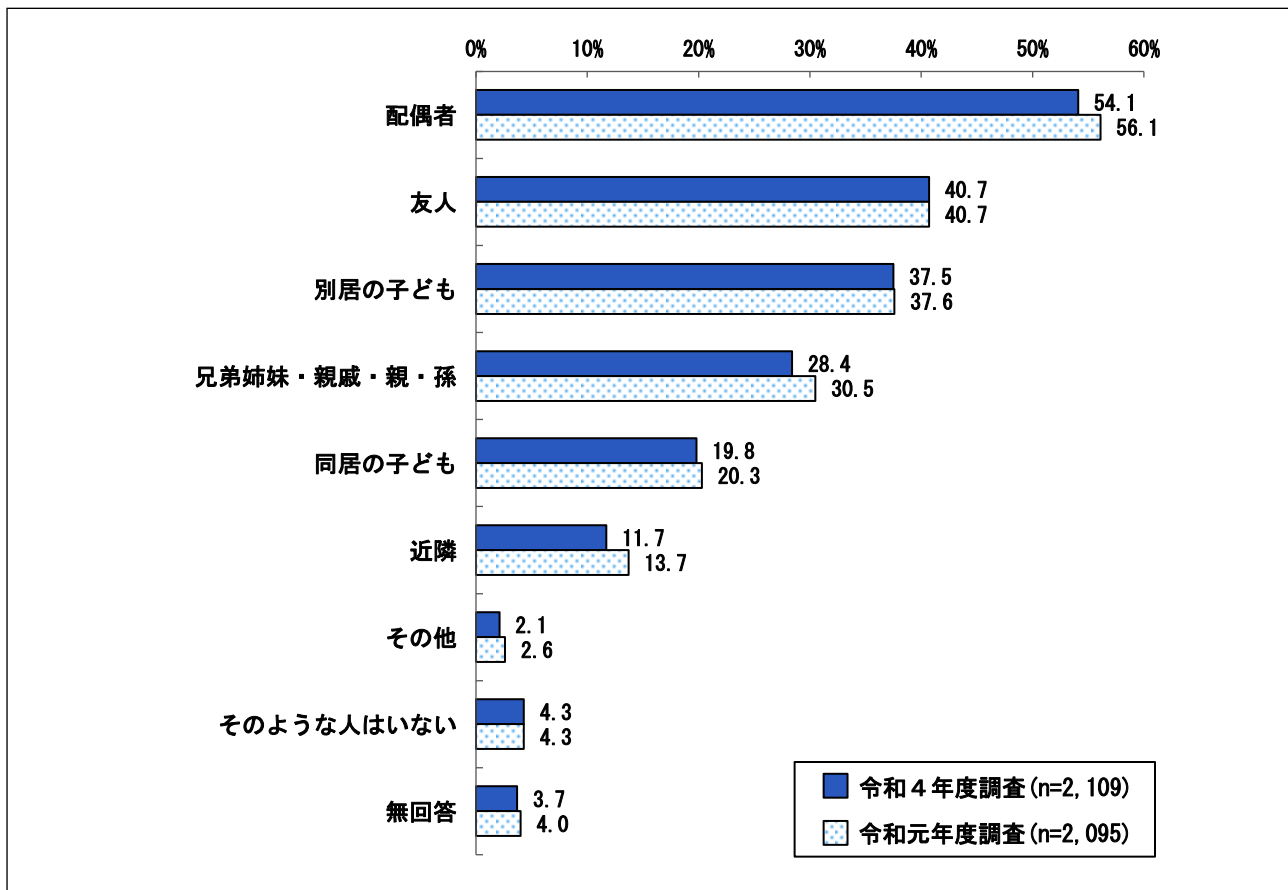
問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

【全体の傾向】

心配事や愚痴を聞いてくれる相手についてみると、「配偶者」が54.1%と最も多く、次いで「友人」(40.7%)、「別居の子ども」(37.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(28.4%)、「同居の子ども」(19.8%)と続いています。

前回調査と比較すると、「友人」「そのような人はいない」は前回と同様の結果となっており、それ以外の割合は減少しています。

心配事や愚痴を聞いてくれる人(全体、前回比較/複数回答)



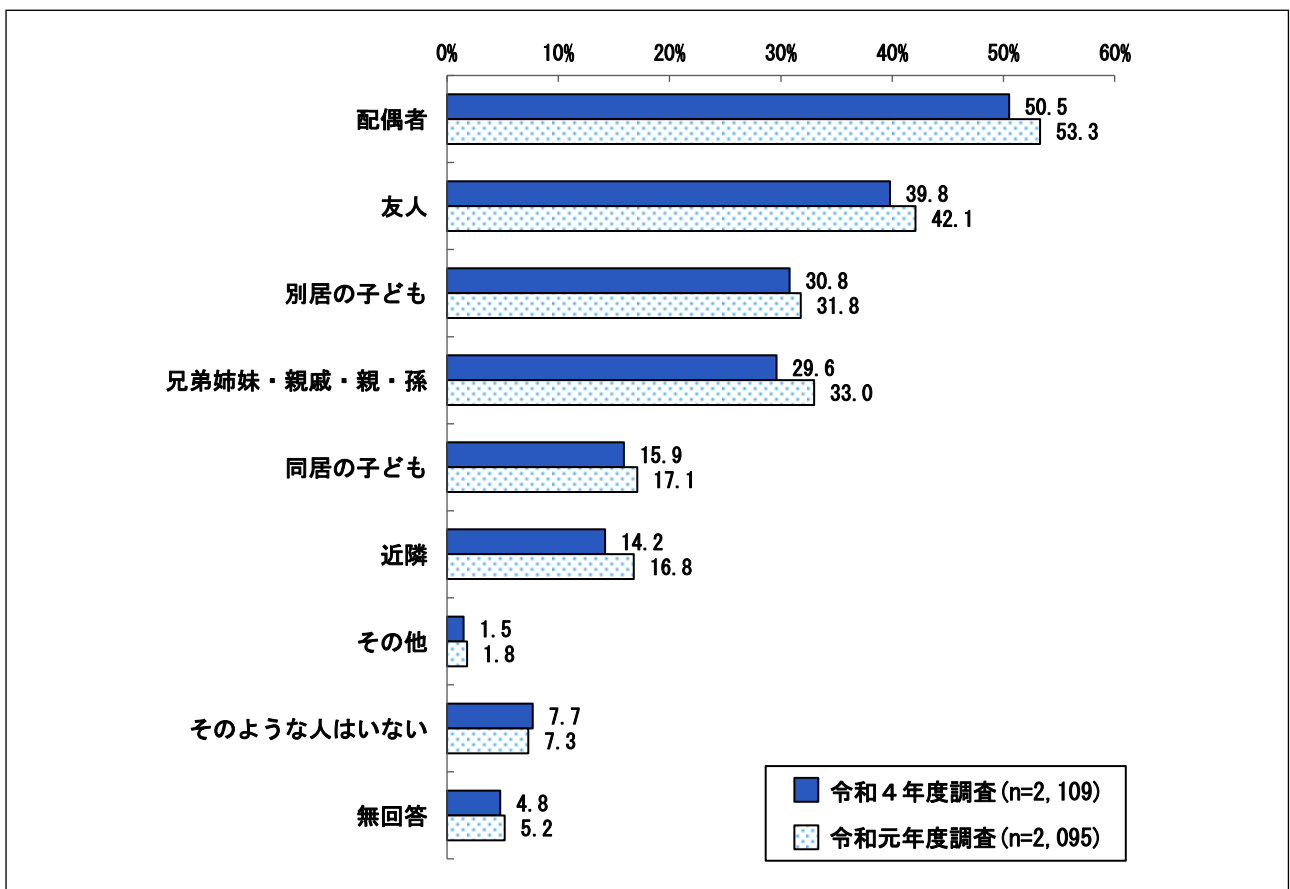
問6（2）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

【全体の傾向】

心配事や愚痴を聞いてあげる人についてみると、「配偶者」が50.5%と最も多く、次いで「友人」（39.8%）、「別居の子ども」（30.8%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（29.6%）、「同居の子ども」（15.9%）と続いています。

前回調査と比較すると、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が3.4ポイント減少しています。また、「そのような人はいない」以外の割合はいずれも減少しています。

心配事や愚痴を聞いてあげる人（全体、前回比較／複数回答）



(2) 病気の際の世話人について

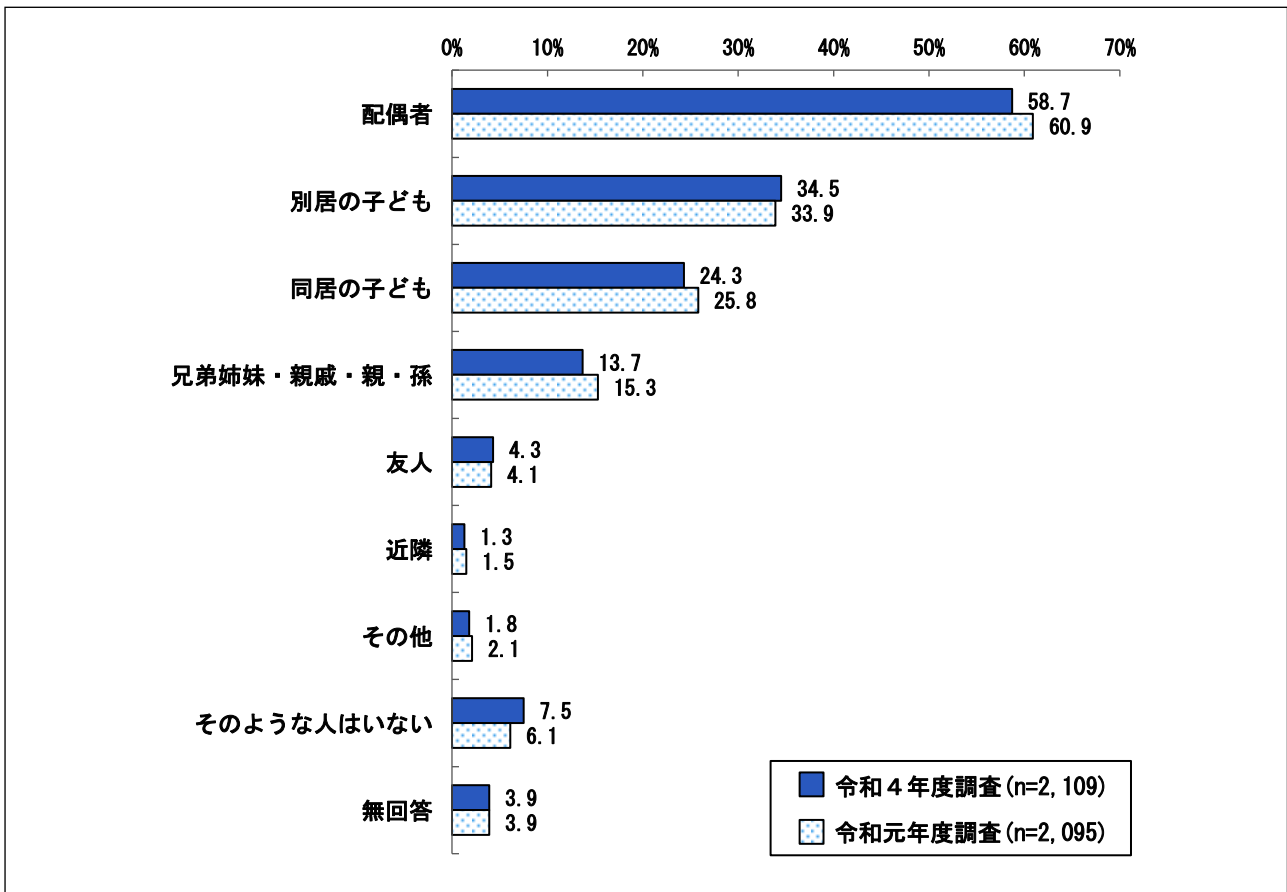
問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

【全体の傾向】

病気で寝込んだ際に看病してくれる人についてみると、「配偶者」が58.7%と最も多く、次いで「別居の子ども」(34.5%)、「同居の子ども」(24.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(13.7%)、と上位4位まではすべて親族となっています。さらに「友人」(4.3%)、「近隣」(1.3%)と続いています。割合に大差がみられます。

前回調査と比較すると、「配偶者」が2.2ポイント減少しています。

看病や世話をしてくれる人（全体、前回比較／複数回答）



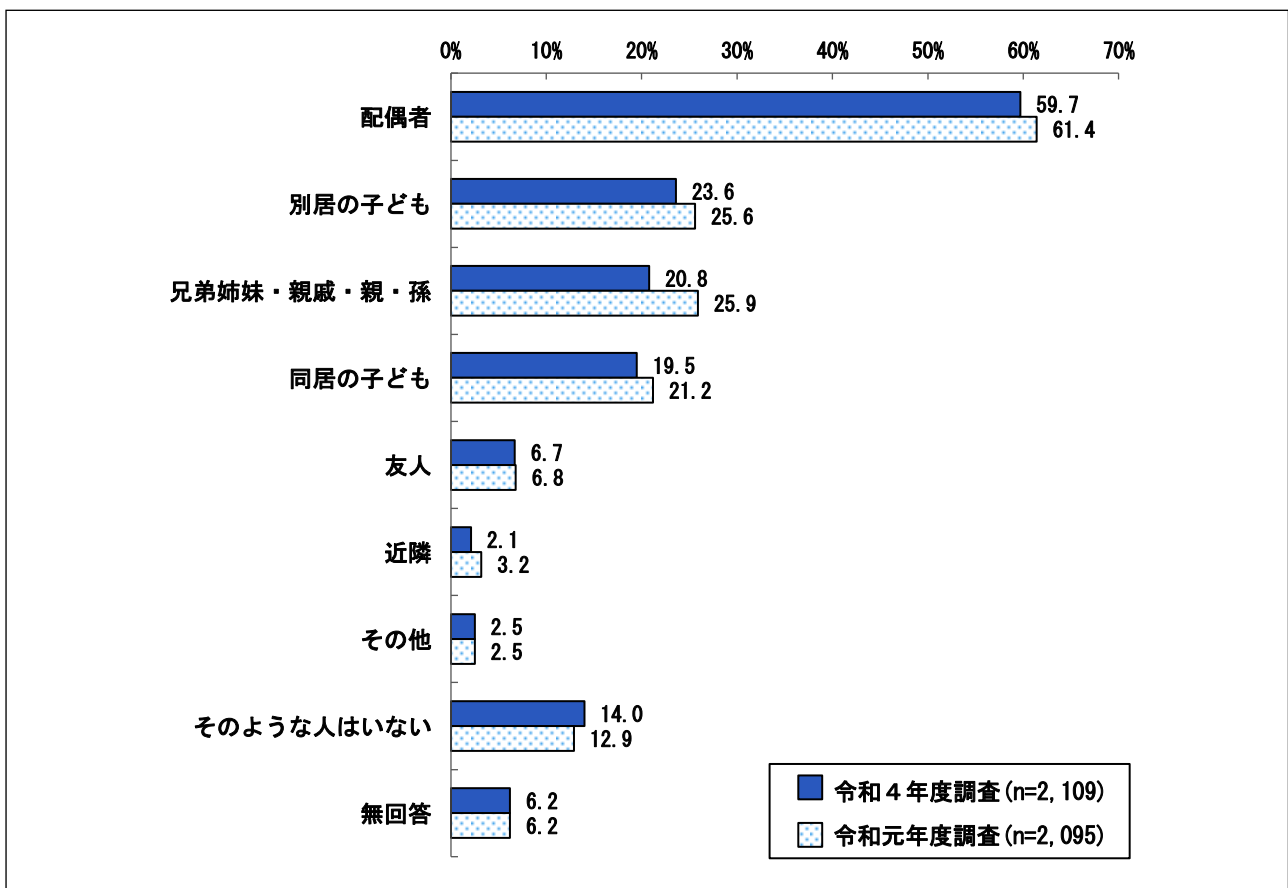
問6（4）反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）

【全体の傾向】

病気の際に看病や世話をしあける人についてみると、「配偶者」が59.7%と最も多く、その割合は突出しています。次いで、「別居の子ども」（23.6%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（20.8%）、「同居の子ども」（19.5%）と続いており、上位4位までは、看病や世話をしてくれる人と同様にすべて親族となっています。

前回調査と比較すると、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が5.1ポイント減少しています。また「そのような人はいない」は増加していますが、それ以外の割合は減少しています。

看病や世話をしあける人（全体、前回比較／複数回答）



7 健康について

(1) 主観的健康感

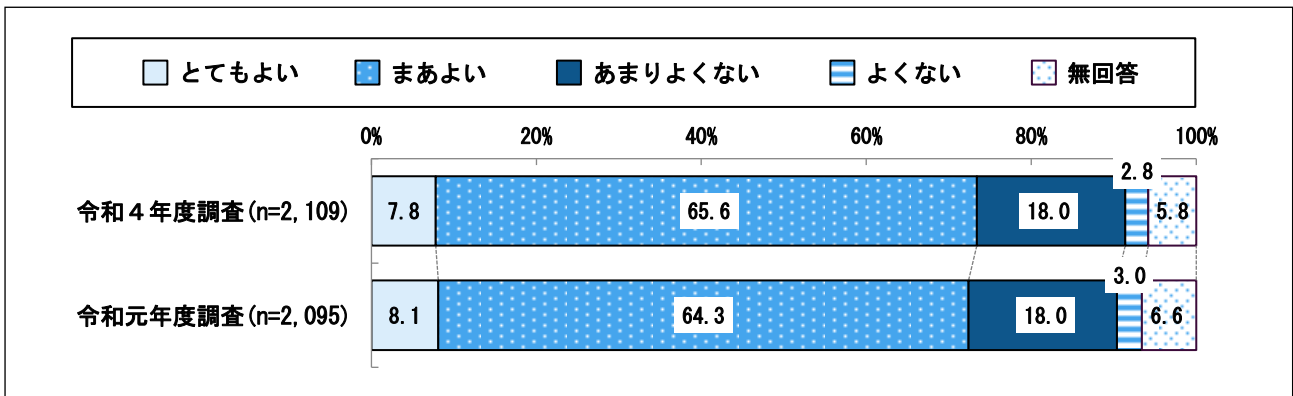
問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

【全体の傾向】

現在の健康状態についてみると、65.6%が「まあよい」と回答しており、「とてもよい」(7.8%)と合計すると、健康状態が『よい』が73.4%となっています。

前回調査と比較すると、『よい』が1.0ポイント増加しています。

主観的健康感（全体、前回比較）



(2) 主観的幸福感

問7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

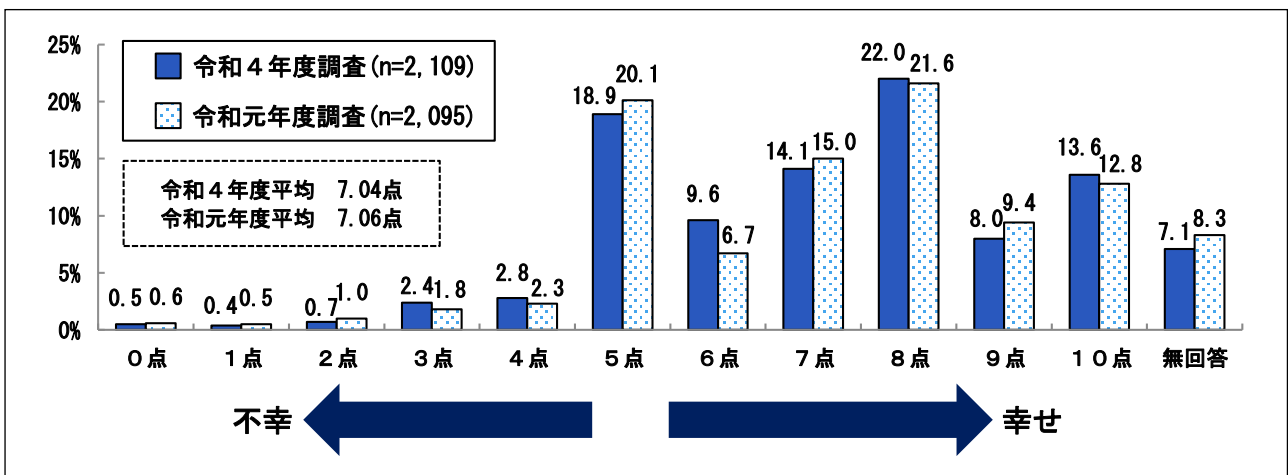
【全体の傾向】

現在どの程度幸せかについて点数で評価したところ、「8点」が22.0%と最も高くなっています。

5点を中間とすると、『幸せ』と回答した人の方が多くなっています。

前回調査と比較すると、平均点はやや低くなっています。

主観的幸福感（全体、前回比較）



(3) うつ傾向について

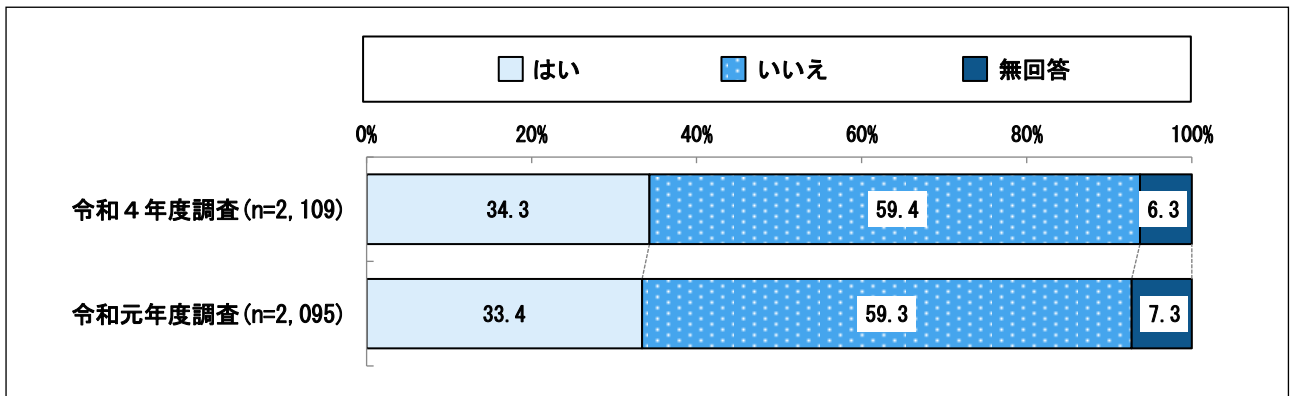
問7 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

【全体の傾向】

この1か月間で気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったかについてみると、「はい」が34.3%、「いいえ」が59.4%となっています。

前回調査と比較すると、概ね同様の結果となっています。

ゆううつな気持ちになったことがあるか（全体、前回比較）



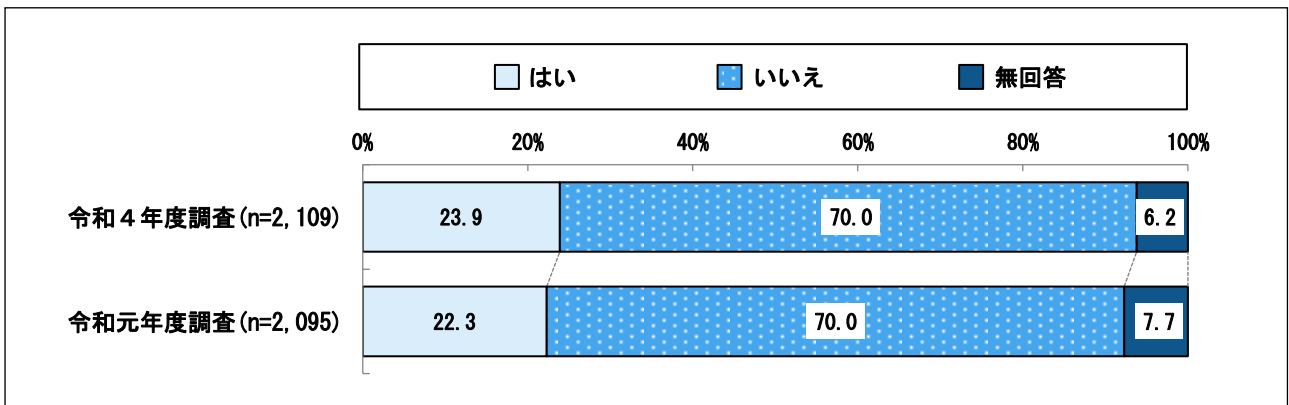
問7 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

【全体の傾向】

この1か月間で物事に対して興味がわかない、楽しめないと感じたかについてみると、「はい」が23.9%、「いいえ」が70.0%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が1.6ポイント増加しています。

物事に興味がわかない、楽しめないことについて（全体、前回比較）



(4) 喫煙の習慣

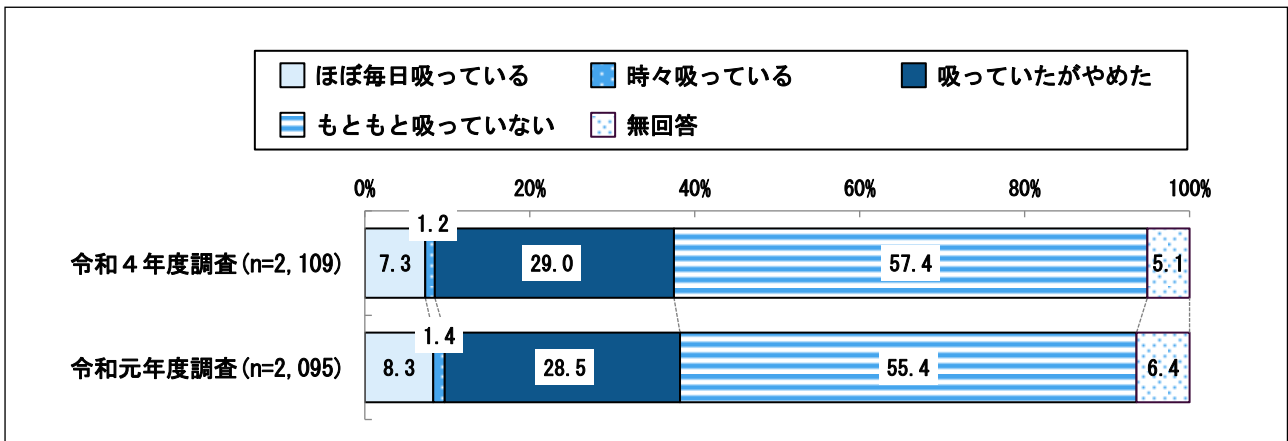
問7 (5) タバコは吸っていますか

【全体の傾向】

喫煙の習慣についてみると、57.4%が「もともと吸っていない」と回答しており、「吸っていたがやめた」(29.0%)を合計すると、86.4%が『現在は吸っていない』と回答していることになります。

前回調査と比較すると、『現在は吸っていない』人が2.5ポイント増加しています。

喫煙の習慣（全体、前回比較）



(5) 現在治療中、後遺症のある病気について

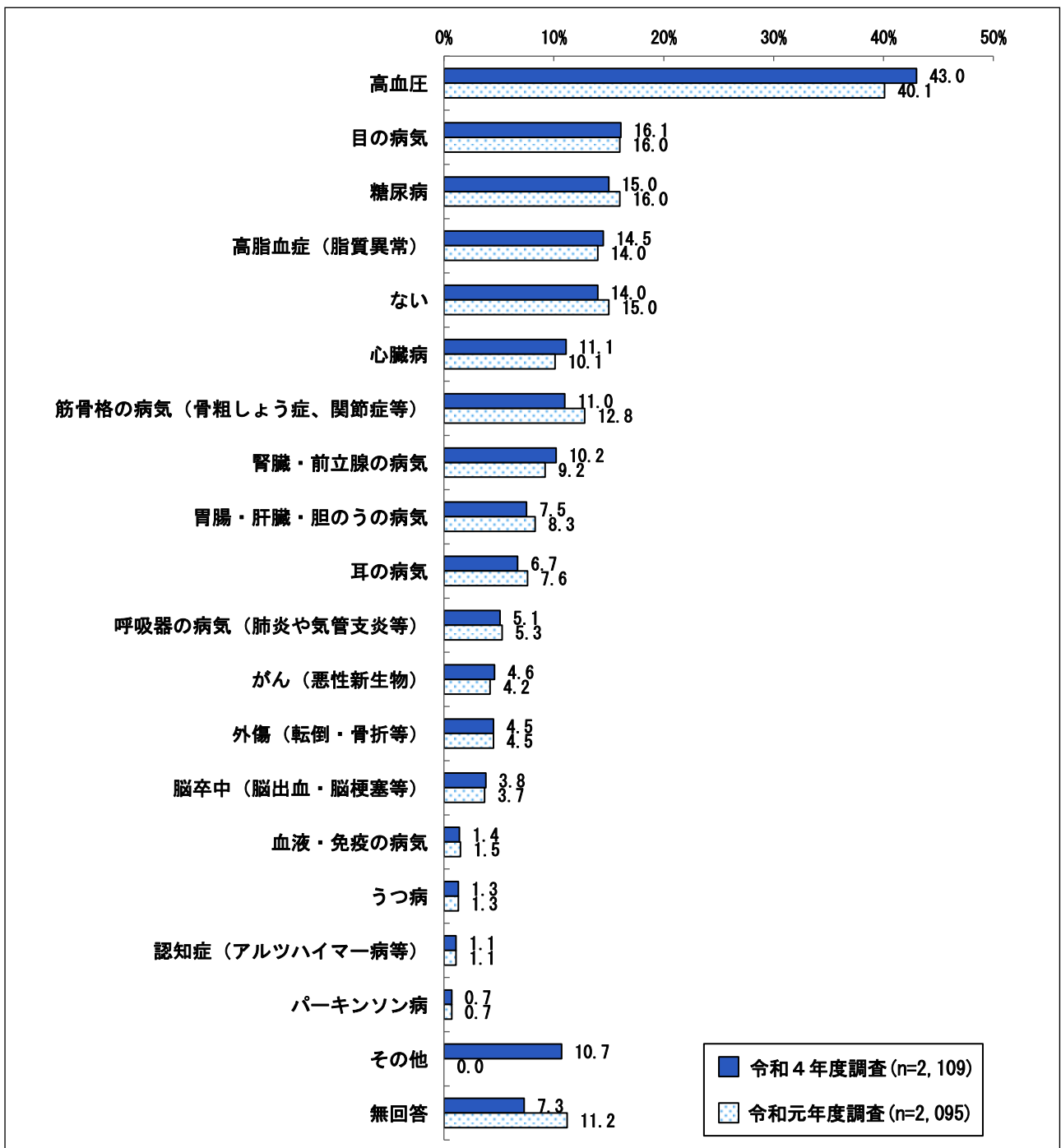
問7 (6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

【全体の傾向】

現在治療中、または後遺症のある病気についてみると、「高血圧」が43.0%と最も多く、その割合は突出しています。次いで「目の病気」(16.1%)、「糖尿病」(15.0%)、「高脂血症 (脂質異常)」(14.5%)、「ない」(14.0%) などとなっています。

前回調査と比較すると、「高血圧」が2.9ポイント増加しています。

現在治療中、後遺症のある病気 (全体、前回比較/複数回答)



8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の把握について

問8 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

【全体の傾向】

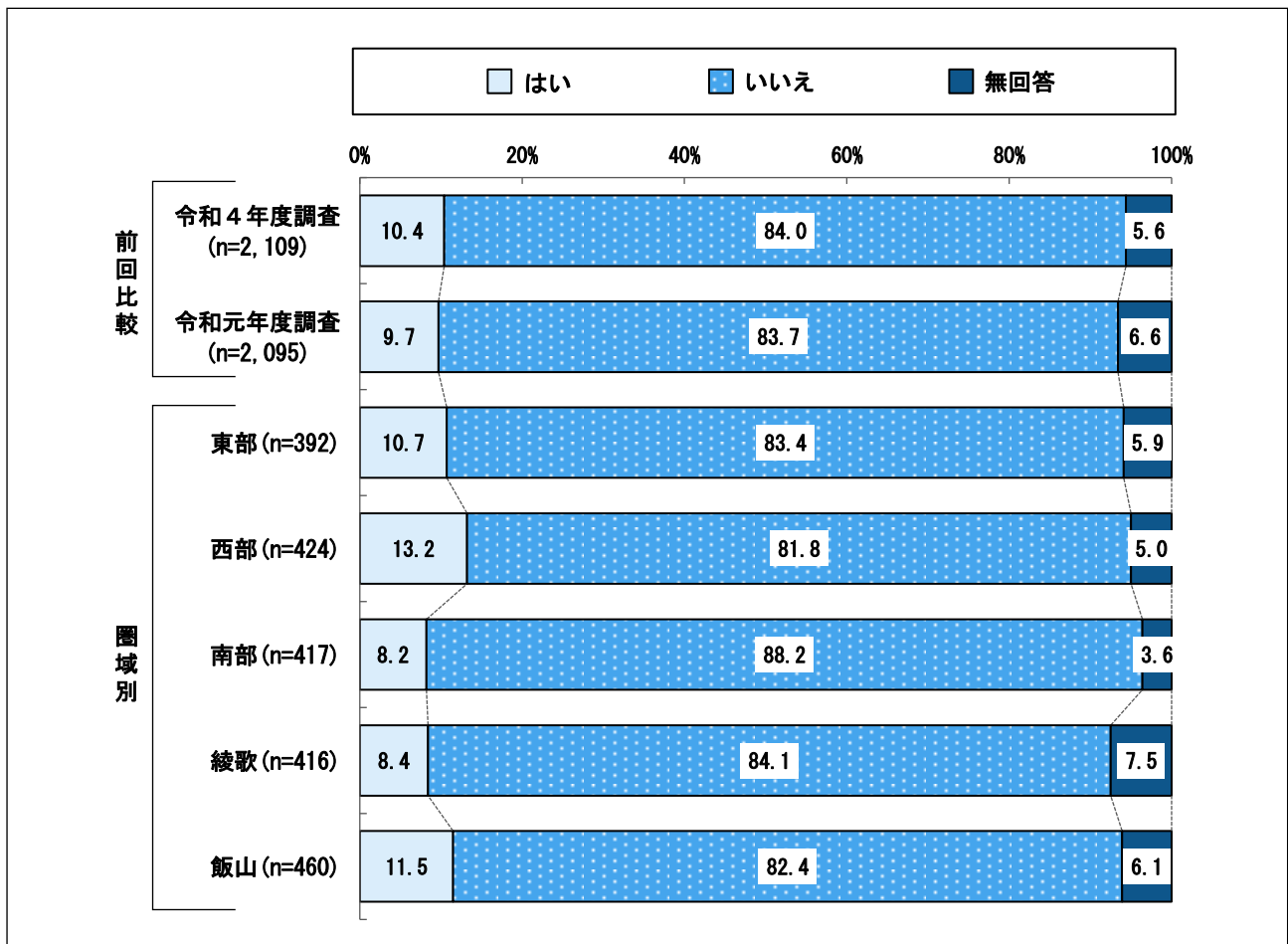
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかどうかをみると、「はい」が10.4%、「いいえ」が84.0%となっています。

前回調査と比較すると、概ね同様の結果となっています。

【属性別の傾向】

圏域別にみると、「はい」が最も高いのは、西部（13.2%）となっています。

認知症の症状の有無について（全体、前回比較、圏域別）



(2) 認知症に関する相談について

問8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

【全体の傾向】

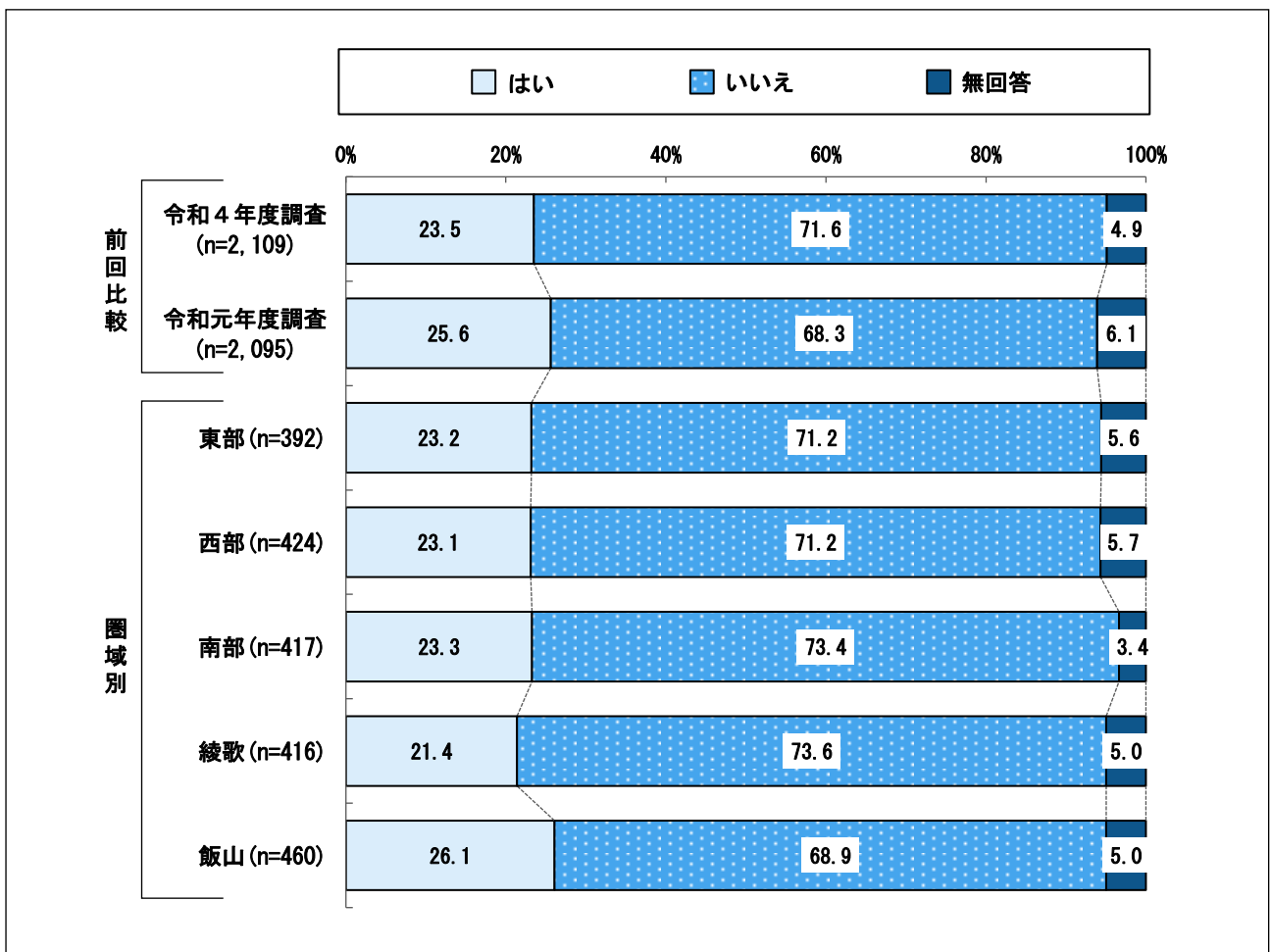
認知症に関する相談窓口の認知度についてみると、「はい」が23.5%、「いいえ」が71.6%となっています。

前回調査と比較すると、「いいえ」が3.3ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

圏域別にみると、「はい」が最も高いのは、飯山（26.1%）となっています。

認知症に関する相談窓口の認知度（全体、前回比較、圏域別）



9 介護について

(1) 介護が必要になった場合に希望する暮らし方について

問9 (1) 介護が必要になった場合に、どこでどのように暮らしたいですか

【全体の傾向】

介護が必要になった場合に希望する場所や暮らし方についてみると、「家族に依存せずに生活ができるような介護サービスがあれば自宅で暮らしたい」が29.3%と最も高く、次いで、「自宅で家族の介護と介護保険等のサービスを受けながら暮らしたい」(24.4%) などとなっています。

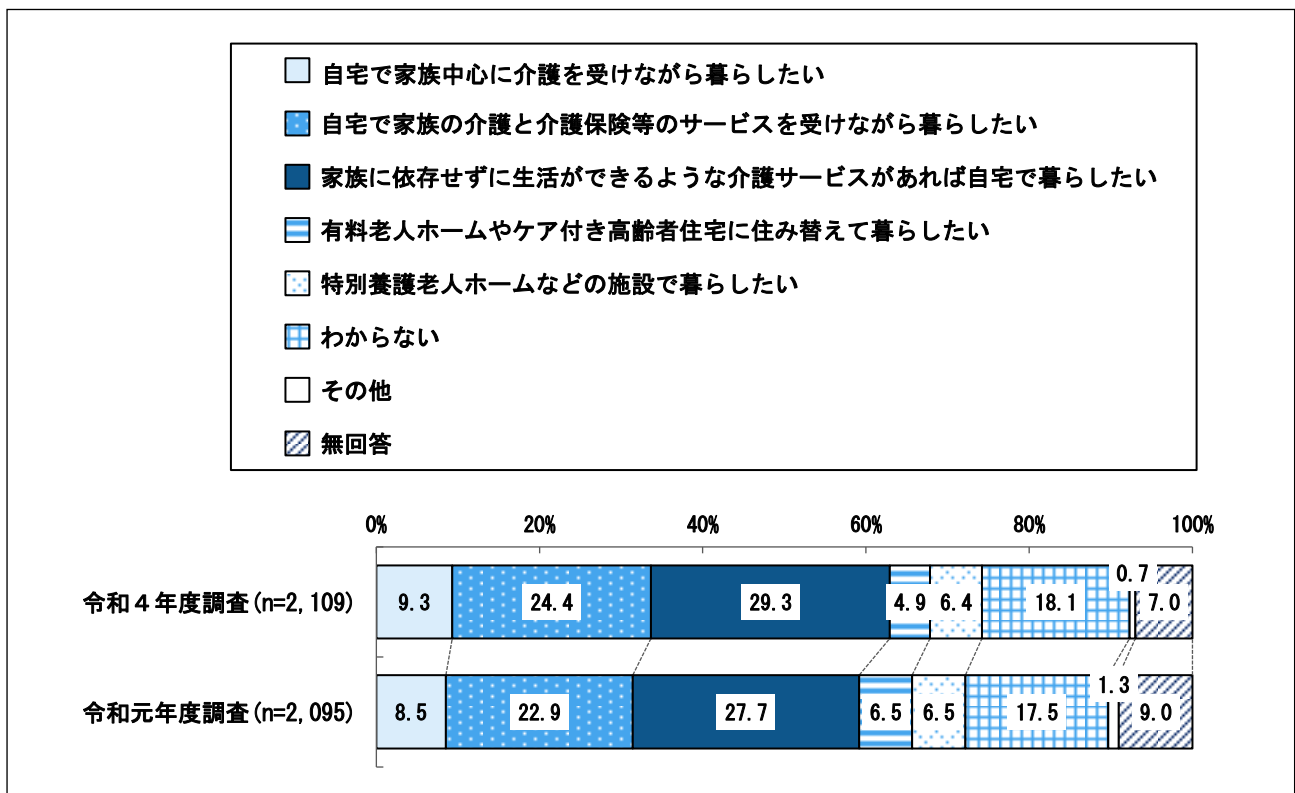
前回調査と比較すると、「家族に依存せずに生活ができるような介護サービスがあれば自宅で暮らしたい」が1.6ポイント増加し、「有料老人ホームやケア付き高齢者住宅に住み替えて暮らしたい」が1.6ポイント減少しています。

【属性別の傾向】

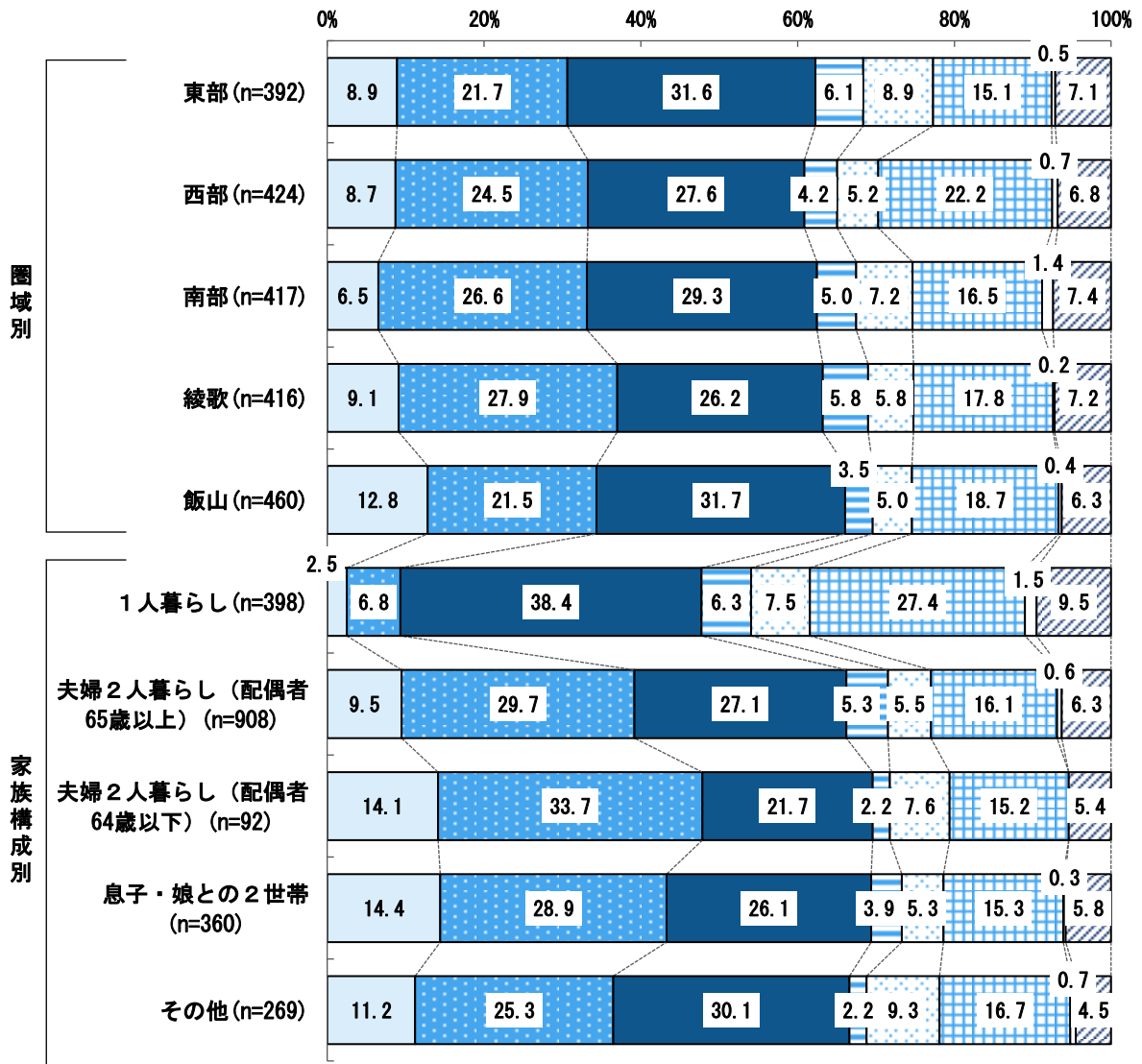
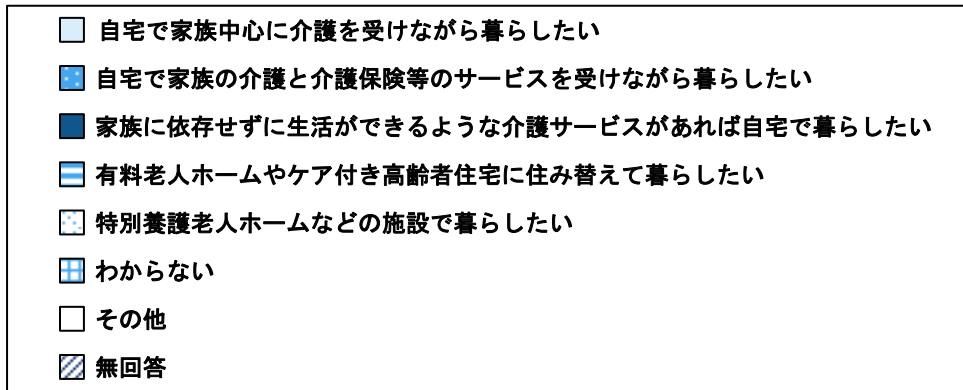
圏域別にみると、綾歌では「自宅で家族の介護と介護保険等のサービスを受けながら暮らしたい」が最も高くなっています。一方、綾歌以外の圏域では「家族に依存せずに生活ができるような介護サービスがあれば自宅で暮らしたい」が最も高くなっており、東部と飯山では3割を超えています。

家族構成別にみると、1人暮らし、その他の世帯では「家族に依存せずに生活ができるような介護サービスがあれば自宅で暮らしたい」が最も高く、夫婦2人暮らし、息子・娘との2世帯では「自宅で家族の介護と介護保険等のサービスを受けながら暮らしたい」が最も高くなっています。

介護が必要になった場合に希望する暮らし方について（全体、前回比較）



介護が必要になった場合に希望する暮らし方について（圏域別、家族構成別）



(2) 最期を迎える場所の希望

問9 (2) 人生の最期をどこで迎えたいと希望しますか

【全体の傾向】

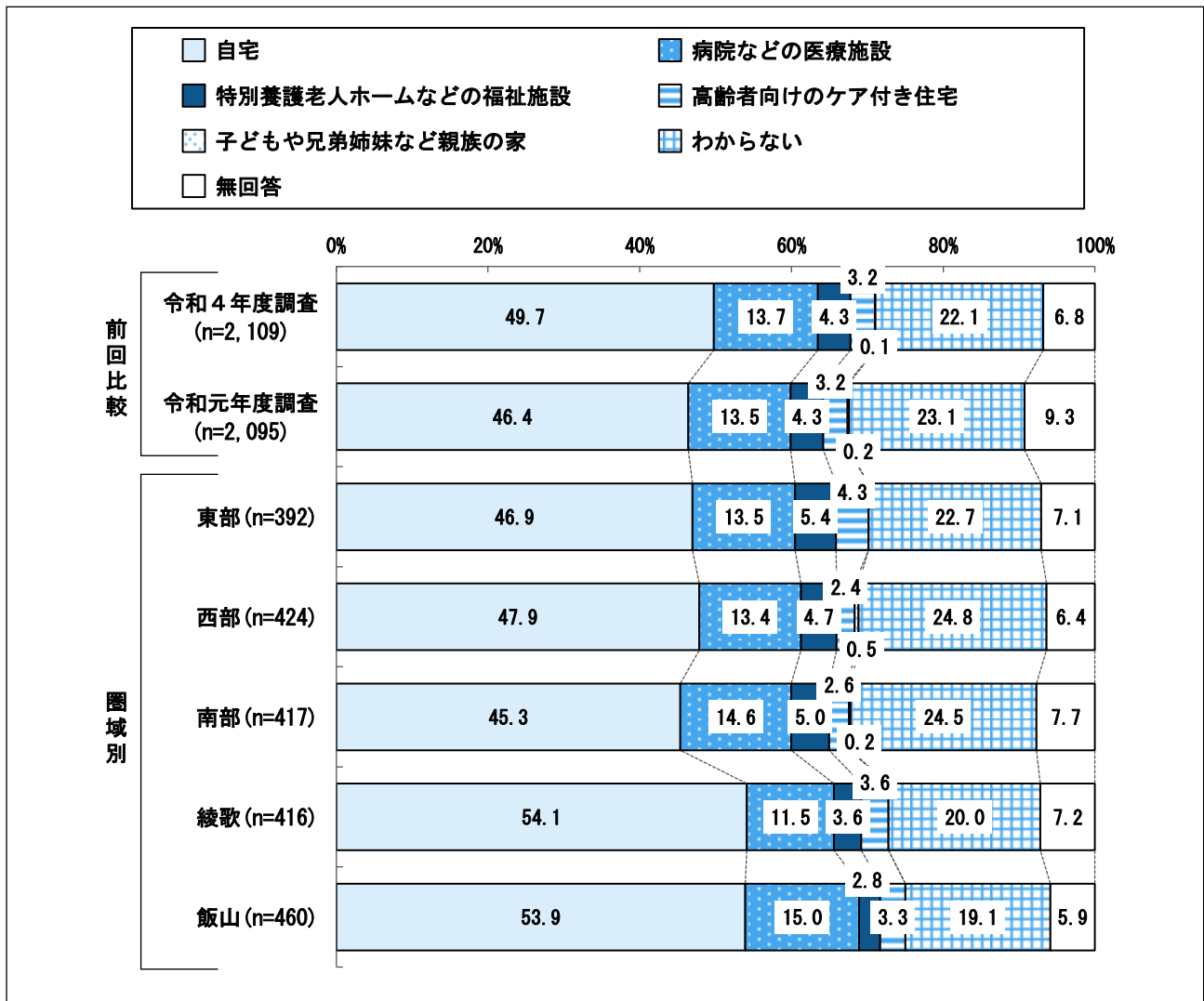
最期をどこで迎えたいかについてみると、「自宅」が49.7%と最も高く、次いで「わからない」(22.1%)、「病院などの医療施設」(13.7%)、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」(4.3%)などとなっています。

前回調査と比較すると、「自宅」が3.3ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

圏域別にみると、いずれの圏域も「自宅」が最も高くなっていますが、特に綾歌(54.1%)、飯山(53.9%)では5割を超えています。

最期を迎える場所の希望 (全体、前回比較、圏域別)



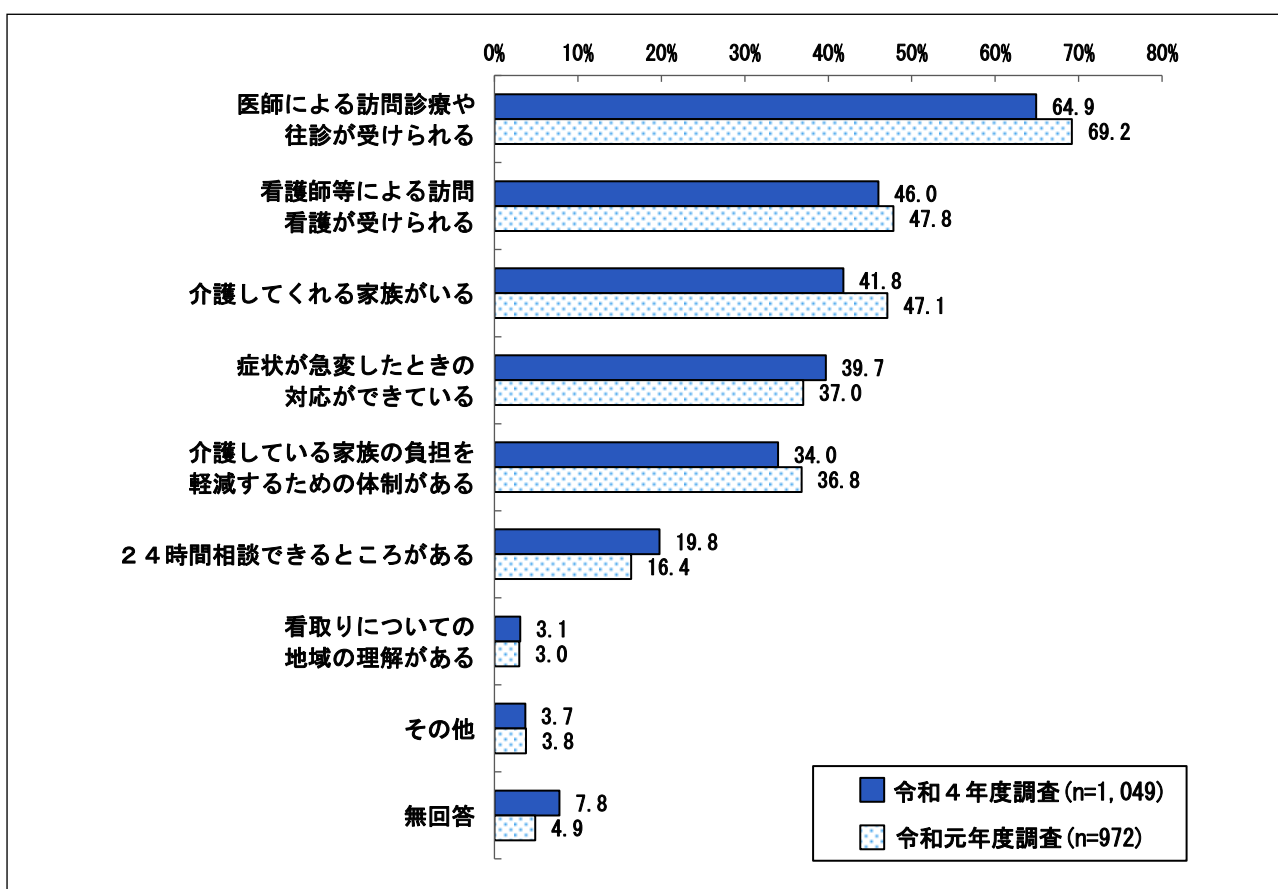
【問9（2）で「自宅」と回答した方のみ】

問9（2）①何があれば自宅で最期まで療養できると思いますか（4つまで）

【全体の傾向】

自宅での最期を希望する方に、自宅で最後まで療養できる条件についてたずねてみると、「医師による訪問診療や往診が受けられる」が64.9%と最も多く、次いで「看護師等による訪問看護が受けられる」（46.0%）、「介護してくれる家族がいる」（41.8%）、「症状が急変したときの対応ができている」（39.7%）、「介護している家族の負担を軽減するための体制がある」（34.0%）などとなっています。前回調査と比較すると、「介護してくれる家族がいる」が5.3ポイント減少しています。

自宅で最期まで療養できる条件（全体、前回比較／複数回答）



【属性別の傾向】

圏域別にみると、第2位については、東部では「介護してくれる家族がいる」、西部、南部、綾歌、飯山では「看護師等による訪問看護が受けられる」となっています。また、第3位は、東部、南部では「症状が急変したときの対応ができています」となっています。

家族構成別にみると、第3位は、1人暮らしでは「症状が急変したときの対応ができています」、夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)、その他の世帯では「介護してくれる家族がいる」となっています。

自宅で最期まで療養できる条件(全体、圏域別、家族構成別)

<上位3位/単位%>

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=1,049)		医師による訪問診療や往診が受けられる 64.9	看護師等による訪問看護が受けられる 46.0	介護してくれる家族がいる 41.8
圏域別	東部 (n=184)	医師による訪問診療や往診が受けられる 62.0	介護してくれる家族がいる 43.5	症状が急変したときの対応ができています 42.4
	西部 (n=203)	医師による訪問診療や往診が受けられる 63.1	看護師等による訪問看護が受けられる 49.3	介護してくれる家族がいる 40.4
	南部 (n=189)	医師による訪問診療や往診が受けられる 61.4	看護師等による訪問看護が受けられる 47.6	症状が急変したときの対応ができています 45.0
	綾歌 (n=225)	医師による訪問診療や往診が受けられる 70.7	看護師等による訪問看護が受けられる 40.9	介護してくれる家族がいる 39.6
	飯山 (n=248)	医師による訪問診療や往診が受けられる 66.1	看護師等による訪問看護が受けられる 50.4	介護してくれる家族がいる 42.7
	1人暮らし (n=141)	医師による訪問診療や往診が受けられる 59.6	看護師等による訪問看護が受けられる 41.1	症状が急変したときの対応ができています 37.6
家族構成別	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)(n=481)	医師による訪問診療や往診が受けられる 67.4	看護師等による訪問看護が受けられる 50.7	介護してくれる家族がいる 44.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(n=51)	医師による訪問診療や往診が受けられる 58.8	介護してくれる家族がいる 51.0	看護師等による訪問看護が受けられる/介護している家族の負担を軽減するための体制がある 39.2
	息子・娘との2世帯(n=205)	医師による訪問診療や往診が受けられる 67.8	介護してくれる家族がいる 49.3	看護師等による訪問看護が受けられる 44.4
	その他 (n=139)	医師による訪問診療や往診が受けられる 62.6	看護師等による訪問看護が受けられる 43.2	介護してくれる家族がいる 41.7

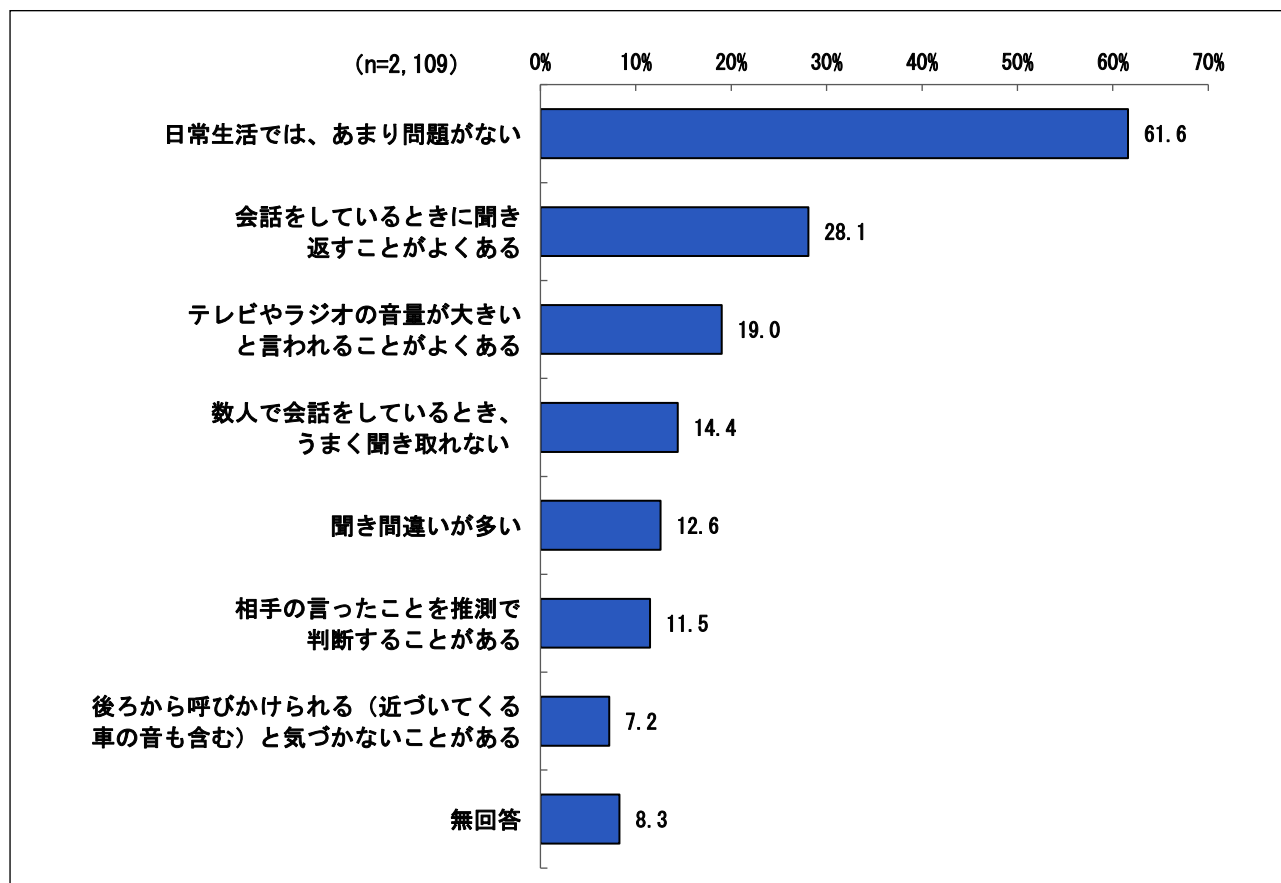
10 聞こえの問題について

問10 日常生活においてあてはまるものはどれですか（3つまで）

【全体の傾向】

日常生活での聞こえの問題についてみると、「日常生活では、あまり問題がない」が61.6%と最も多く、次いで「会話をしているときに聞き返すことがよくある」(28.1%)、「テレビやラジオの音量が大きいと言われることがよくある」(19.0%)、「数人で会話をしているとき、うまく聞き取れない」(14.4%)、「聞き間違いが多い」(12.6%)などとなっています

日常生活での聞こえの問題（全体／複数回答）



11 評価項目別の判定結果

・判定方法

	問N 0 .	質問項目	該当する選択肢
機 運 能 動 低 器 下 の	問 2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずにのぼっていますか	Ⓕ. できない
	問 2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	Ⓕ. できない
	問 2 (3)	15分位続けて歩いていますか	Ⓕ. できない
	問 2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 Ⓔ. 1度ある」
	問 2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」 Ⓔ. やや不安である」
リ 転 ス ク 倒	問 2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 Ⓔ. 1度ある」
傾 も 閉 向 も り こ	問 2 (6)	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」 Ⓔ. 週 1回」
機 認 能 知 低 下 の	問 4 (1)	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」
う つ 傾 向	問 7 (3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」
	問 7 (4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「1. はい」

■判定方法……該当する選択肢を回答した場合を1点としたときの合計点、または該当選択肢を回答した場合

【該当者の判定方法】

- ①運動器の機能低下……該当選択肢3つ以上
- ②転倒リスク……該当選択肢を回答した場合
- ③閉じこもり傾向……該当選択肢を回答した場合
- ④認知機能の低下……該当選択肢を回答した場合
- ⑤うつ傾向……該当選択肢1つ以上

〈老研式活動能力指標〉

	問N 0 .	質問項目	該当する選択肢
I A D L	問 4 (2)	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	「1. できるし、している」 or 「2. できるけどしていない」 1点
	問 4 (3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
	問 4 (4)	自分で食事の用意をしていますか	
	問 4 (5)	自分で請求書の支払いをしていますか	
	問 4 (6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

■判定方法……該当する選択肢を回答した場合を1点としたときの合計点

- 5点 :高い
- 4点 :やや低い
- 0～3点 :低い

(1) 運動器の機能低下

【全体の傾向】

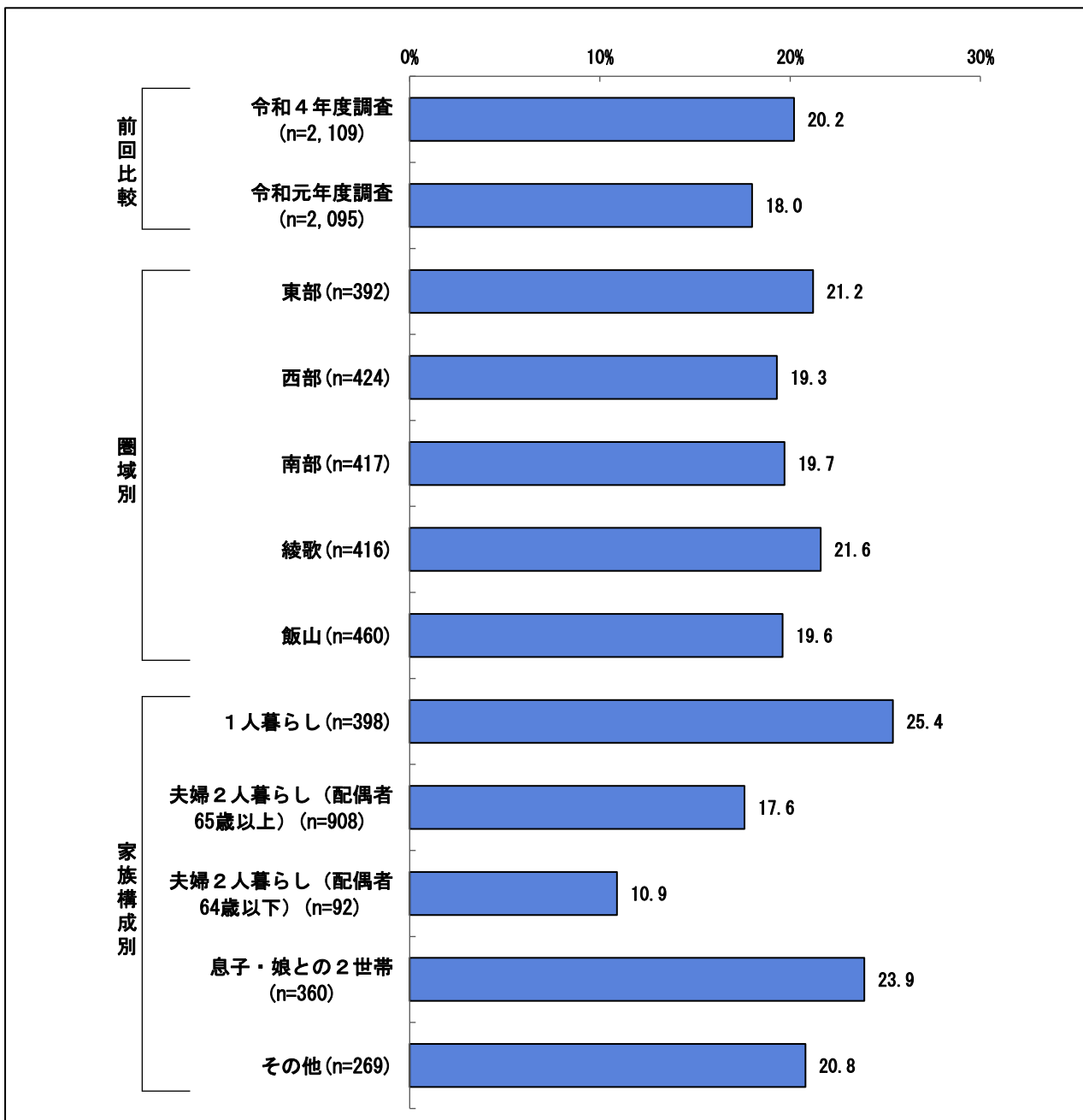
運動器機能低下のリスク該当者の割合は20.2%となっています。前回調査と比較すると2.2ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

圏域別にみると、該当者の割合は、東部、綾歌では2割を超えています。一方、西部（19.3%）で最も低くなっています。

家族構成別にみると、該当者の割合は、1人暮らし、息子・娘との2世帯、その他の世帯では2割を超えています。一方、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）（10.9%）で最も低くなっています。

運動器機能の低下の該当者の割合（全体、前回比較、圏域別、家族構成別）



(2) 転倒リスク

【全体の傾向】

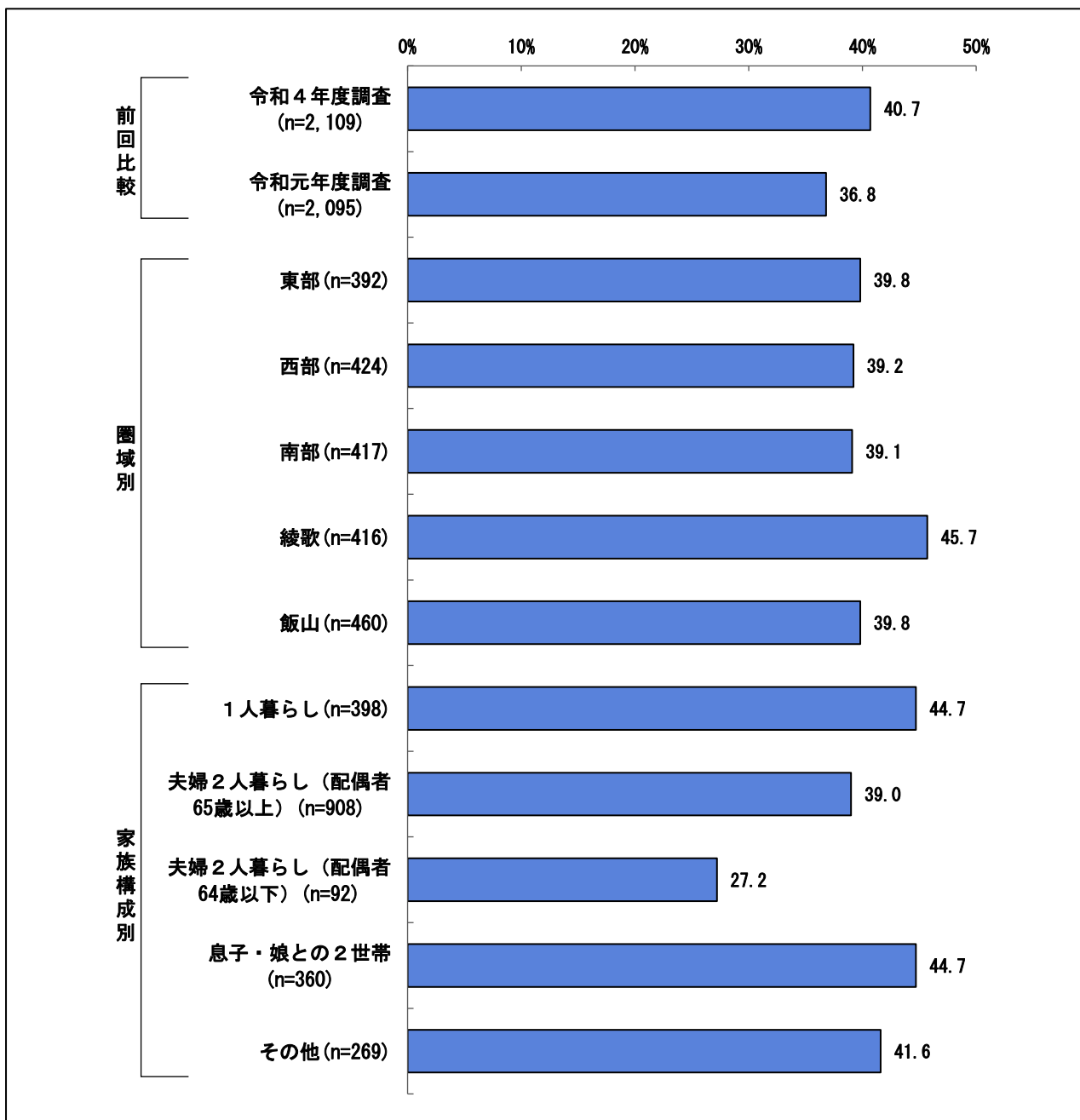
転倒リスク該当者の割合は40.7%となっています。前回調査と比較すると、3.9ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

圏域別にみると、該当者の割合は、綾歌（45.7%）で最も高く、南部（39.1%）で最も低くなっています。

家族構成別にみると、該当者の割合は、1人暮らし、息子・娘との2世帯、その他の世帯では4割を超えています。一方、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）（27.2%）で最も低くなっています。

転倒リスクの該当者の割合（全体、前回比較、圏域別、家族構成別）



(3) 閉じこもり傾向

【全体の傾向】

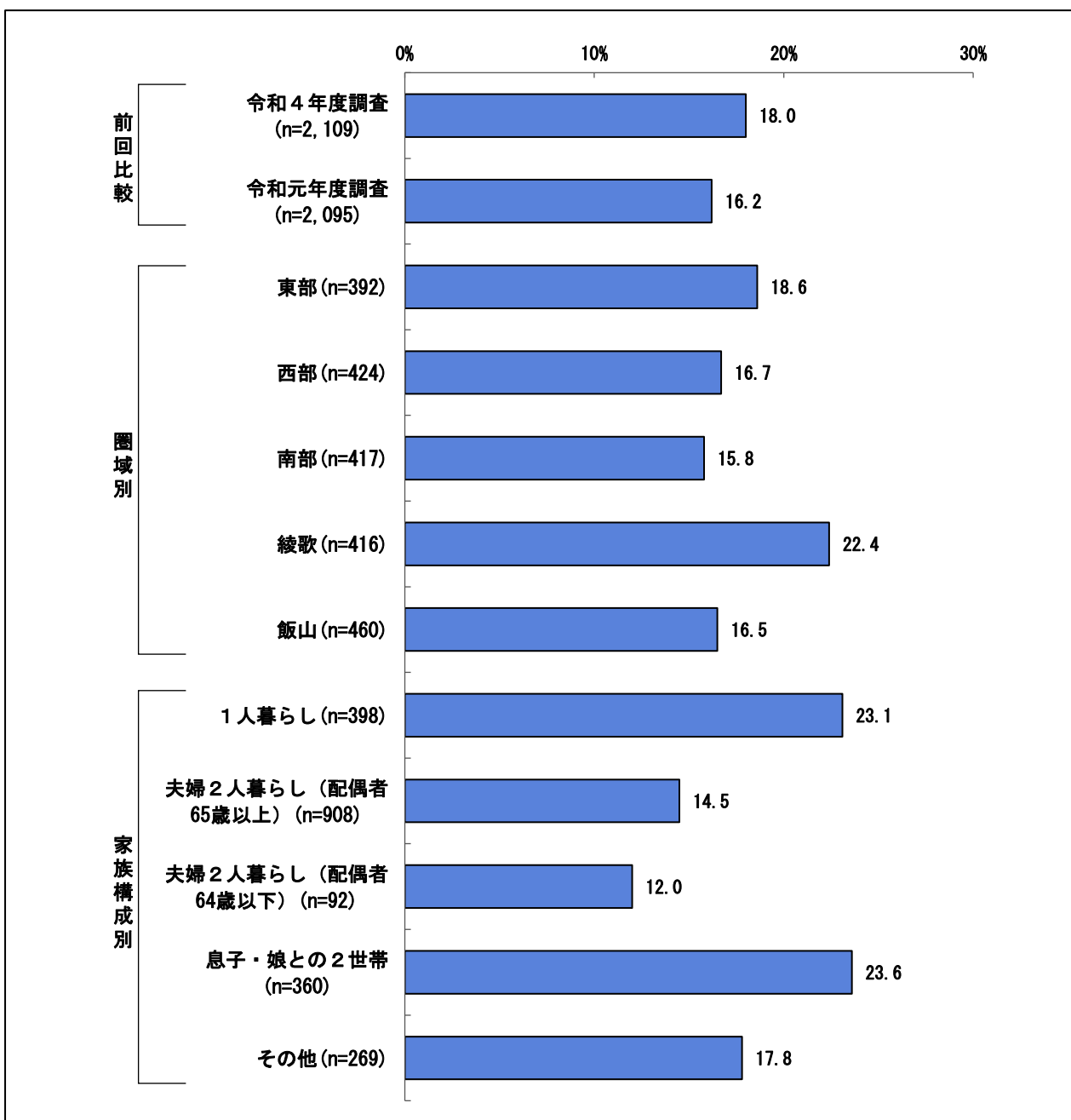
閉じこもり傾向リスク該当者の割合は、18.0%となっており、前回調査と比較すると、1.8ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

圏域別にみると、該当者の割合が最も高いのは、綾歌（22.4%）、最も低いのは南部（15.8%）となっています。

家族構成別にみると、該当者の割合は、1人暮らし、息子・娘との2世帯では2割を超えています。一方、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）（12.0%）で最も低くなっています。

閉じこもり傾向の該当者の割合（全体、前回比較、圏域別、家族構成別）



(4) 認知機能の低下

【全体の傾向】

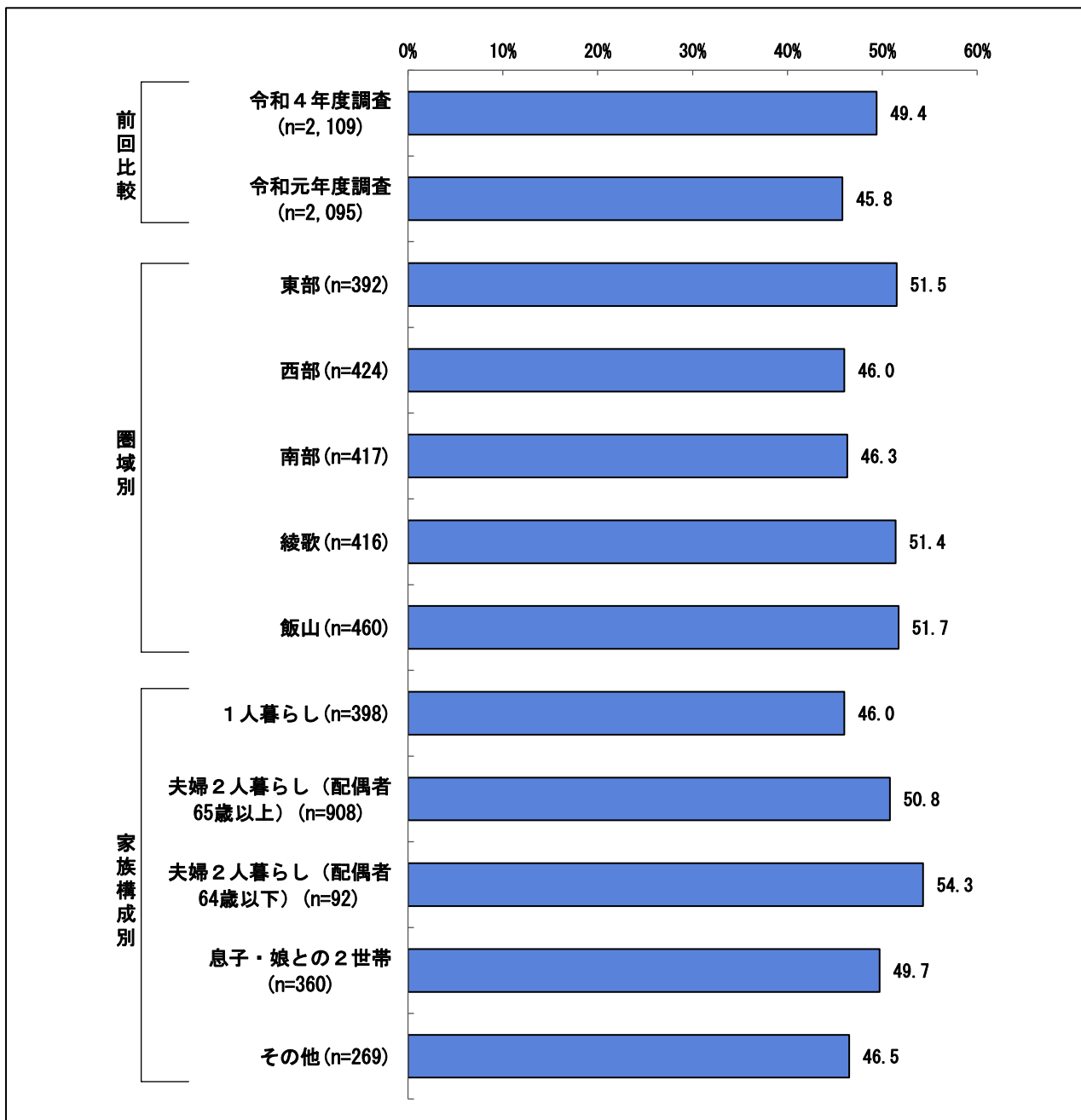
認知機能低下リスク該当者の割合は、49.4%となっており、前回調査と比較すると、3.6ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

圏域別にみると、該当者の割合は、東部、綾歌、飯山では5割を超えています。また、西部(46.0%)で最も低くなっています。

家族構成別にみると、該当者の割合は、配偶者の年齢に関わらず夫婦2人暮らしでは5割を超えています。一方、1人暮らし(46.0%)で最も低くなっています。

認知機能の低下の該当者の割合（全体、前回比較、圏域別、家族構成別）



(5) うつ傾向

【全体の傾向】

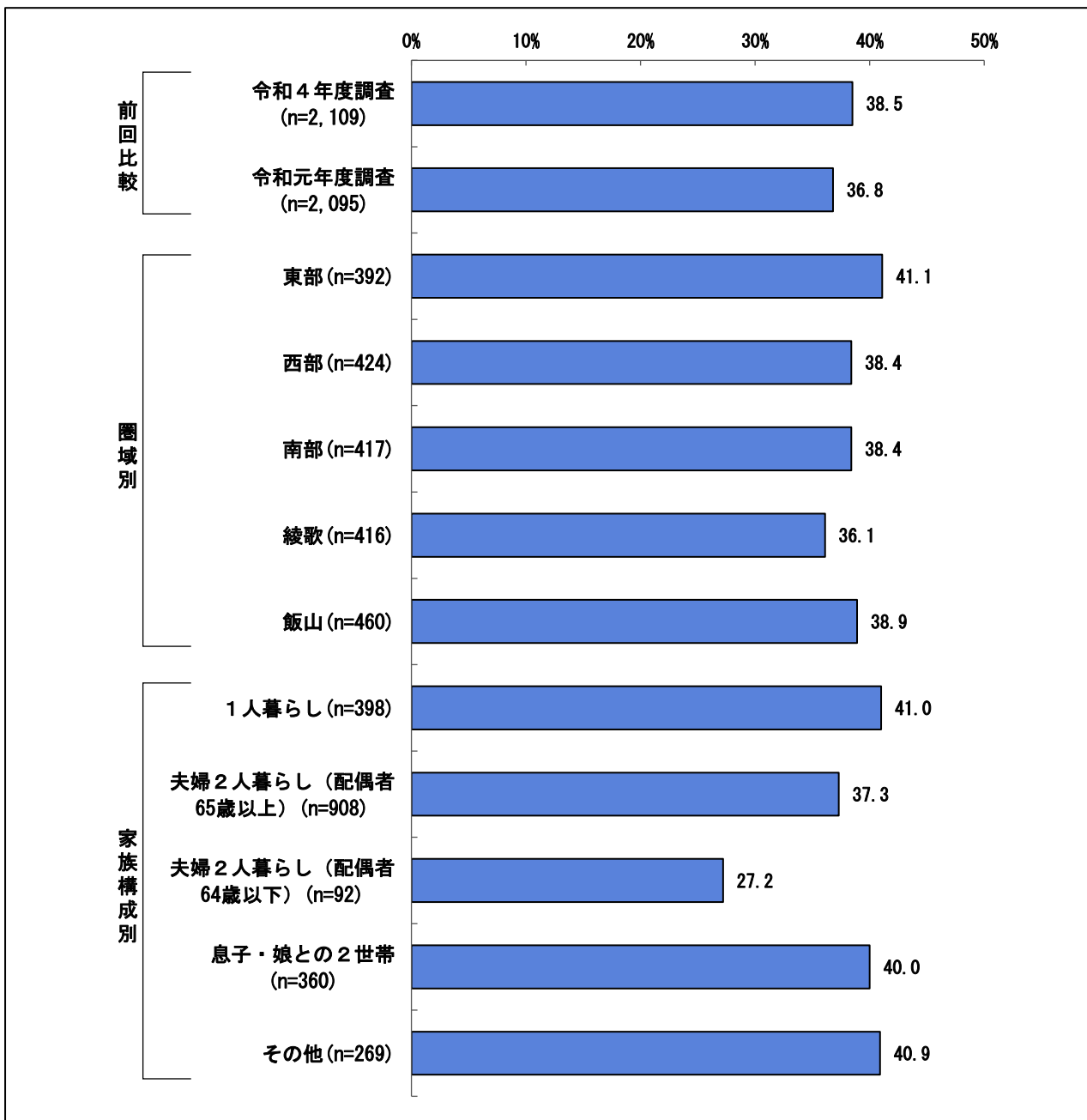
うつ傾向リスク該当者の割合は、38.5%となっています。前回調査と比較すると、1.7ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

圏域別にみると、該当者の割合が最も高いのは、東部（41.1%）となっており、最も低いのは綾歌（36.1%）となっています。

家族構成別にみると、該当者の割合は、1人暮らし、息子・娘との2世帯、その他の世帯は4割を超えています。一方、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では27.2%と最も低くなっています。

うつ傾向の該当者の割合（全体、前回比較、圏域別、家族構成別）



(6) IADL-手段的日常生活動作

【全体の傾向】

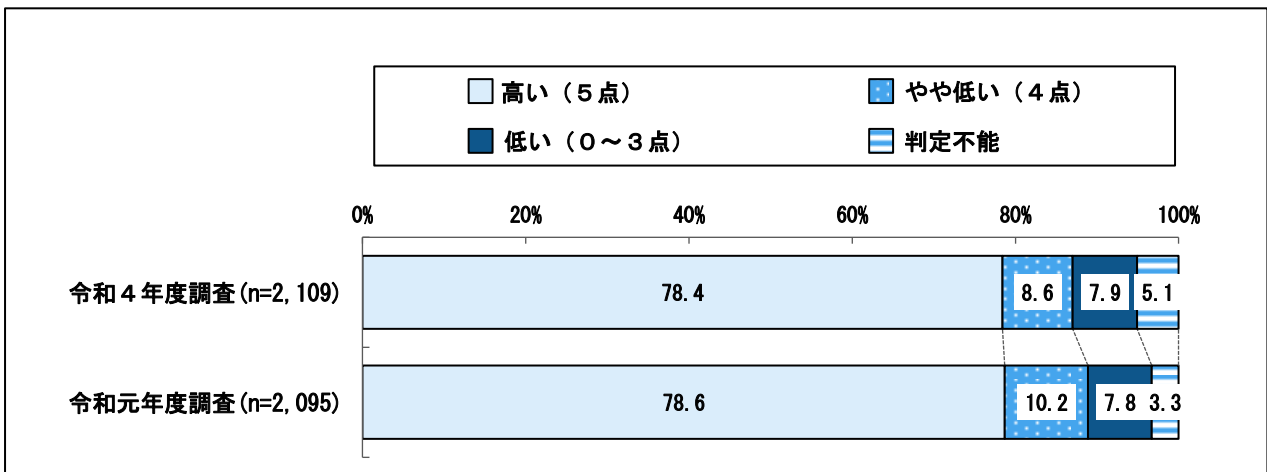
IADLのスコアについては、「高い（5点）」が78.4%となっています。
前回調査と比較すると、「やや低い（4点）」が1.6ポイント減少しています。

【属性別の傾向】

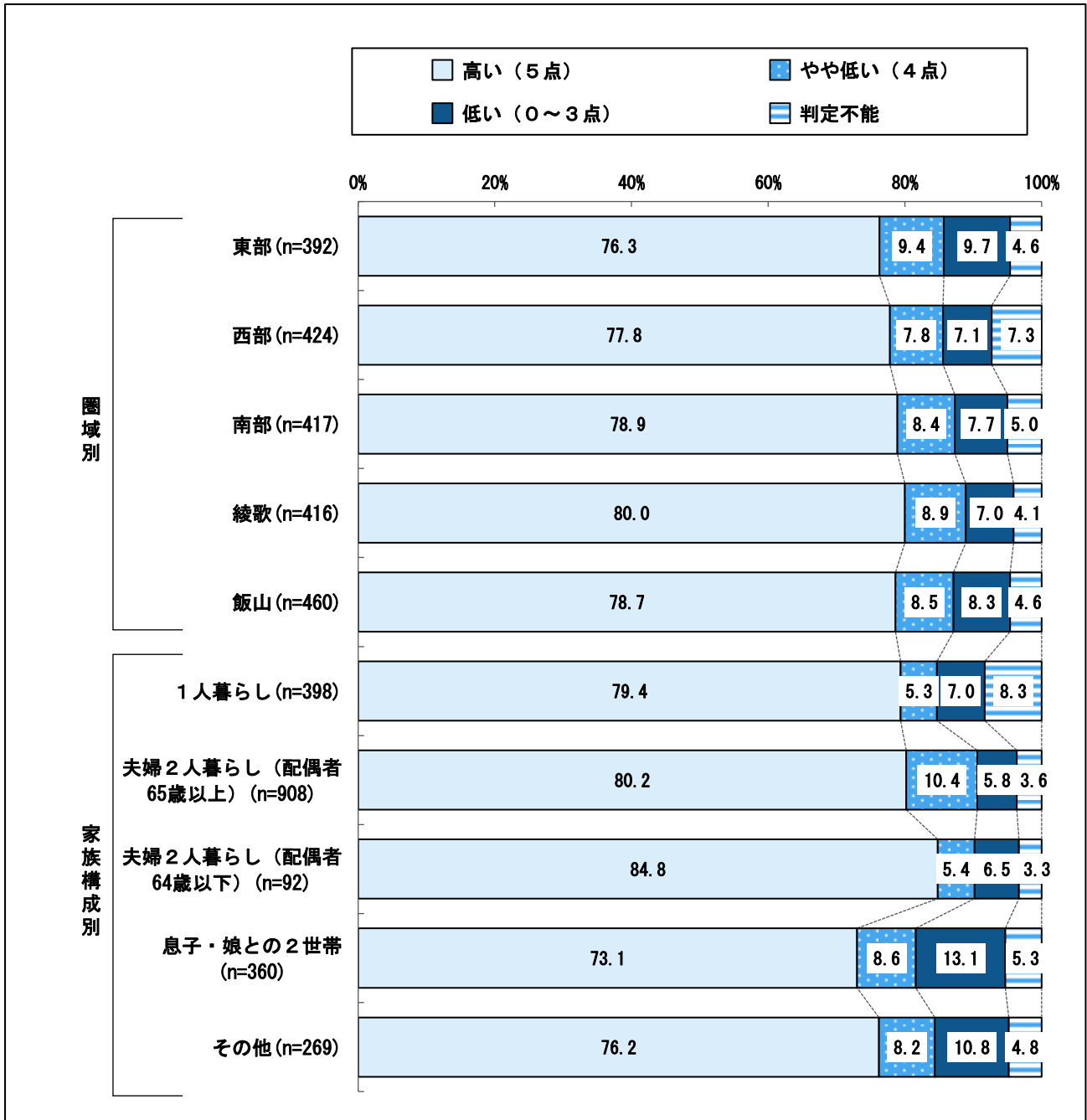
圏域別にみると、「高い（5点）」の割合が最も高いのは綾歌（80.0%）、最も低いのは東部（76.3%）となっています。

家族構成別にみると、「高い（5点）」の割合は、配偶者の年齢に関わらず、夫婦2人暮らしでは8割を超えています。また、息子・娘との2世帯で73.1%と最も低くなっています。

IADL-手段的日常生活動作（全体、前回比較）



IADL-手段的日常動作（圏域別、家族構成別）



Ⅲ 在宅介護実態調査結果

1 A票 調査対象者ご本人について

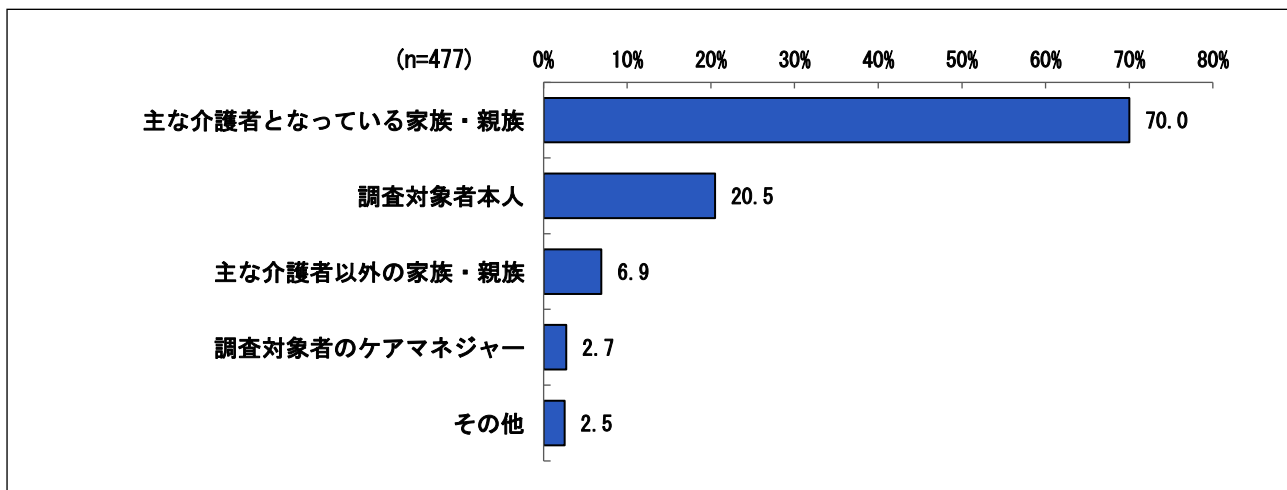
(1) 回答者について

現在、この調査票にご回答いただいているのは、どなたですか。(いくつでも)

【全体の傾向】

回答者をみると、「主な介護者となっている家族・親族」が70.0%と最も多く、次いで「調査対象者本人」(20.5%)、「主な介護者以外の家族・親族」(6.9%)となっています。

回答者について (全体/複数回答)



(2) 調査対象者の属性

問1 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

【全体の傾向】

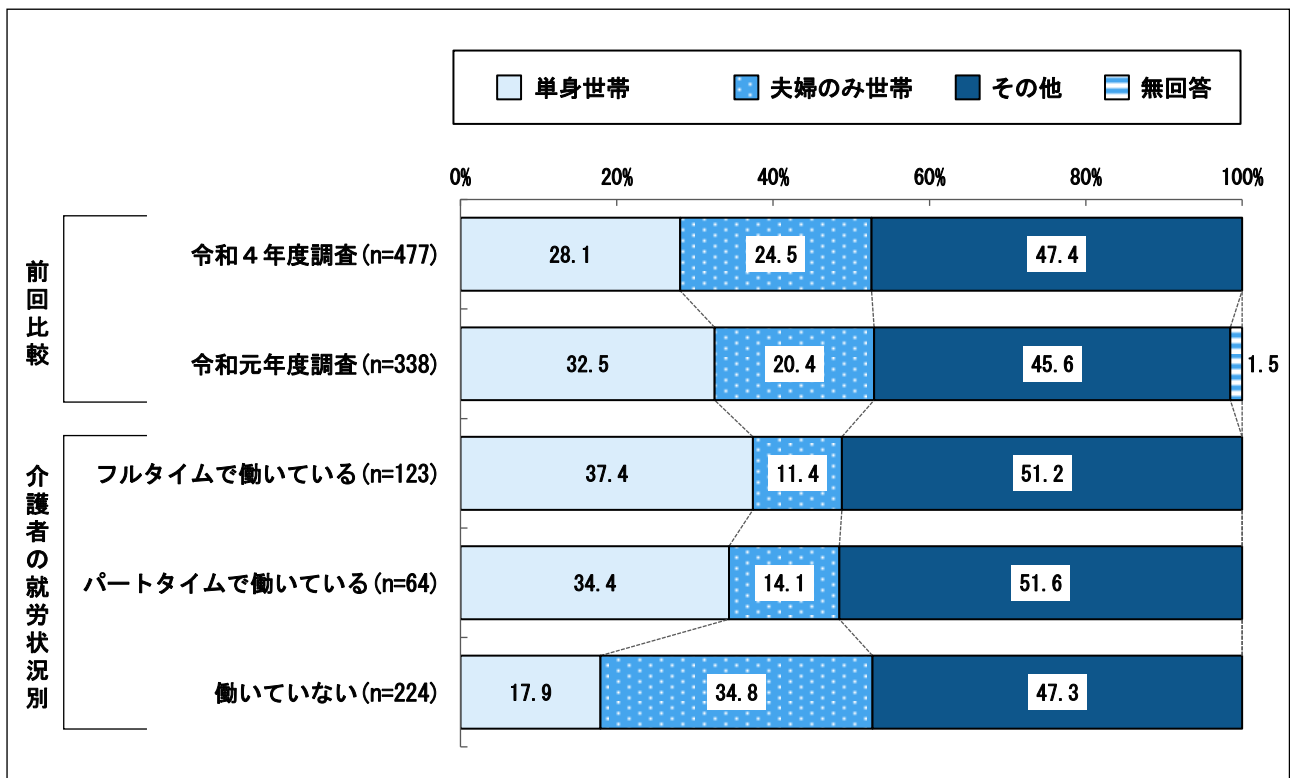
世帯類型についてみると、「単身世帯」が28.1%、「夫婦のみ世帯」が24.5%となっています。
 前回調査と比較すると、「単身世帯」が4.4ポイント減少しています。

【就労状況別の傾向】

介護者の就労状況別にみると、介護者がフルタイムもしくはパートタイムで働いている場合には、対象者の世帯類型は「単身世帯」が3割以上を占め、「夫婦のみ世帯」を上回っています。

一方、介護者が働いていない場合には、対象者の世帯類型は「夫婦のみ世帯」が3割以上を占め、「単身世帯」を上回っています。

世帯類型（全体、前回比較、介護者の就労状況別）



(3) 家族や親族からの介護について

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

【全体の傾向】

家族等による介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が62.1%と最も高く、次いで「週に1～2日ある」(13.4%)、「ない」(12.8%)となっています。

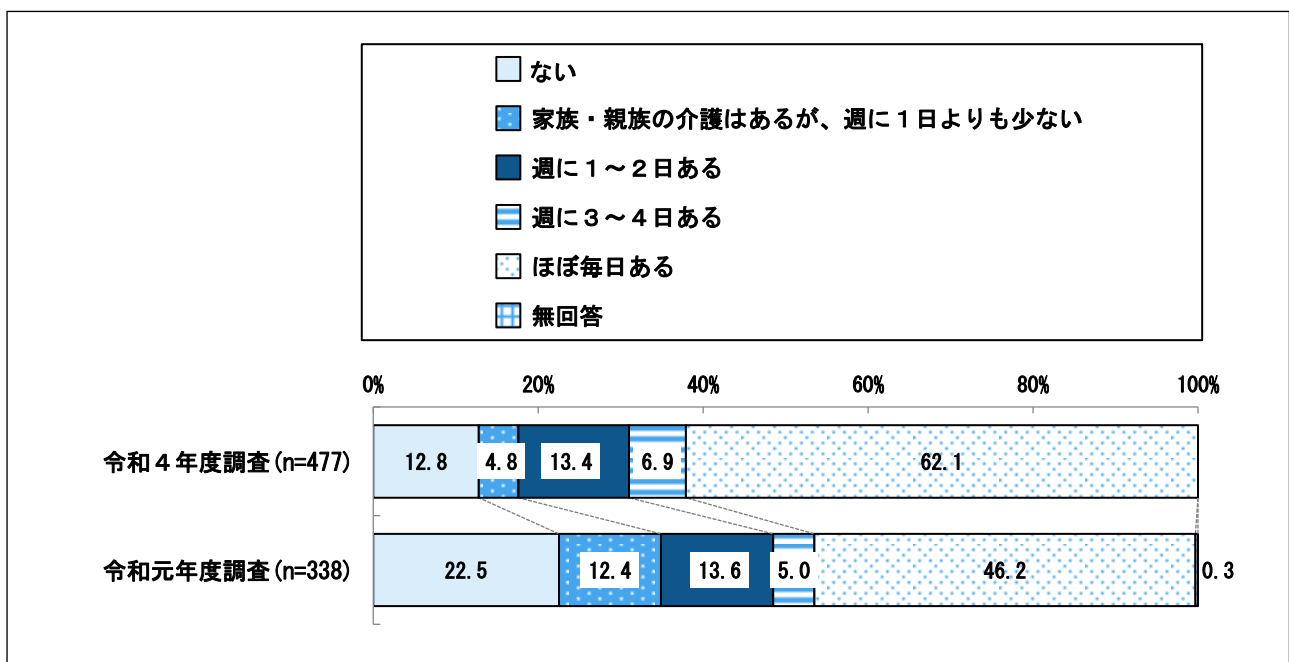
前回調査と比較すると、介護の頻度が上がっており、週に3日以上割合が増加し、それよりも少ない割合は減少しています。

【世帯類型別、就労状況別の傾向】

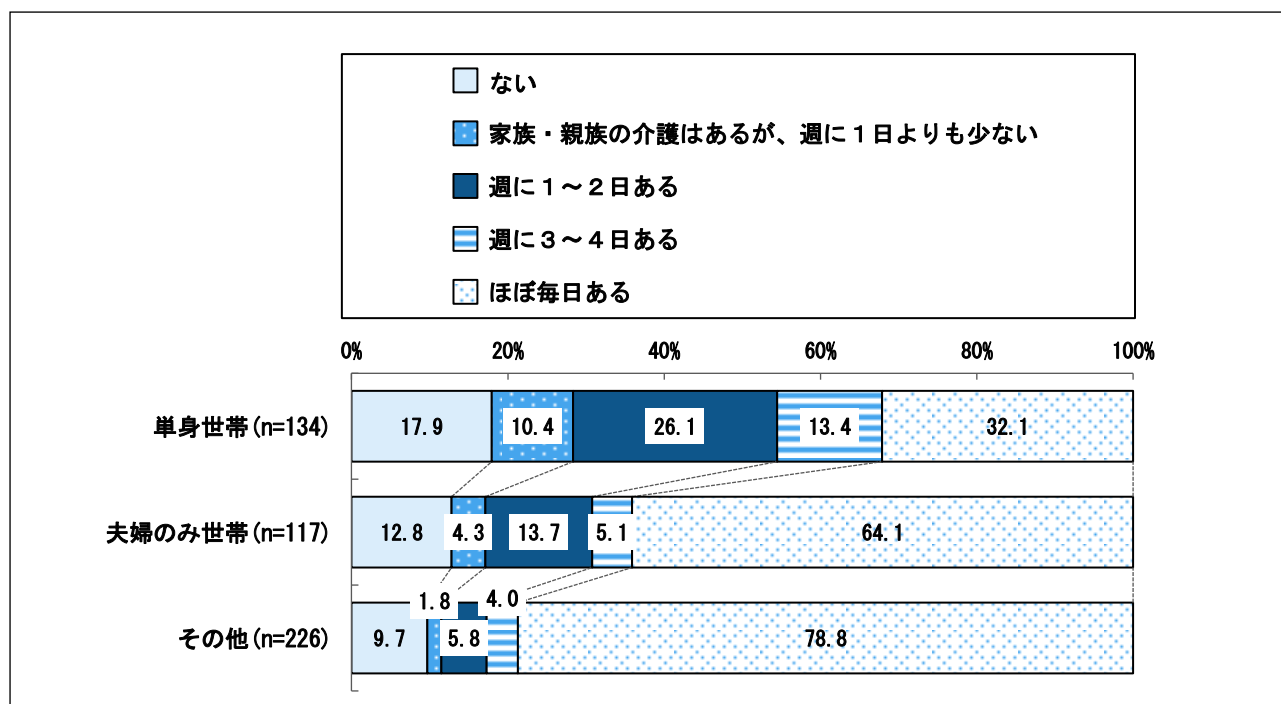
世帯類型別にみると、夫婦のみ世帯の「ほぼ毎日ある」割合は、単身世帯のおよそ2倍となっています。

就労状況別にみると、介護者が働いていない場合では、「ほぼ毎日ある」の割合が8割を超えており、フルタイムまたはパートタイム勤務の介護者の場合よりも、ほぼ毎日介護をしている割合は高くなっています。

家族や親族からの介護の頻度（全体、前回比較）

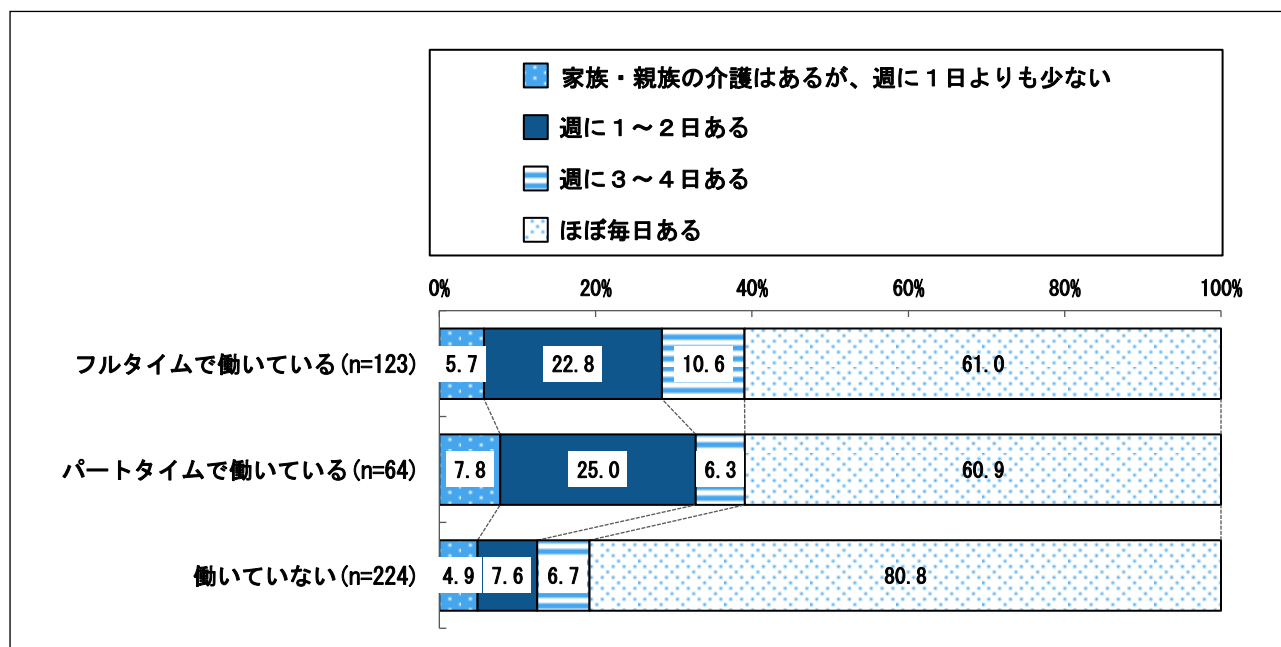


家族や親族からの介護の頻度（世帯類型別）



家族や親族からの介護の頻度（介護者の就労状況別）

（※介護者の就労状況の回答は、家族からの介護がある人のみ）



問3 主な介護者の方の年齢についてご回答ください。(1つを選択)

【全体の傾向】

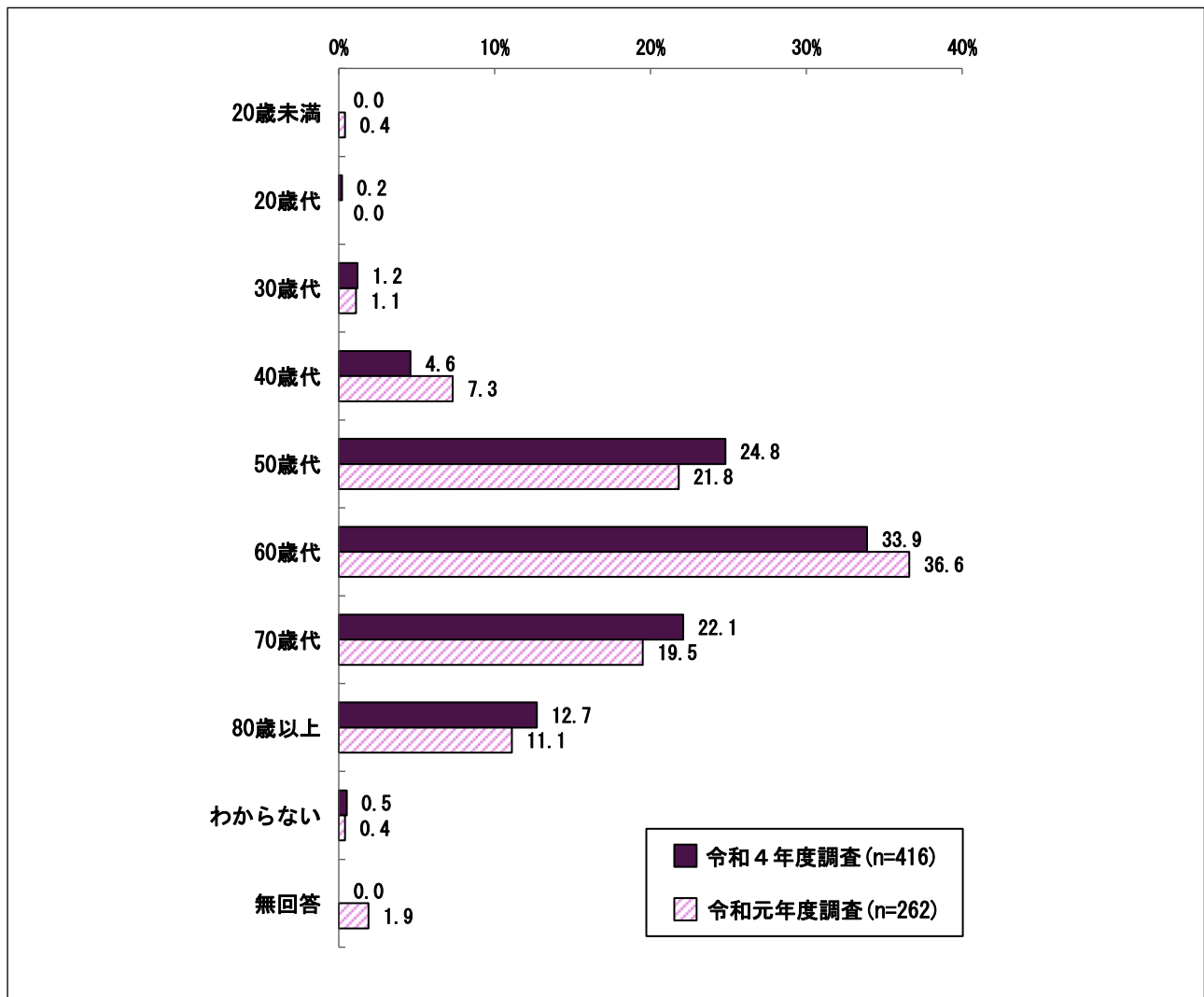
主な介護者の年齢については、「60歳代」が33.9%と最も高く、次いで「50歳代」(24.8%)、「70歳代」(22.1%)となっています。

前回調査と比較すると、「70歳代」「80歳以上」の割合が増加していることから、介護者の高齢化の傾向がみられます。

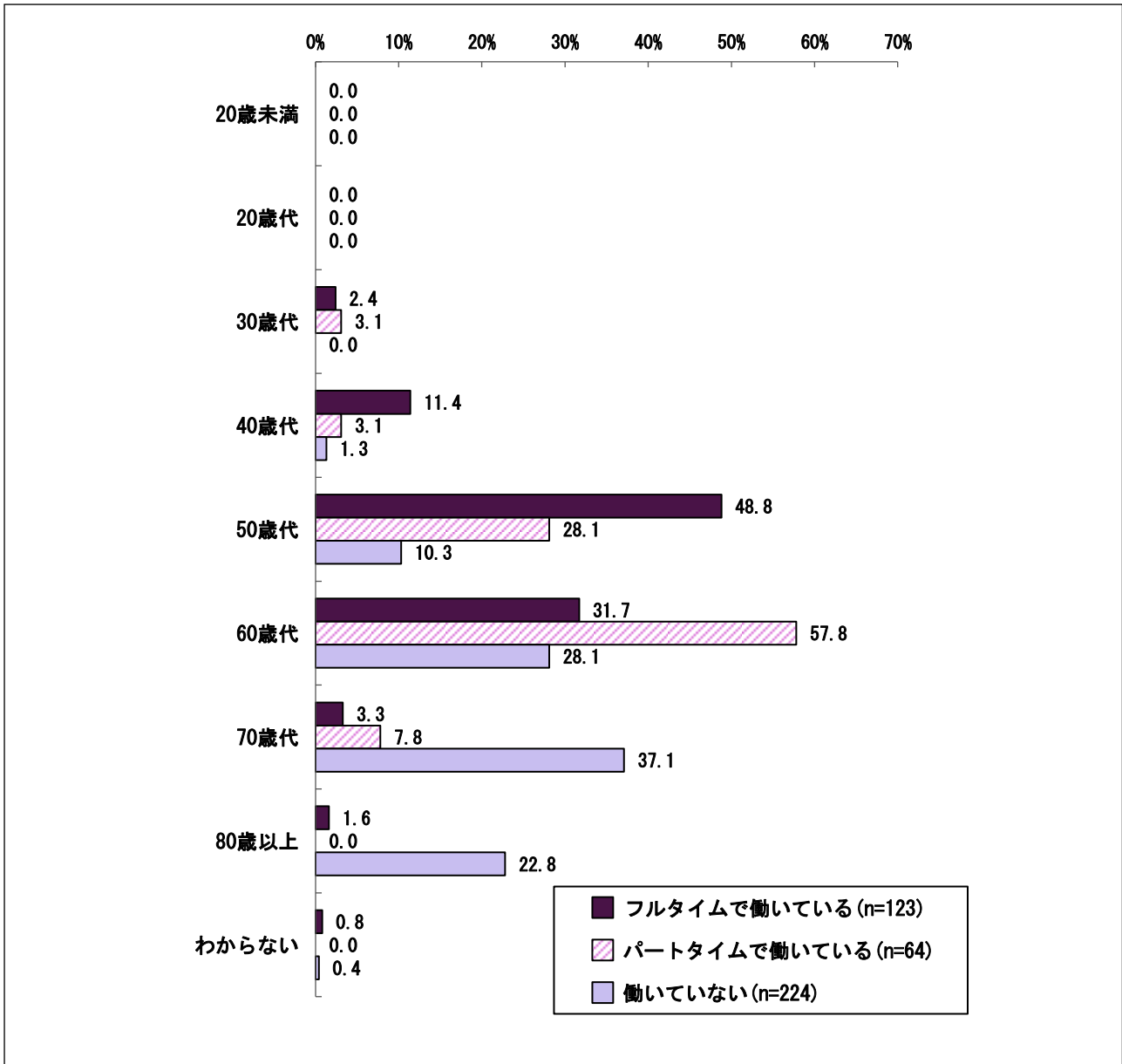
【就労状況別の傾向】

介護者の就労状況別にみると、介護者が「50歳代」「60歳代」では、フルタイムもしくはパートタイムで働いている割合が他の年齢に比べて高くなっており、就労しながら介護をしている方が多い年代となっています。また、介護者が70歳以上では、「働いていない」の割合が突出しています。

介護者の方の年齢（全体、前回比較）



介護者の方の年齢（介護者の就労状況別）



(4) 介護のための離職の有無

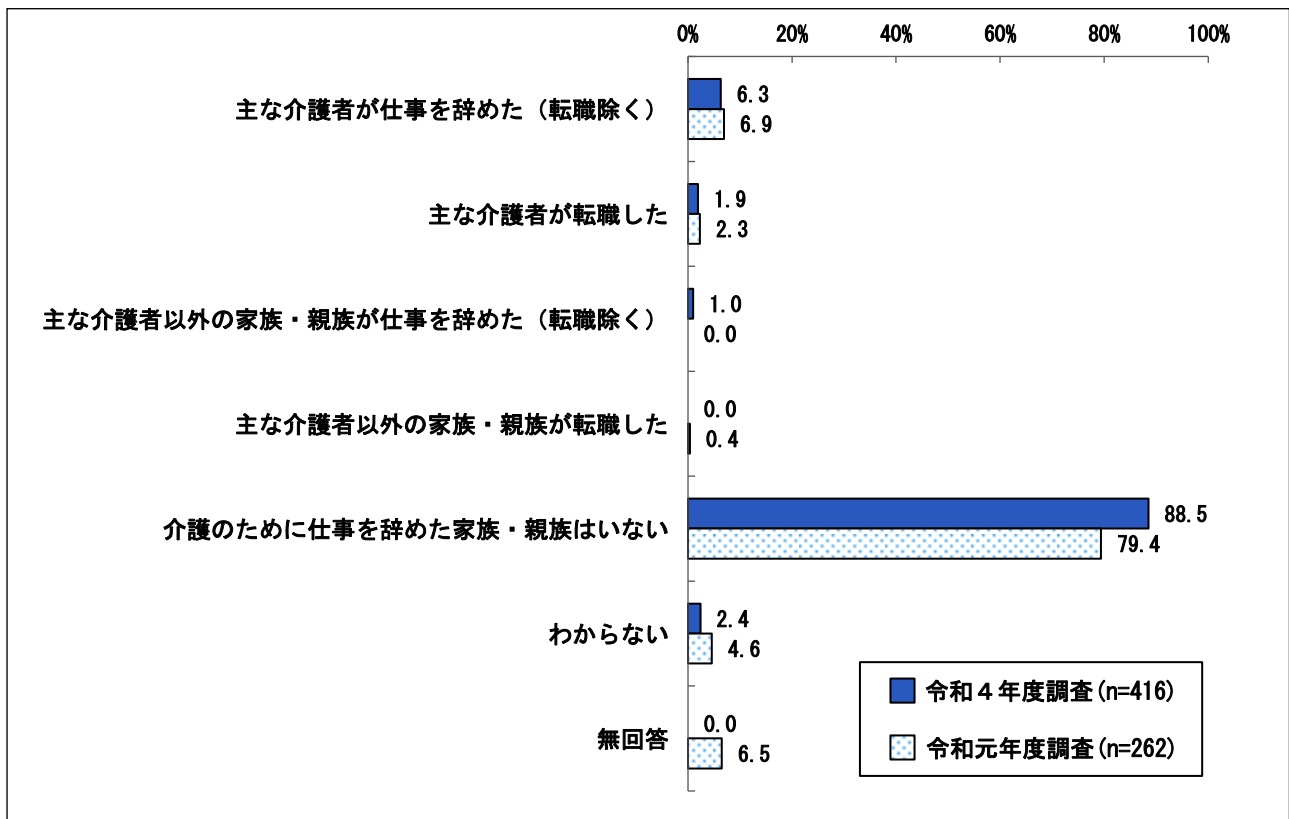
問4 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（複数選択可）

【全体の傾向】

介護のための離職の有無をみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が88.5%となっており、その割合は突出しています。次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（6.3%）などとなっています。

前回調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が9.1ポイント増加しています。

介護のための離職の有無（全体、前回比較／複数回答）



(5) 施設等への入所・入居検討状況

問5 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)

【全体の傾向】

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてみると、「入所・入居は検討していない」が70.6%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(14.5%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(1.7%)となっています。

前回調査と比較すると、「すでに入所・入居申し込みをしている」が4.8ポイント減少しています。

【世帯類型別、就労状況別、就労継続見込み別の傾向】

世帯類型別にみると、「入所・入居を検討している」割合は、単身世帯で17.9%と最も高く、次いでその他世帯が13.7%、夫婦のみ世帯が12.0%となっています。

介護者の就労状況別にみると、「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」割合は、介護者がパートタイムで働いている場合で最も高く、介護者がフルタイム、働いていない場合の割合を上回っています。

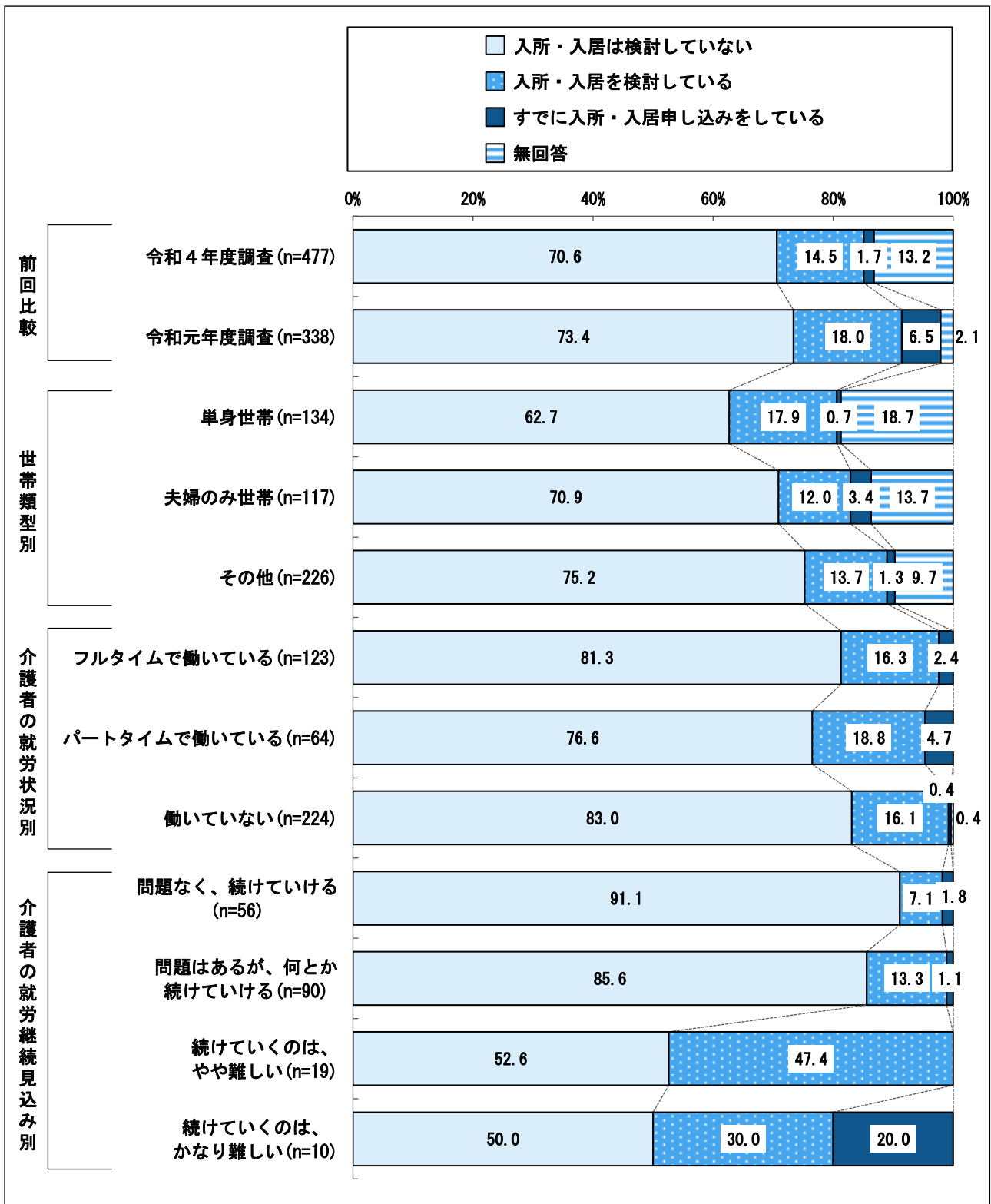
介護者の就労継続見込み別にみると、介護者が問題なく、続けていける、問題はあるが何とか続けていけると回答した場合には「入所・入居は検討していない」が8割以上を占めています。

一方、介護者が続けていくのはやや難しい、続けていくのはかなり難しいと回答した場合には、「入所・入居は検討していない」は50%台にとどまり、「入所・入居を検討している」割合が3割を超えています。

また、介護者が続けていくのはかなり難しいと回答した場合には、「すでに入所・入居申し込みをしている」が20.0%となっています。

施設等検討の状況

(全体、前回比較、世帯類型別、介護者の就労状況別、介護者の就労継続見込み別)



問6 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（いくつでも）

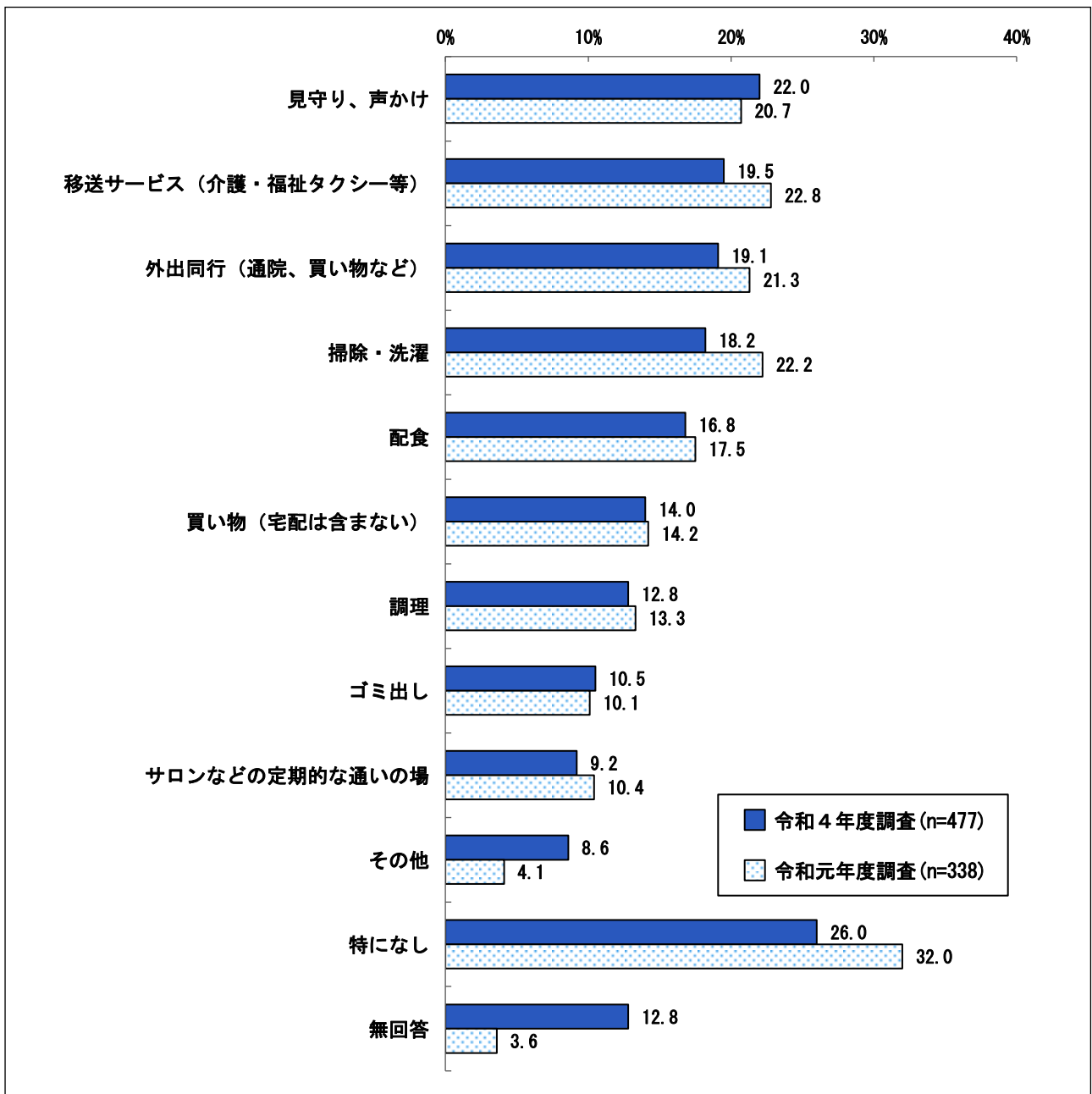
【全体の傾向】

在宅生活継続のために充実が必要な支援・サービスについては、「見守り、声かけ」が22.0%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が19.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が19.1%、「掃除・洗濯」が18.2%、「配食」が16.8%などとなっています。

また、「特になし」は26.0%で、最も多くなっています。

前回調査と比較すると、「見守り、声かけ」、「ゴミ出し」の割合が増加していますが、それ以外の具体的な支援については減少しています。

在宅生活継続のために充実が必要な支援・サービス（全体、前回比較／複数回答）

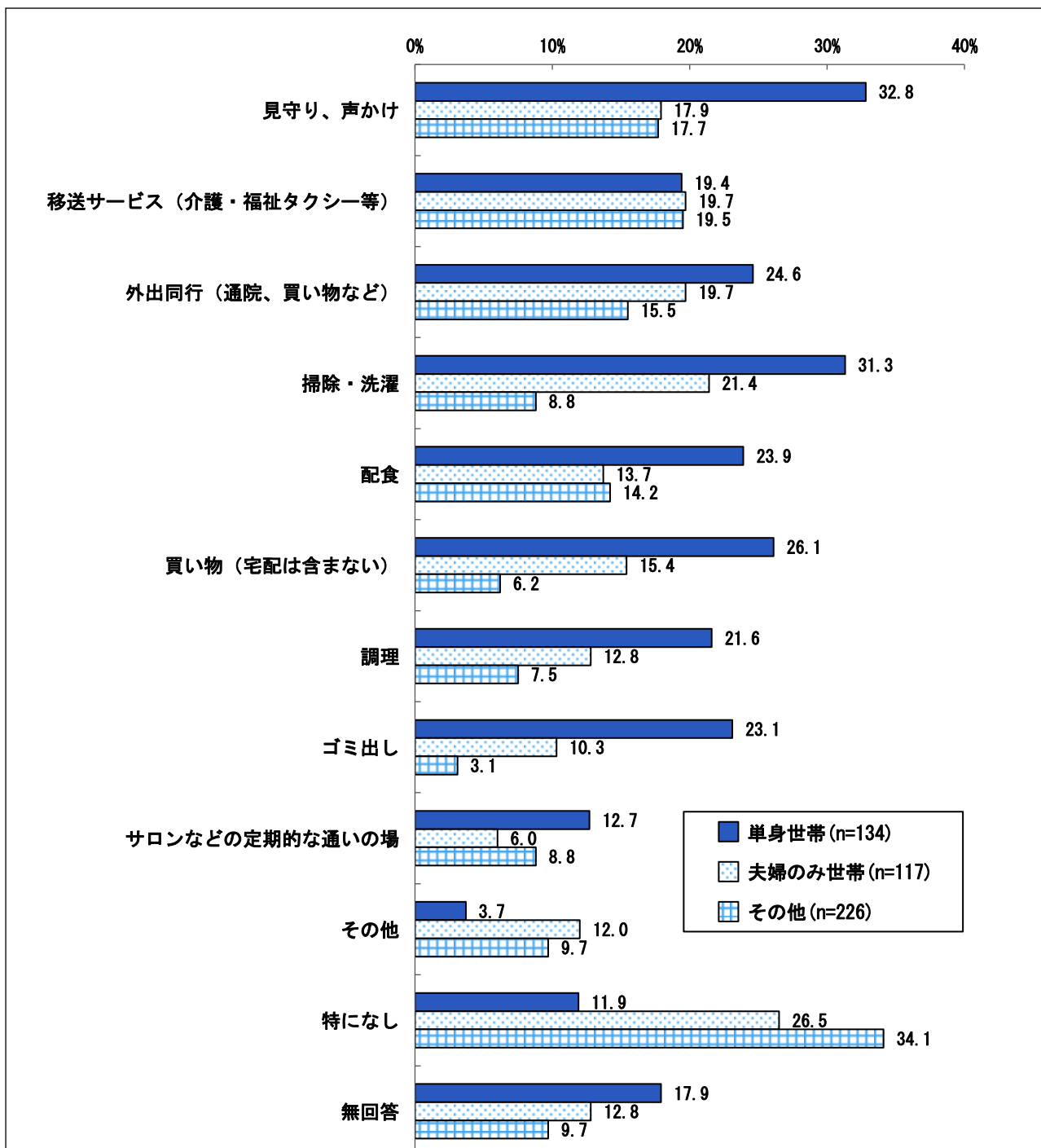


【世帯類型別の傾向】

世帯類型別にみると、単身世帯では「見守り、声かけ」が 32.8%と最も多く、次いで「掃除・洗濯」(31.3%)、「買い物（宅配は含まない）」(26.1%) となっています。

夫婦のみ世帯では「特になし」が 26.5%と最も多く、次いで「掃除・洗濯」(21.4%)、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」(19.7%) となっています。

在宅生活継続のために充実が必要な支援・サービス（世帯類型別／複数回答）



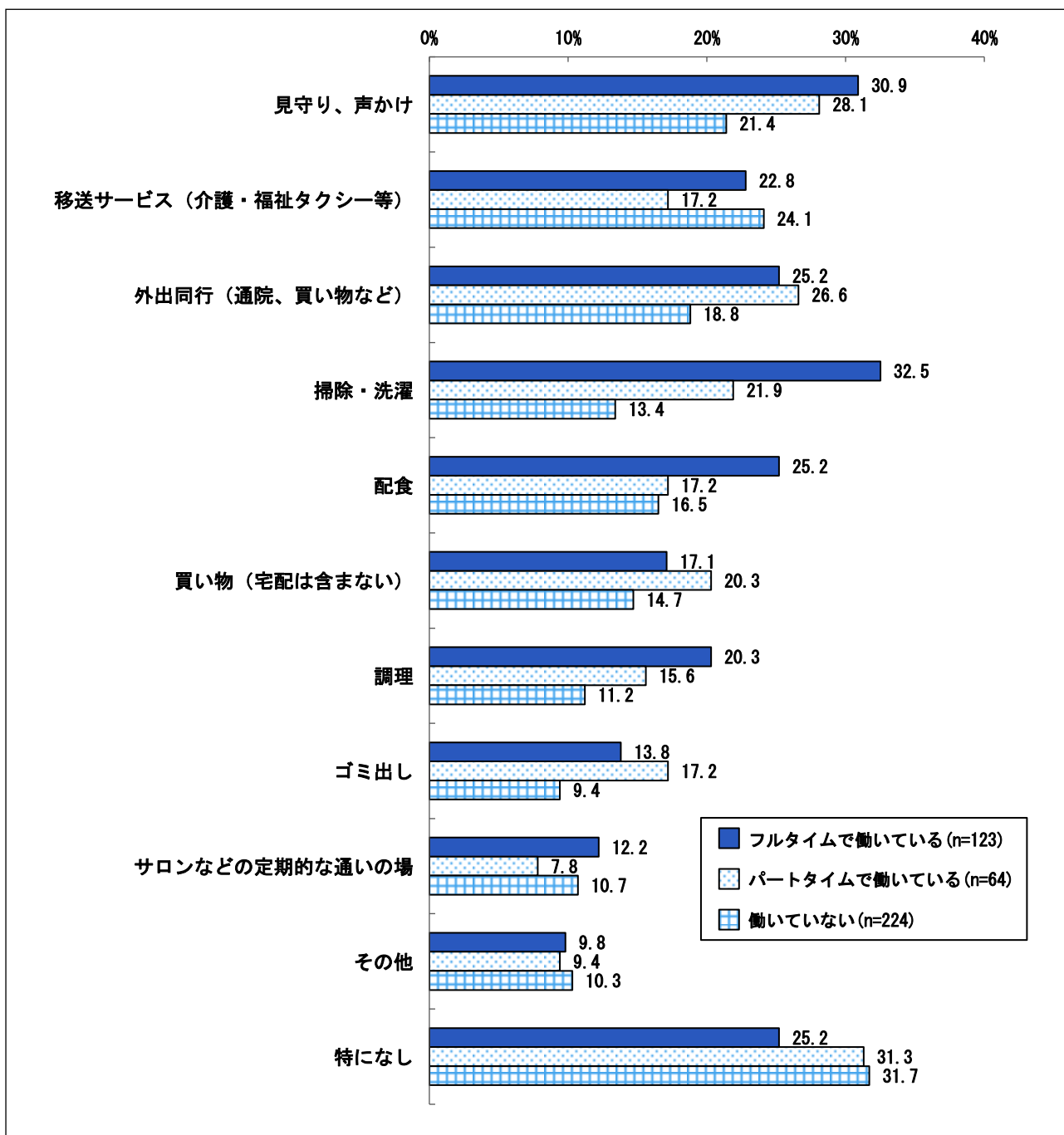
【就労状況別の傾向】

介護者の就労状況別にみると、介護者がフルタイムで働いている場合は「掃除・洗濯」が32.5%と最も多く、次いで「見守り、声かけ」(30.9%)、「外出同行(通院、買い物など)」「配食」「特になし」(いずれも25.2%)となっています。

介護者がパートタイムで働いている場合では「特になし」が31.3%と最も多く、次いで「見守り、声かけ」(28.1%)、「外出同行(通院、買い物など)」(26.6%)となっています。

介護者が働いていない場合では「特になし」が31.7%と最も多く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(24.1%)、「見守り、声かけ」(21.4%)となっています。

在宅生活継続のために充実が必要な支援・サービス（介護者の就労状況別／複数回答）



2 B票 主な介護者の方について

(1) 主な介護者の勤務形態

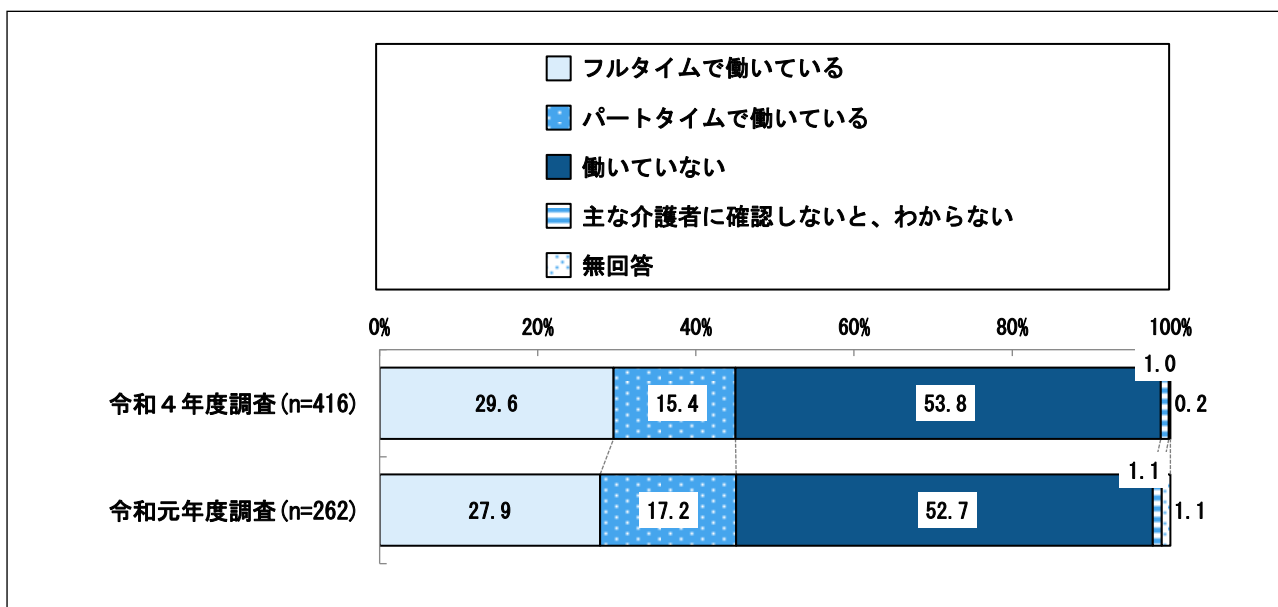
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つだけ)

【全体の傾向】

主な介護者の方の勤務形態についてみると、「働いていない」が53.8%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」(29.6%)、「パートタイムで働いている」(15.4%)となっています。介護をしながら就労している人は、全体の45.0%を占めています。

前回調査と比較すると、「パートタイムで働いている」が1.8ポイント減少しています。

主な介護者の勤務形態（全体、前回比較）



問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方

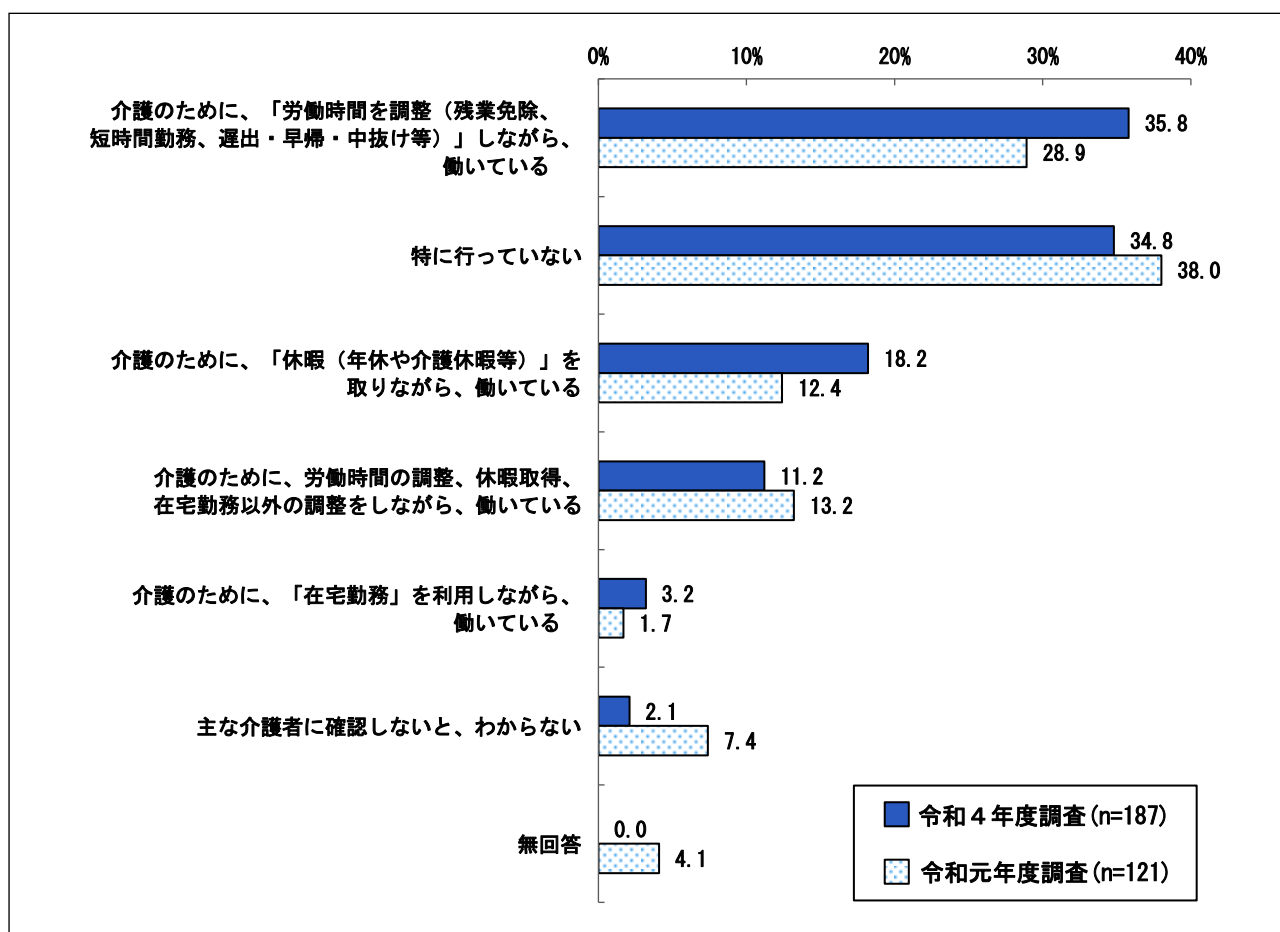
問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
(複数選択可)

【全体の傾向】

現在就労している主な介護者が、働き方の調整等を行っているかについてみると、「介護のために『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が35.8%と最も多く、次いで「特に行っていない」（34.8%）、「介護のために『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」（18.2%）となっています。

前回調査と比較すると、「介護のために『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が6.9ポイント増加しています。

主な介護者の働き方の調整状況（全体、前回比較／複数回答）

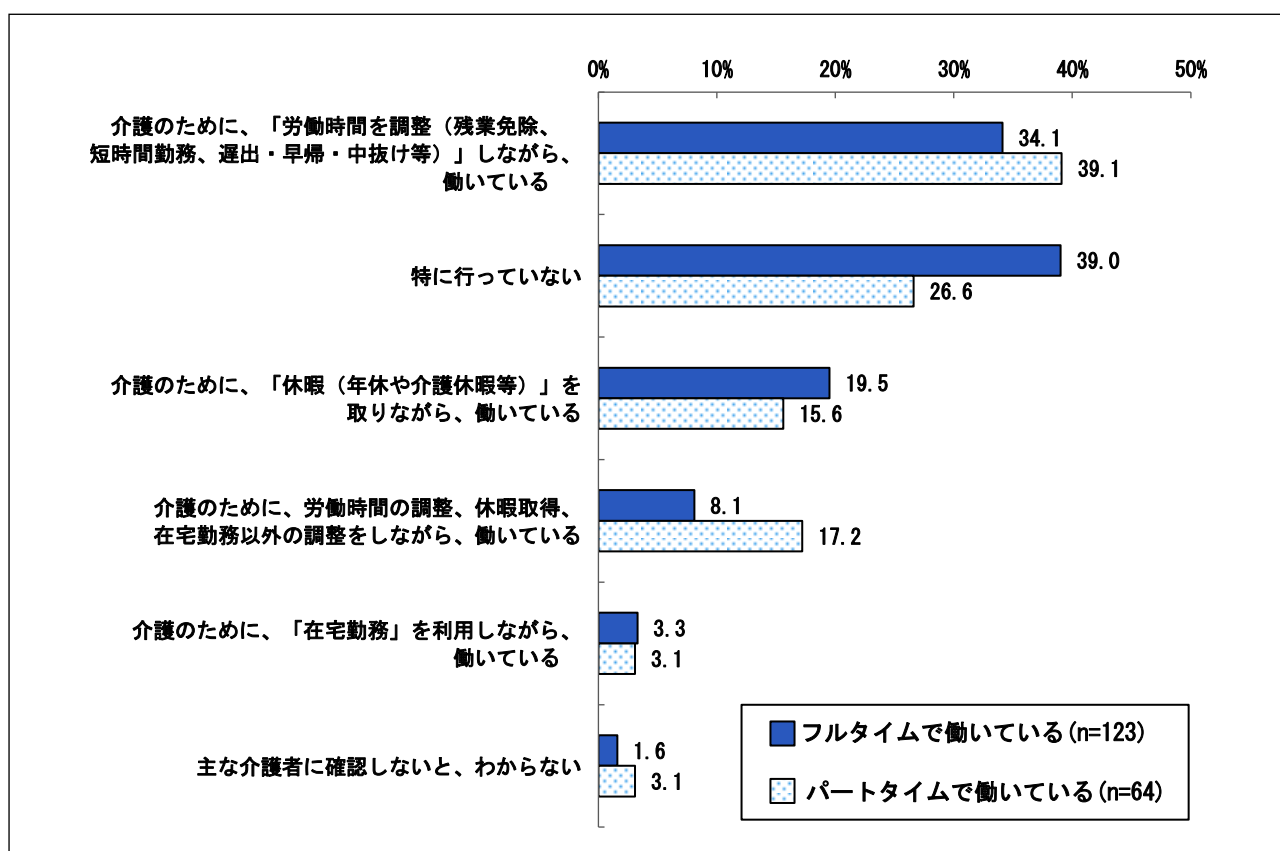


【就労状況別の傾向】

介護者の就労状況別にみると、フルタイムで働いている介護者では「特に行っていない」が39.0%と最も多く、次いで「介護のために『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」（34.1%）、「介護のために『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」（19.5%）となっています。

パートタイムで働いている介護者では「介護のために『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が39.1%と最も多く、次いで「特に行っていない」（26.6%）、「介護のために、労働時間の調整、休暇取得、在宅勤務以外の調整をしながら、働いている」（17.2%）となっています。

主な介護者の働き方の調整状況（介護者の就労状況別／複数回答）



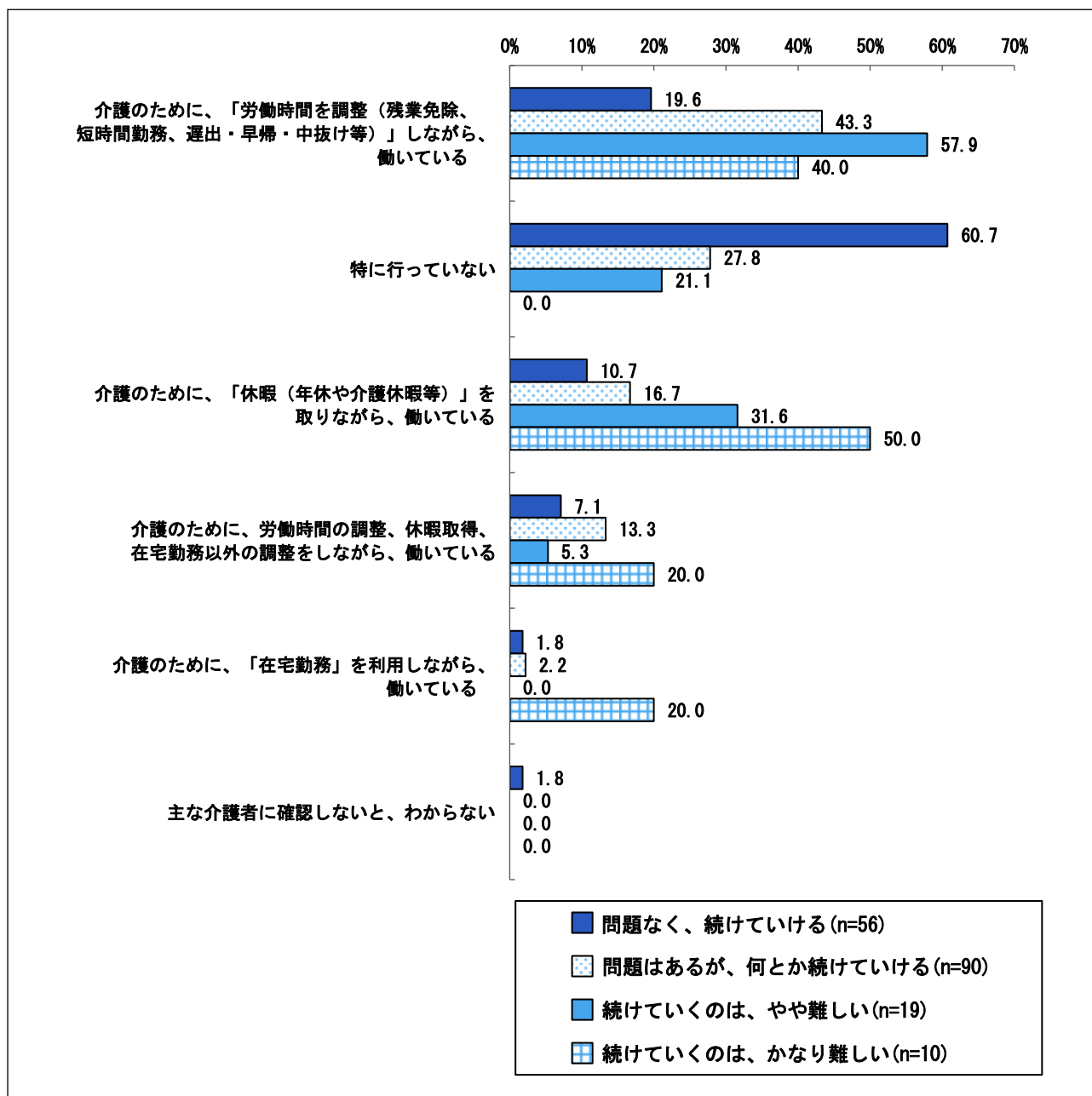
【就労継続見込み別の傾向】

就労継続見込み別にみると、問題なく、続けていけると回答した介護者では「特に行っていない」が60.7%と最も多くなっています。

問題はあるが、何とか続けていける、および、続けていくのは、やや難しいと回答した介護者では「介護のために『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が最も多くなっています。

続けていくのは、かなり難しいと回答した介護者では、「介護のために『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が50.0%と最も多くなっています。

主な介護者の働き方の調整状況（就労継続見込み別／複数回答）



(2) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方

問3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

【全体の傾向】

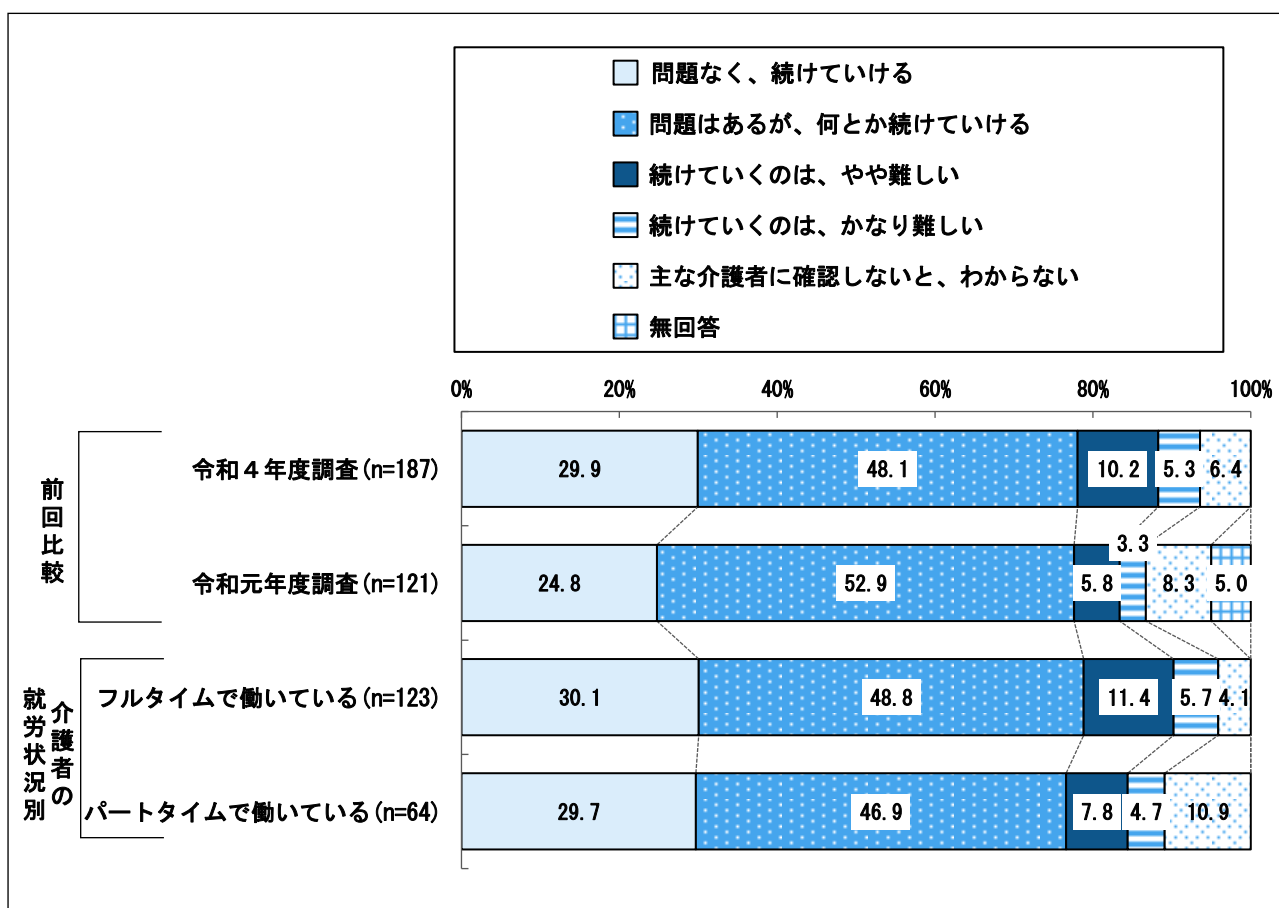
現在就労している主な介護者の就労継続可否に係る意識についてみると、「問題はあるが、何とか続けていける」が48.1%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」(29.9%)となっており、働きながら介護を続けていけるとの回答が78.0%を占めています。

前回調査と比較すると、「問題なく、続けていける」が5.1ポイント増加しています。

【就労状況別の傾向】

介護者の就労状況別にみると、「続けていくのは、やや難しい」については、フルタイムで働く介護者の割合が、パートタイムで働く介護者を3.6ポイント上回っています。

主な介護者の就労継続可否に係る意識（全体、前回比較、介護者の就労状況別）



(3) 主な介護者が不安に感じる介護

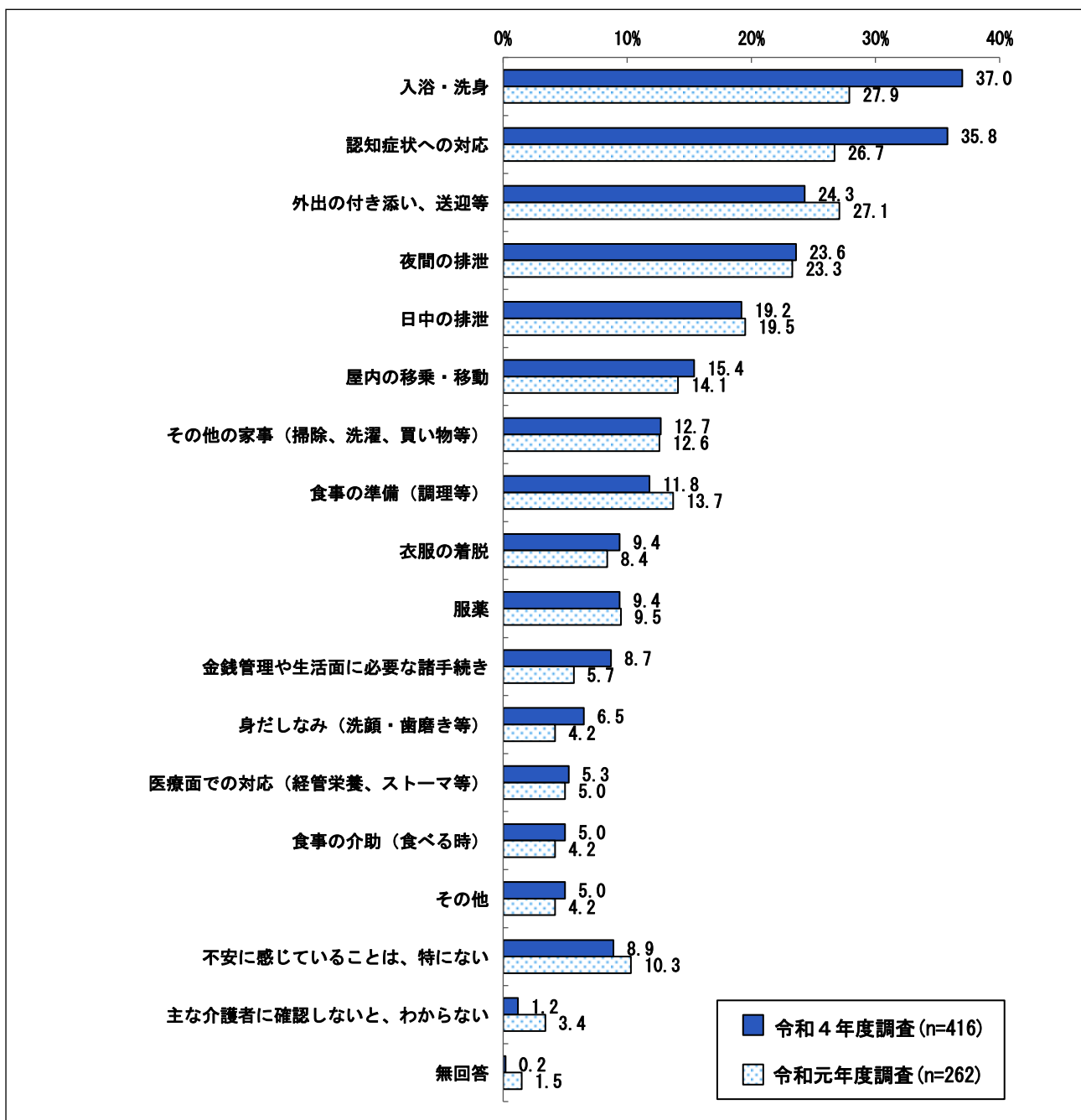
問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(3つまで)

【全体の傾向】

現在の生活を継続していくにあたり、主な介護者の方が不安に感じる介護等については、「入浴・洗身」が37.0%と最も多く、次いで「認知症状への対応」(35.8%)、「外出時の付き添い、送迎等」(24.3%)などとなっています。

前回調査と比較すると、「入浴・洗身」「認知症状への対応」がともに9.1ポイント増加しています。

主な介護者が不安に感じる介護（全体、前回比較／複数回答）



【就労継続見込み別の傾向】

就労継続見込み別にみると、問題なく、続けていける、続けていくのは、かなり難しいと回答した介護者では「認知症状への対応」が最も多くなっています。

一方、問題はあるが、何とか続けていける、続けていくのは、やや難しいと回答した介護者では「入浴・洗身」が最も多くなっています。また、続けていくのは、かなり難しいと回答した介護者では「食事の介助（食べる時）」の割合が他に比べて突出しています。

主な介護者が不安に感じる介護（就労継続見込み別／複数回答）

